

2022 年度

# 事業計画書



しりべしほうおんかい  
社会福祉法人 後志報恩会

2022 年度 後志報恩会事業計画書  
目 次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 基本理念                   | 1  |
| 2022 年度 経営・運営の視点       | 2  |
| 2022 年度社会福祉法人後志報恩会経営計画 | 6  |
| 法人経営計画推進体制表            | 10 |
| 法人組織                   | 12 |
| 法人経営・運営事業              | 13 |
| 法人の運営に関する事項            | 15 |
| 法人経営事業・組織図             | 16 |
| 2022 年度事業計画 施設・事業所     |    |
| 障がい者支援施設 銀山学園          | 17 |
| 共同生活援助 コタン             | 21 |
| 仁木町老人ディサービス えんれいそう     | 27 |
| 障がい福祉サービス 陽だまり         | 31 |
| 障がい者支援施設 大江学園          | 37 |
| 障がい者相談支援 にぎ            | 43 |
| 障がい者支援施設 和光学園          | 48 |
| 共同生活援助 グループホーム支援センターにじ | 54 |
| 障がい福祉サービス シェアリング和光     | 61 |
| 障がい福祉サービス ウイリング和光      | 65 |
| 障がい福祉サービス ウエルサポート和光    | 69 |
| 児童発達支援 小樽市さくら学園        | 73 |
| 障がい者相談支援 さぽーとひろば       | 81 |
| 小樽後志地域障がい者就労・生活支援 ひろば  | 87 |
| 法人研修委員会                | 92 |
| 法人医療・食生活支援委員会          | 93 |
| 法人リスクマネジメント委員会         | 94 |
| 法人人材確保企画委員会            | 95 |

## （基本理念）

一人ひとりが安心して共に生活出来る福祉コミュニティの創造

～安心と笑顔でつなぐ みんなのしあわせ～

### 〔経営方針〕

1. 地域社会において、人と人が出会い、互いに喜びと痛みを分かち合って、生きいきとした生活（自己実現）を送ることが出来るような共生社会を創造するために、地域福祉の総合的推進と、福祉文化を形成することに貢献することを使命とします。
2. ノーマライゼーション理念に基づく生活を実現するために、利用する一人ひとりの地域住民としての選択と決定に基づく人生設計を支援し、生涯にわたる安心と満足を提供するために、法人の機能を有機的、且つ発展的に活用した事業展開を目指します。
3. 共生社会の実現と福祉文化形成の一翼を担う実践者としての職員が安心と充実感をもって仕事出来るような雇用環境を整え、その上で職員が人権意識に基づく質の高い支援を提供するために、育成と組織の活性化をはかるための取り組みを行う。

### 〔運営方針〕

1. 一人ひとりの尊厳の保障と生活の質の向上する  
～いきいきとした日常生活と人生～
  - ① 権利擁護を徹底する
  - ② 一人ひとりの想い共感し傾聴する
  - ③ 法人理念を共有し経営方針を実現する
2. 職員の満足と経営の満足を実現する  
～いきいきとした職員と法人経営～
  - ① 社会福祉法人としての役割を果たす
  - ② 中長期事業計画に基づく事業展開をする
  - ③ ガバナンスを保つ職員組織を形成する
3. 質の高い専門的サービスの充実促進  
～いきいきとした喜びにあふれたサービス～
  - ① 専門性の高い職員を育成する
  - ② ボランタリズムに根ざす運営を実現する
  - ③ 共に育ち合う組織風土を醸成する

## 人・ひと・ヒト

理事長 阪口 光男

新型コロナ感染と向き合いながら過ごす日々が続きます。この一年も、利用・生活されるお一人ひとりと職員の生命と生活を守るために、皆が一つの想いになり、きめ細かく情報と対策を共有しながら対応してきました。ご家庭の皆様・地域の多くの方々の理解と協力に支えられて歩むことが出来たことを感謝いたします。困難な状況の中で、各事業所・地区・個々の職員が当事者意識・危機意識・問題意識を持ち続けてきたことは大きな力でした。一人ひとりが主体的に取り組む姿勢は、法人の歴史を形作ってきた文化(癖といえるかもしれません)だと思います。50年という歳月を経て、銀山学園創設当初を知る職員は一人もいません。しかし、法人理念を共に実現していこうという姿勢は継承されていることを実感しています。

「ここで働く職員と一緒に仕事をしたいと思いました」「外から見ていても法人が一つになって仕事をしている印象がある」とは、法人の印象についての最近耳にした言葉です。現状にとどまることなく「安心と笑顔で つなぐ みんなのしあわせ」に向かって同じ方向に向かって歩んでいる職員一人ひとりの息遣いが、外の人にも伝わっていることにうれしい気持ちになりました。

経営の原則に「ヒト・モノ・カネ・トキ・シラセ」がありますが、もっとも大切なのは「人」です。私たちの仕事では質・量ともに「人」がすべてを左右します。その「人」がすべての業態で不足しています。「福祉のこころ」を新たな時代に繋ぐ「人」が仲間に加わってくれるように様々な取り組みを進めていく一年にしていかなければなりません。

私たちの《理念》を実現し、互いに成長し合い、事業を継承していくためにも、外国からの仲間、幅広い年代、さまざまな働き方を望む方 等々 これまでの枠を超えての仲間づくりが求められています。皆さまの知恵と力を合わせて多くの方々が、仲間に加わっていただける取り組みを進めていきたいと思います。

### ～人 を つなぐ～

『何嘆事業竟成無』(なんぞ嘆ぜんやついに事業成るなきを)と結ばれている寺の一角にある大きな碑に刻まれた漢詩の前で「事業というのは一代で終わるのではなく、私の使命は継承にあり、ひとつの節目を担うに過ぎないと自覚させられた」とは私の恩師の言葉です。

仕事・事業は人から人への継承されていくものです。法人のこれまでの取り組みや向かう方向に共感して、新卒の方を

はじめ、幅広い年齢、様々な経験をされた多くの方が仲間に加わっていただいています。『人間のしあわせづくり』という私たち法人が目指すべきものを《全員経営》(松下幸之助)の思いで、一人ひとりが次世代に事業を継承していく役割を担っていることを心にとめて歩んでいきたいと思っています。

#### ～ひと が くみあう～

『木組は木の癖組なり 人組は人の癖組なり』(宮大工・西岡常一)木の癖(特性)を知り、その癖にあった場所に使うことで木の生きた年限を同じに生きること、又、その作業をする人の組も、一人ひとりの個性を適材適所に生かすことが大切であることを教えています。職員集団は、実にさまざまな個性で形成されています。一人ひとりの違いを互いに尊重しあうことでこそ、個々の力を発揮できるのです。効率性や合理性だけで人間関係を理解し、かかわってしまうと強い集団・組織は出来ません。信頼と自律的自己規制に裏打ちされつつ、ぶつかり合い組み合わせることでこそ新しいものを生みだすことができるのです。「自分が自分」という姿勢と向き合い、自我を超えて、互いに自分の弱さを出し合って謙虚な気持ちで、互いに育て合う態度こそ大切です。

#### ～ヒト に よりそう～

緩和ケアのことを「パリアティブ・ケア」という。《パリアティブ》は、緩和するという意味ですが、本来は「自分の上着を脱い

で、隣の人に着せる」ということです。自らも少し寒くなるが、共に暖かさをわかち合うのです。緩和ケアに最初に取り組んだS・サンダースは《Be there「そこにあること」(ともにあること)》を大切にしました。私たちは共にあろうと「絆」を結ぼうとする時には、寒さを自らも負う、傷を負う覚悟が求められるのです。私たちの争いの根源には、自分可愛さのために自らが傷つくことを回避しようとする姿勢があります。自らが傷つき他者を受け入れることは《赦す》ということ。『寄り添う』姿勢は『赦す』ことであるといえます。

福祉の歴史は、向き合う一人に『寄り添い』その人の痛みを何とか解決しなければという『精神(エートス)』と解決のための行動に駆り立てる『情熱(パトス)』と具体的なビジョン(理念・計画)として描く『ロゴス(言葉と行動)』が織りなす中で創りだされてきました。

『社会改良するものにとっての使命は詩人であること』(サミュエル・バーネット)との言葉を胸に刻みつつ、(しあわせづくり)という《夢》を描き、仲間・集団・組織としての《人・ひと・ヒト》によって、生活する人、通所される人、ご家族の一人ひとり、地域の方々が「安心と笑顔」で日々を過ごすことができるよう共に歩む一年としていきたいと思っています。

## 発信・拡げる・外向き

理事長 阪口 光男

### 発信しつづける

ウクライナへのロシアの侵略的な行為は全世界を震撼させました。平和への祈り・声が各地に広がっています。福祉関係者も「平和こそ最大の福祉 平和でなければ福祉は成り立たない」と声を上げています。と同時に「福祉の哲学こそが平和を創る」と思っています。今日「ノーマライゼーション」という思想・哲学が、さまざまな場面で使われます。この思想はデンマークのバンク・ミケルセンが提唱しました。彼は第二次世界大戦の時に反戦運動家として強制収容所に送られ、非人間的な生活を強いられました。戦後、行政官として知的障害者施設を訪問した時、そこでの生活の様子が強制収容所と重なって見えました。人間としての生命の重みと人格の尊厳が軽んじられていることからの解放が「ノーマライゼーションの思想・哲学」に込められ、生まれたのです。戦争はそれを踏みにじります。今私たちにできることは、平和への連帯をさまざまな形で表明することと同時に、私たちが担っている現場から『福祉の哲学(共に生きる)』を発信し続けることだと思うのです。

『人間が社会より大きければ文化は育つ。社会が人間より大きくなったら

文化は破壊される。』(A・シュバイツァー)

文化が衰弱すると戦争が起こるのです。日々の仕事の中で福祉の文化を浸透させることが私たちに課された使命であることを、あらためて自覚し発信しつづけていきたいと思います。

### 意識を拡げる

2014年1月20日に、日本は 国連によって採択された「障害者権利条約」を批准しました。世界で140番目です。大戦後の1948年に世界人権宣言がなされ、1971年知的障害者権利宣言 1975年障害者の権利宣言 1981年国際障害者年 等々を経てきましたが、中々障害者の権利への理解が十分に広がらないことから『条約』という形で実効を確実なものとする取り組みがされたのです。「障害者権利条約」は自由権的な人権(社会参加と差別の撤廃)と社会権的な人権(多面的な可能性の保障)を目指しています。条約の成立及び批准の背景には当事者団体の運動があったことは特筆すべきことです。しかし、ある障がい者団体の代表は「制度が変わっても意識は中々変わりません」との感想を漏らしています。人間の脳には免疫性がありません。ワクチンを打っ

て様々なウイルスに対応することは出来ないのです。脳が新しいことに対処できるようになるためには100年かかるともいわれます。世界人権宣言から障害者権利条約まで66年、2022年までで74年です。相模原で起きた、激しい怒りと痛みを覚える事件を忘れてはなりません。様々な取り組みが少しずつ社会を変えてきているのも事実です。「その人のままでその人の人権が保障され、その主張が権利として受け止められ、その人の意思が最大限に尊重される」社会の実現のためにも「共に生きる」意識が拡がり浸透する取り組みが私たちに求められています。

「今少しあなたのランプを高く掲げてください」(ヘレン・ケラー)の言葉をかみしめて、一人ひとりのもつランプを日常よりも少し高くあげて、地域社会と共に歩む道を踏みしめ拡げていきたいと思います。

## 外向きになる

私たちは「意思決定を尊重し実現する」専門家でもあります。一人ひとりの意思を尊重し、その生活を実現するためには「共に生きる地域社会」の創造こそが必要です。そのためにもソーシャルワークのプロフェッショナルとしてますます成長することが求められます。プロフェッショナルとは『告白する』ということです。「その人の幸せづくりのために働きます」という『告白』です。

「自ら学ぶこと」「素直な心をもつこと」「他人の話を聴くこと」を大切にしたいと思います。向き合う人の「意思」を聴き取り、受け止める力をつけるためにも自ら学ぶことが重要です。学ぶことは自分の思い込みに気づき正しく

物事を見つめることにつながります。素直に向き合うためには、自らの偏りや狭さに気づかなければなりません。「聴く」ためには、じっくり待ち、遠回りをする勇気を身につかなければなりません。

福祉関連をはじめ、さまざまな資格の取得を含めて幅広い見識を深める機会を広げることを願っています。

新型コロナ感染は、人間社会と自然環境との関わりの問題を明らかにしました。且つさまざまな社会的な格差があることも浮かび上がらせました。自分が自分がという社会から「共に生きる地域社会」を創造するためには、格差の現実にも目を注いでいかなければなりません。日々の仕事の延長線上に、社会全体の課題をも意識して、内向きにとどまることなく外向になることが求められています。福祉の歴史は、常に運動体としての歩みによって創造されてきたことを忘れてはなりません。どのような関わりが可能か創造力を働かせて歩んでいきたいと思っています。

「ここなりと気づいた価値は百万両なり」(松下幸之助) プロフェッショナルの学びを深めることは「新しい展開はここなり」を気づくことにもなり、百万両の価値(しあわせ)を生み出すことにつながることを心にとめ、内と向き合いつつ外向きに歩んでいく一年にしていきたいと思います。



## 2021～2025 年度社会福祉法人後志報恩会経営計画

### 基本理念

一人ひとりが安心して共に生活出来る福祉コミュニティの創造  
～安心と笑顔でつなぐ みんなのしあわせ～

### 経営理念

法人の中核的価値観(私たちの願い)

知的障がいというハンディキャップをもつひとたちが、地域住民皆さんの理解と支援のなかで、働ける人は働き、結婚できる人は結婚し、働けない人たちも地域を自由に散歩し、家庭訪問や買物ができるような地域づくりをしたい。

法人としての社会的使命

私たちは、生活上や社会生活において様々な支援を必要とする人たちへの福祉的活動を実践するとともに、それを支える地域づくりに貢献することを使命とします。

### 中期経営目標 (2021 年～2025 年)

- ① 幼児期から成人期・高齢期までの個々のライフステージに対応できる福祉事業を展開し、利用者の多様化する生活課題への対応に努めます。医療的ケア児や強度行動障害、発達障害についても支援の在り方についてさらに検討を進めます。
- ② 入所施設の大規模修繕計画の具体化や老朽化の著しいグループホームの建て替えを通して利用者の居住環境の整備に努めます。
- ③ 高齢化の進行による地域課題へ対応するため、関係する社会福祉法人間の連携の強化に向けて取り組みます。また、地域におけるコーディネーターとしての役割を自覚し、実践活動の継続により地域福祉文化の創造に取り組みます。
- ④ 多様な福祉人材の活用に向けた取り組みを進め、職員の労働環境の整備を図ります。また、女性の管理職登用やキャリアパス制度の具体的運用と見直しを進め、やりがいのある職場づくりに努めます。さらに、人材確保や地域貢献、事業継続等について「ヒト」「モノ」「カネ」「トキ」「シラセ」の視点からの対策を進めます。
- ⑤ 感染症や非常災害に対応した事業継続計画(BCP)の策定と見直しを進めます。また、虐待防止や身体拘束の適正化、感染症予防、非常災害対策に関して各施設・事業所に委員会を設置し、指針の整備と研修や訓練について計画的に実施します。これらの取り組みを通して事業の安定的運営と利用者の安全と安心に繋がります。



## 経営計画（2021 年～2025 年）

### I 法人組織機能の拡充

|                                            |           |
|--------------------------------------------|-----------|
| ① 男女共同参画の具体化に向けた職員育成計画を策定し、実施します。          | 企画調整会議    |
| ② 仁木地区と小樽地区間の職員異動の仕組みの検討を開始します。2021        | 仁木・小樽地区会議 |
| ③ 将来的な法人本部事務局、並びに仁木・小樽地区の体制整備について検討を開始します。 | 内部理事会議    |

### II 施設整備計画

|                                                                                                                  |                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| ① 小樽地区<br>・老朽化しているグループホームを解体し、新たな建設計画に継続して取り組みます。<br>・既存の通所施設の経年劣化の修繕を実施します。                                     | 小樽地区会議<br>法人企画調整会議 |
| ② 仁木地区<br>・銀山学園の屋上防水の修繕を具体化し実施します。<br>・大江学園の浴室の修繕を実施します。<br>また、建物全体の修繕計画を具体化します。<br>・陽だまりとグループホームの劣化箇所の修繕を実施します。 | 仁木地区会議<br>法人企画調整会議 |
| ③ グループホームにおけるスプリンクラー設備の整備について計画化します。                                                                             | 地区会議<br>グループホーム連絡会 |

### III 組織の活性化

|                                                                                                                                         |                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| ① 法人の基本理念・経営理念に立脚し、役職ごとのキャリア研修を実施します。<br>・職員一人ひとりとの向き合い方や職員の成長の引き出し方などをピープルマネジメントに学びます。<br>・ピープルマネジメントを基礎に施設・事業所の組織運営や労務管理の在り方について学びます。 | 法人運営会議             |
| ② 個々の職員の「仕事」「同僚」「待遇」等に対する認識についてモラルサーベイの手法により職場の課題を共有します。<br>職場の課題の改善に向けて職員間の協議を継続します。                                                   | 法人企画調整会議<br>法人運営会議 |
| ③ 新型コロナウイルス感染症の影響により一時中断した和光学園、陽だまり、えんれいそうの第三者評価を再開します。                                                                                 | 法人運営会議<br>法人本部事務局  |
| ④ 2022 年度以降も順次、第三者評価の受審について計画的に実施します。                                                                                                   | 法人運営会議<br>法人本部事務局  |
| ⑤ 施設長・管理者における予算編成や管理並びに財務計画の立案についての研修を強化します。                                                                                            | 法人施設長会議            |

#### IV 人材育成と人材の確保

|                                                                                                      |                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| ① 外国人材や高齢者、障害者等の多様な人材の受け入れと柔軟的な働き方の導入に向けての情報収集や分析、並びに就労訓練の実施に向けて具体的な検討を行います。                         | 法人企画調整会議<br>人材確保委員会        |
| ② メンター制度のメンターに対する研修を実施します。                                                                           | 法人企画調整会議                   |
| ③ ITを活用した研修方法を検討し、試験的に実施します。                                                                         | 法人研修委員会                    |
| ④ 虐待防止、身体拘束の適正化について事例検討と職員セルフチェックを定期的の実施します。                                                         | 権利擁護推進会議<br>仁木・小樽地区会議      |
| ⑤ 新任職員等の基礎講座(日本知的障害者福祉協会)の受講についてスーパーバイザーのもとで継続的に支援します。また、社会福祉士や介護福祉士等の資格取得について情報を提供するとともに資格取得を支援します。 | 法人運営会議<br>仁木地区会議<br>小樽地区会議 |
| ⑥ 役職ごとの役割を明確化して職員のスキル向上に努めます。                                                                        | 法人企画調整会議                   |
| ⑦ 法人の実践理論である岡村理論、マズロー理論、エリクソンの発達段階説の体系的学習を体系的に進めます。                                                  | 法人運営会議                     |

#### V 利用者支援

|                                                                                                           |                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| ① 利用者の就労ニーズの的確な把握と個別支援プログラムの提供に向けて見直しを進めます。                                                               | 法人運営会議                            |
| ② 利用者の社会参加を推進するため、農福連携や産福連携の在り方について検討を開始します。                                                              | 法人運営会議<br>地区会議                    |
| ③ 多様な障害への対応や医療的ケア児の受け入れにあたり、物理的・視覚的構造化により柔軟な支援を実現します。<br><u>TEAACHプログラムや行動分析、最新の介護技術等に学び、支援の実践に生かします。</u> | 法人運営会議<br>小樽地区会議<br><u>仁木地区会議</u> |
| ④ 高齢期の転倒防止や事故防止対策の指針を定めます。<br>また、ライフステージに応じた日中活動や食事と医療の提供など個別性に配慮した個別支援計画の策定に努めます。                        | 法人運営会議<br>小樽・仁木地区会議<br>医療・食生活会議   |
| ⑤ 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について利用者と家族の同意のもとに着実に実施します。                                                           | 法人運営会議<br>地区会議                    |

#### VI 地域貢献

|                                              |                  |
|----------------------------------------------|------------------|
| ① 小樽市における児童発達支援ネットワークの強化に努めます。               | 小樽地区会議           |
| ② 相談支援事業所において地域づくりコーディネーターとしての役割を果たしていきます。   | 仁木地区会議<br>小樽地区会議 |
| ③ 地域住民との対話を通して地域課題を把握し、住民との共同により課題への対応に努めます。 | 小樽地区会議<br>仁木地区会議 |
| ④ 地域経済に鑑み地元の事業所からの物品の購入に努めます。                | 小樽・仁木地区会議        |
| ⑤ <u>障害児相談支援、保育所等訪問支援事業を強化します。</u>           | 法人運営会議<br>小樽地区会議 |

## VII 危機管理

|                                                            |                                    |
|------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| ① 業務継続計画の見直しと感染症並びに非常災害の対策を確立するため委員会の設置、指針の整備、研修と訓練を実施します。 | 法人運営会議<br>医療・食生活会議<br>リスクマネジメント委員会 |
| ② 施設・事業所におけるハラスメント対策の検討と着実な実行に努めます。                        | 法人運営会議                             |
| ③ 防犯と防災の在り方を見直しを行い、対策を強化します。                               | 法人運営会議<br>リスクマネジメント委員会             |
| ④ 防災士の資格取得に向けて具体的に検討します。                                   | リスクマネジメント委員会<br>地区会議               |

## VIII 財務基盤の安定に向けて

|                                                           |                     |
|-----------------------------------------------------------|---------------------|
| ① 施設・事業所の利用率の向上を図るなどの経営努力により事業ごとの経営的自立と財務計画の確立に向けて取り組みます。 | 仁木地区会議<br>小樽地区会議    |
| ② 会計の専門家との連携により適正な会計処理と資金運用に継続して努めます。                     | 法人総務部長会議            |
| ③ 会計監査人による会計監査を受審し、内部管理体制の見直しに継続して取り組みます。                 | 法人本部事務局<br>法人総務部長会議 |

|                                                             |           |                                                             |  |
|-------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------|--|
| 内部理事会議<br>内部理事                                              | 法人経営      | 法人経営に係る諸課題の調整                                               |  |
|                                                             |           | 法人本部体制の在り方検討や法人運営全般に係る調整                                    |  |
| 企画調整会議<br>◎法人事務局長<br>理事長・常務理事<br>小菅・金子・渡<br>法人本部事務局         | 施設整備      | 銀山・大江学園の施設整備・修繕実施に向けての具体的検討                                 |  |
|                                                             |           | その他の経年劣化等による施設・事業所の修繕の検討                                    |  |
|                                                             | 組織の活性化    | 職場におけるモラルサーベイ手法の具体化                                         |  |
|                                                             |           | 多様な人材確保(外国人労働・高齢者雇用等)の検討と具体化                                |  |
|                                                             |           | メンター研修の研修内容の具体化                                             |  |
|                                                             |           | 役職ごとの役割の明確化と職員のスキルアップの具体化検討                                 |  |
|                                                             | 地域貢献      | 福祉法人間の連携の強化と地域の福祉ニーズの把握                                     |  |
|                                                             | 施設運営      | 身体拘束の適正化・感染症対策、防犯、ハラスメント防止に係る<br>指針案の検討並びに事業継続計画見直しへの方向性の協議 |  |
|                                                             |           |                                                             |  |
|                                                             | 危機管理      | 非常災害時の地域住民との連携案の検討                                          |  |
|                                                             |           | 虐待及び不適切な身体拘束の発生時の対応の検討                                      |  |
|                                                             | 施設運営      | その他、法人・施設・事業所に係る経営課題への対応                                    |  |
| 法人運営会議<br>◎法人副事務局長<br>進行/小菅・金子<br>施設長・管理者<br>部長職<br>法人本部事務局 | 虐待防止推進    | 施設・事業所における虐待防止委員会の協議内容確認                                    |  |
|                                                             |           | 虐待事例の分析と対応の検討                                               |  |
|                                                             |           | 施設・事業所における虐待防止研修の内容の検討                                      |  |
|                                                             |           | 虐待事案発生時の事案の共有と対応の検討                                         |  |
|                                                             | 身体拘束適正化   | 身体拘束適正化に向けた指針の整備                                            |  |
|                                                             |           | 施設・事業所における身体拘束適正化委員会の協議内容確認                                 |  |
|                                                             |           | 施設・事業所における身体拘束適正化研修の内容の検討                                   |  |
|                                                             |           | 身体拘束を要する事案の共有と対応の検討                                         |  |
|                                                             | 感染症対策     | 感染症予防対策並びに発生時の取り組みに係る指針の整備                                  |  |
|                                                             |           | 施設・事業所における感染症予防委員会の協議内容確認                                   |  |
|                                                             |           | 施設・事業所における感染症対策研修と訓練の内容検討                                   |  |
|                                                             |           | 感染症発生時の情報の共有と対応の検討                                          |  |
|                                                             |           | 事業継続計画の見直し策定に向けての検討                                         |  |
|                                                             | 非常災害対策    | 地域住民並びに関係機関との連携内容の在り方検討                                     |  |
|                                                             |           | 施設・事業所における避難訓練の実施内容の検討                                      |  |
|                                                             |           | 事業継続計画の見直し策定に向けての検討                                         |  |
|                                                             | 防犯対策      | 防犯に向けた指針の整備                                                 |  |
|                                                             |           | 施設・事業所における防犯対策の見直しと具体化の検討                                   |  |
|                                                             | ハラスメント対策  | ハラスメント防止の指針の整備                                              |  |
|                                                             |           | ハラスメント防止研修の実施内容の検討                                          |  |
|                                                             | 組織活性化     | 管理職の職員一人ひとりとの向き合い方についての協議                                   |  |
|                                                             |           | モラルサーベイによる職場の課題の抽出と共有化                                      |  |
|                                                             |           | 施設・事業所におけるメンター制度の実施内容の確認                                    |  |
|                                                             |           | メンターに対する研修の企画                                               |  |
|                                                             | 基礎講座受講支援  | 受講支援の具体的方法の検討と支援の実施                                         |  |
|                                                             |           | 受講申し込み状況の把握と進捗状況の確認                                         |  |
|                                                             | 実践理論学習    | 法人の実践理論の学習の方法と進め方の検討                                        |  |
|                                                             | 第三者評価推進   | 2020年度に中断した第三者評価の受審の再開                                      |  |
|                                                             |           | 評価結果に基づく事業と支援の見直し                                           |  |
|                                                             | 利用者支援     | 医療的ケア児・強度行動障害・発達障害等の支援の在り方検討                                |  |
|                                                             |           | 高齢期における転倒防止や事故防止に係る指針の策定                                    |  |
|                                                             |           | ライフステージに対応した個別支援計画策定の基本的整理                                  |  |
|                                                             |           | TEAACHプログラムを通した支援と個別支援を考える                                  |  |
|                                                             |           | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の着実な実行                                 |  |
|                                                             | 施設運営状況の共有 | 施設・事業所の運営状況の報告と情報の共有                                        |  |
|                                                             |           | 施設・事業所の運営課題に対する検討と調整                                        |  |
| 施設長会議<br>◎法人事務局長<br>施設長・管理者<br>法人本部事務局                      | 施設運営      | 施設長による施設・事業所の運営に係る諸課題の調整                                    |  |
|                                                             |           |                                                             |  |

|                                                              |          |                                           |  |
|--------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------|--|
| 地区会議                                                         | 施設整備     | ▪ 小樽地区の新たなグループホーム建設に係る諸調整                 |  |
| ◎小樽/金子・高橋<br>◎仁木/小菅・渡<br>各地区管理職<br>法人事務局次長                   |          | ▪ 銀山学園屋上防水・大江学園浴室改修工事の具体的諸調整              |  |
|                                                              |          | ▪ 大江学園・銀山学園の建物修繕計画の具体化の着手                 |  |
|                                                              |          | ▪ 既存通所施設等の修繕の計画化と実行                       |  |
|                                                              |          | ▪ グループホームのスプリンクラー設置の計画化の検討                |  |
|                                                              |          | 人材育成                                      |  |
|                                                              |          | ▪ 管理職によるメンターに対する定期的な指導の計画化                |  |
|                                                              |          | ▪ 基礎講座受講職員に対する支援の在り方の具体化                  |  |
|                                                              |          | 利用者支援                                     |  |
|                                                              |          | ▪ 転倒防止や事故防止に係る指針の周知の具体化                   |  |
|                                                              |          | ▪ TEAACHプログラムの支援現場への導入の在り方検討              |  |
|                                                              |          | ▪ 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種計画の策定              |  |
|                                                              |          | 地域貢献                                      |  |
|                                                              |          | ▪ 相談支援を通じた地域における役割の在り方検討                  |  |
|                                                              |          | ▪ 地域の福祉ニーズの把握                             |  |
|                                                              |          | ▪ 地域経済へ資する物品調達の在り方検討                      |  |
|                                                              |          | 地区の施設運営                                   |  |
|                                                              | 総務部科長会議  | ▪ 施設・事業所の利用率の向上と財務管理の在り方検討                |  |
| ◎永井・北<br>各総務部長・科長                                            |          |                                           |  |
|                                                              | 施設運営     | ▪ 施設・事業所の総務・財務・労務に係る調整                    |  |
|                                                              | 財務管理     | ▪ さくら会計・会計監査人との調整                         |  |
| 研修委員会                                                        |          |                                           |  |
| ◎高橋雅・新田<br>銀山G・仁部<br>大江G・吉本<br>和光G・工藤                        | 職員研修     | ▪ 職員研修計画・研修テーマの策定と実施                      |  |
|                                                              |          | ▪ ITを活用した研修の実施など研修実施に係る諸調整                |  |
| 医療・食生活支援<br>委員会<br>◎渡<br>銀山G・会田/渋谷<br>大江G・手塚/松田<br>和光G・林 /熊本 | 利用者支援    | ▪ ライフステージに応じた食事と医療の提供の在り方検討               |  |
|                                                              | 危機管理     | ▪ 感染症対策に係る研修と訓練の実施の調整                     |  |
|                                                              |          | ▪ 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の調整                |  |
|                                                              |          | ▪ その他利用者の医療と食生活に係る諸課題の調整                  |  |
|                                                              | 地域支援     | ▪ 在宅で暮らす障害者の医療と食生活に関する諸課題の整理              |  |
| リスクマネジメント委員会<br>◎松本・臼屋理<br>銀山G・本保<br>大江G・藤沢<br>和光G・今田        | 危機管理     | ▪ 非常災害対策に係る研修と訓練の実施調整                     |  |
|                                                              |          | ▪ 防犯と防災に係る調整                              |  |
|                                                              |          | ▪ 事故防止と対策の検討                              |  |
|                                                              | ヒヤリハット   | ▪ ヒヤリハット事例の確認と対策検討                        |  |
|                                                              | ホットする事例集 | ▪ ホットする事例の収集と事例集の作成                       |  |
|                                                              | 第三者委員    | ▪ 第三者委員の研修の企画調整                           |  |
| 人材確保委員会                                                      | 人材確保     | ▪ 養成校や職業安定所など関係機関との調整                     |  |
| ◎佐藤司<br>銀山G・高橋賢<br>大江G・大野<br>和光G・中村圭                         |          | ▪ 職場説明会への参加や求人活動全般に係る調整                   |  |
|                                                              |          |                                           |  |
|                                                              |          |                                           |  |
|                                                              | 地域貢献     | ▪ しあわせネットワークおたるのお仕事委員会との連携                |  |
| 自閉症研究会                                                       | 利用者支援    | ▪ 自閉症の特性の理解、家族との協働、構造化の活用などについて実践的研修を実施する |  |
| ◎高橋賢・遠藤                                                      |          |                                           |  |
| グループホーム連絡会                                                   | GH整備     | ▪ 仁木地区におけるグループホーム統合化検討に係る情報共有             |  |
| ◎高橋雅<br>GHにじ・新沼<br>コタン・遠藤                                    |          | ▪ 小樽地区のグループホーム建設に係る情報の共有                  |  |
|                                                              |          | ▪ 障害支援区分と防火設備整備に係る検討                      |  |
|                                                              | 利用者支援    | ▪ グループホームにおける生活支援の諸課題の検討                  |  |
|                                                              |          | ▪ 夜間支援体制の強化に係る検討                          |  |
| B型事業連絡会                                                      | 事業運営     | ▪ 利用者の高齢化に係る事業運営の将来計画の検討                  |  |
| ◎植田<br>仁木G/菅原<br>小樽G/岡島・佐藤匠                                  |          | ▪ 食材調達事業の在り方の検討                           |  |
|                                                              |          | ▪ 販売先の開拓と工賃の向上に向けての検討                     |  |
|                                                              |          | ▪ その他、仁木地区と小樽地区におけるB型事業の諸課題の調整            |  |

|                                                                                                                                         |                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>(法人の名称・所在地)</b></p> <p>名 称 社会福祉法人 後志報恩会</p> <p>所在地 〒048-2335</p> <p>余市郡仁木町銀山2丁目134番地</p> <p>電話0135-33-5311 F A X 0135-33-5313</p> | <p><b>(法人本部事務局)</b></p> <p>所在地 〒047-0156</p> <p>小樽市桜4丁目6-2</p> <p>電話0134-51-5217 F A X 0134-52-3617</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 法人組織

|                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>(評議員会) 2021.06.25.選任</b></p> <p>評 議 員 荒 関 修</p> <p>評 議 員 村 上 昭 一</p> <p>評 議 員 三 上 勲</p> <p>評 議 員 小笠原 光 寛</p> <p>評 議 員 加 藤 美佐子</p> <p>評 議 員 木 村 章 生</p> <p>評 議 員 横 尾 広 三</p> <p>評 議 員 高 橋 徹</p> <p>評 議 員 佐 藤 美代子</p> <p>評 議 員 石 崎 留 子</p> | <p><b>(理 事 会) 2021.06.25.選任</b></p> <p>理 事 長 阪 口 光 男</p> <p>理 事 福 森 和千代</p> <p>理 事 工 藤 健 一</p> <p>理 事 角 谷 義 幸</p> <p>理 事 椎 野 雅 之</p> <p>理 事 板 岡 宏 教</p> <p>常務理事 瀬 野 淳 一</p> <p>2022.04.01.選任</p> <p>理 事 小 菅 敦</p> |
| <p><b>(監 事) 2021.06.25.選任</b></p> <p>監 事 長 川 修 三</p> <p>監 事 武 田 守</p>                                                                                                                                                                          | <p><b>(会計監査人) 2017.06.23.選任</b></p> <p>板垣洋公認会計士事務所</p> <p>公認会計士 板 垣 洋</p>                                                                                                                                         |
| <p>銀 山 学 園 小 菅 敦</p> <p>えんれいそう 小 菅 敦</p> <p>陽 だ ま り 植 田 篤 志</p> <p>コ タ ン 植 田 篤 志</p> <p>大 江 学 園 渡 朋 仁</p> <p>しょうぶの丘 渡 朋 仁</p> <p>に き 橋 本 正 一</p>                                                                                               | <p>和 光 学 園 金 子 宣 裕</p> <p>ウイリング和光 佐 藤 司</p> <p>シェアリング和光 松 本 佳 宜</p> <p>ウエルサポート和光 新 田 敦</p> <p>に じ 高 橋 雅 人</p> <p>小樽市さくら学園 白 屋 理 恵</p> <p>ひ ろ ば 中 村 圭 寿</p> <p>さぽーとひろば 櫻 井 幸 治</p>                                 |
| <p><b>(評議員選任・解任委員会)</b></p> <p>外部委員 西 野 博 孝</p> <p>外部委員 山 本 賢 二</p> <p>法人監事 長 川 修 三</p> <p>法人監事 武 田 守</p> <p>事務局員 北 光 寿</p>                                                                                                                    | <p><b>法人本部事務局)</b></p> <p>事務局長 板 岡 宏 教</p> <p>副事務局長 永 井 英 樹</p> <p>事務局次長 北 光 寿</p>                                                                                                                                |

2022年4月1日現在

## 法人経営・運営事業

### 【障がい者支援施設 障がい福祉サービス事業 地域生活支援事業】

|                                  |                   |
|----------------------------------|-------------------|
| 銀山学園                             | 仁木町銀山 2 丁目 134 番地 |
| *施設入所支援 *生活介護 *短期入所（併設型） *日中一時支援 |                   |
| 大江学園                             | 仁木町大江 2 丁目 457 番地 |
| *施設入所支援 *生活介護 *短期入所（併設型） *日中一時支援 |                   |
| 和光学園                             | 小樽市桜 4 丁目 3 番 1 号 |
| *施設入所支援 *生活介護 *短期入所（併設型） *日中一時支援 |                   |

### 【障がい福祉サービス事業 地域生活支援事業】

|                           |                                        |
|---------------------------|----------------------------------------|
| シェアリング和光                  | 小樽市桜 2 丁目 31 番 19 号                    |
| *就労継続支援B型                 |                                        |
| ウイリング和光                   | 小樽市桜 4 丁目 3 番 1 号                      |
| *生活介護                     |                                        |
| ウエルサポート和光                 | 小樽市桜 4 丁目 3 番 1 号(従たる事業所 小樽市花園 4-14-1) |
| *就労移行支援 *就労継続支援B型 *就労定着支援 |                                        |
| 陽だまり                      | 仁木町銀山 2 丁目 547 番地                      |
| *就労継続支援B型 *日中一時支援         |                                        |

### 【児童発達支援センター】

|                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 小樽市さくら学園                     | 小樽市桜 2 丁目 11 番 16 号（受託運営） |
| *児童発達支援事業 *障害児相談事業 *保育所等訪問支援 |                           |

### 【老人デイサービス事業】

|                                    |                   |
|------------------------------------|-------------------|
| えんれいそう                             | 仁木町銀山 2 丁目 134 番地 |
| *地域密着型通所介護 *総合事業通所事業 *生きがい活動支援通所事業 |                   |

### 【障がい福祉サービス事業（一体型共同生活援助事業所等）】

《仁木地区》 コ タ ン 仁木町銀山 2 丁目 10 番地 4

|        |                      |
|--------|----------------------|
| ① ふれあい | 仁木町銀山 2 丁目 501 番地 4  |
| ② こぶし  | 仁木町銀山 2 丁目 521 番地 14 |
| ③ やすらぎ | 仁木町北町 1 丁目 88 番地 4   |
| ④ すずらん | 仁木町大江 1 丁目 356 番地 10 |
| ⑤ くるみ  | 仁木町西町 1 丁目 66 番地     |
| ⑥ すみれ  | 仁木町銀山 2 丁目 501 番地 6  |
| ⑦ ぽぷら  | 仁木町西町 1 丁目 66 番地     |
| ⑧ ピリカ  | 仁木町銀山 2 丁目 10 番地 4   |
| ⑨ カムイ  | 仁木町銀山 2 丁目 10 番地 5   |
| ⑩ モシリ  | 仁木町銀山 2 丁目 12 番地 2   |



《小樽地区》 グループホーム支援センターにじ

|                |                                |
|----------------|--------------------------------|
|                | 小樽市桜2丁目31番15号                  |
| ① ほーぷ<br>サテライト | 小樽市桜2丁目31番15号<br>小樽市桜5丁目6番4号   |
| ② えーる<br>サテライト | 小樽市桜2丁目31番15号<br>小樽市桜1丁目19番25号 |
| ③ きらら<br>サテライト | 小樽市桜2丁目31番16号<br>小樽市桜2丁目12番15号 |
| ④ つづみ          | 小樽市桜2丁目31番16号                  |
| ⑤ あーす          | 小樽市桜2丁目31番14号                  |
| ⑥ あーち          | 小樽市桜2丁目31番14号                  |
| ⑦ やよい          | 小樽市桜2丁目32番25号                  |
| ⑧ らいと          | 小樽市桜2丁目32番23号                  |
| ⑨ みずき          | 小樽市桜1丁目24番9号                   |
| ⑩ すぼる          | 小樽市望洋台3丁目1番8号                  |
| ⑪ びーす          | 小樽市桜4丁目1番15号                   |
| ⑫ まりん          | 小樽市桜4丁目6番1号                    |

【障がい者就業・生活支援センター事業】

|                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| ひろば             | 小樽市花園2丁目6番7号プラムビル3階 |
| *雇用安定事業 *生活支援事業 |                     |

【地域生活支援事業（相談支援事業）】

|                              |                     |
|------------------------------|---------------------|
| さぽーとひろば                      | 小樽市花園2丁目6番7号プラムビル3階 |
| *特定相談 *児童相談 ※地域相談 ※広域相談他受託事業 |                     |
| にき                           | 仁木町大江1丁目371番地       |
| *特定相談 *児童相談 ※地域相談 ※広域相談他受託事業 |                     |

【共生型生活支援事業】

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 大江学園共生型生活支援センター | 仁木町大江2丁目457番地30 |
|-----------------|-----------------|

【関連事業】

|       |               |
|-------|---------------|
| 工房大江窯 | 仁木町大江1丁目371番地 |
|-------|---------------|

## 法人の運営に関する事項

※適宜日程の変更あり

### 《監事監査》

|         |               |         |
|---------|---------------|---------|
| 第1回監事監査 | 2022年6月6日(月)  | 法人本部事務所 |
| 第2回監事監査 | 2022年9月1日(木)  | 法人本部事務所 |
| 第3回監事監査 | 2022年12月1日(木) | 法人本部事務所 |
| 第4回監事監査 | 2023年3月7日(火)  | 法人本部事務所 |

### 《理事会》

|          |               |  |
|----------|---------------|--|
| 第1回定時理事会 | 2022年6月9日(木)  |  |
| 第2回定時理事会 | 2022年9月15日(木) |  |
| 第3回定時理事会 | 2022年12月8日(木) |  |
| 第4回定時理事会 | 2023年3月23日(木) |  |
| 臨時理事会    | 必要に応じて        |  |

### 《評議員会》

|        |               |  |
|--------|---------------|--|
| 定時評議員会 | 2022年6月24日(金) |  |
| 臨時評議員会 | 必要に応じて        |  |

### 《会計監査人による監査》

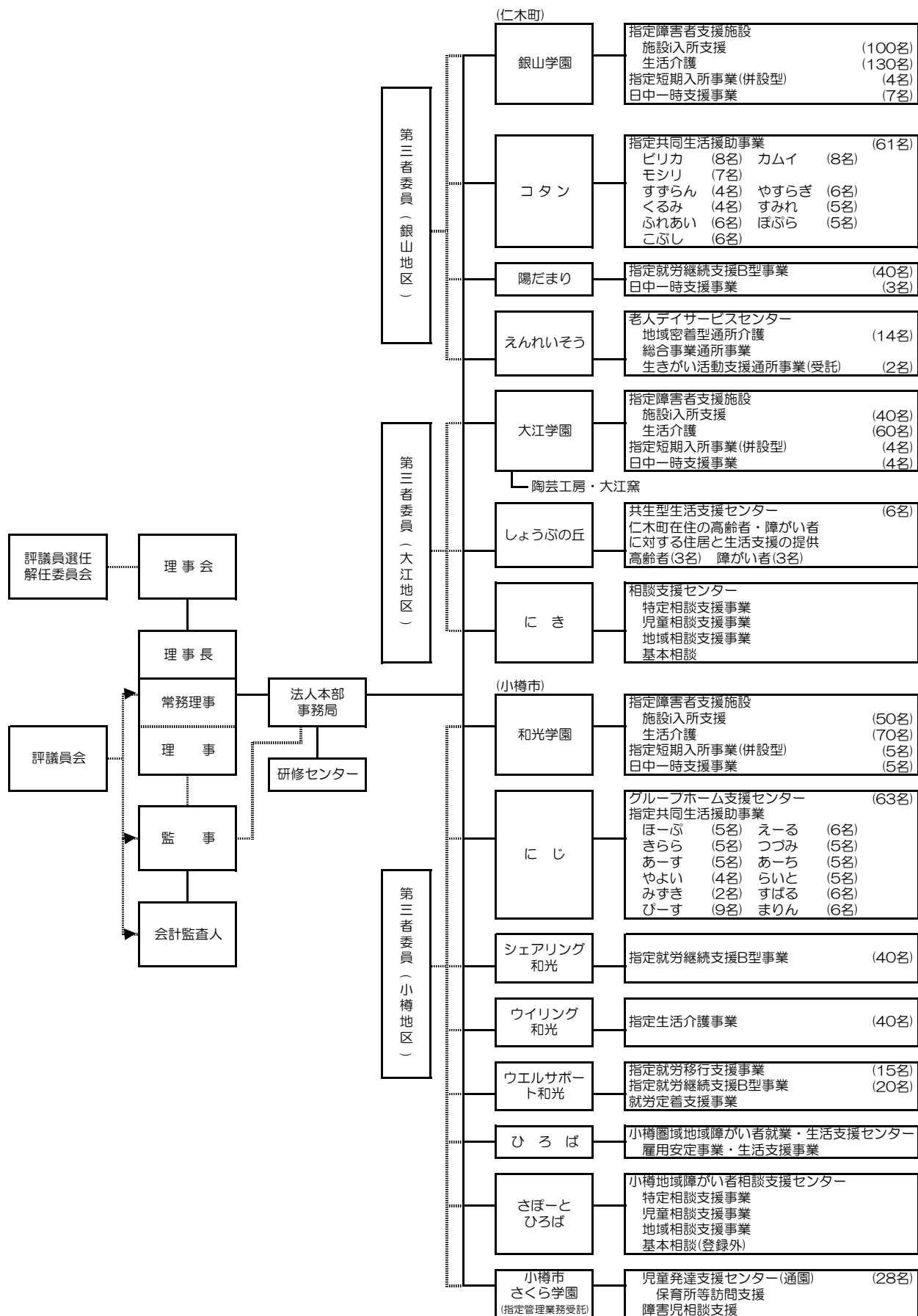
|      |               |          |
|------|---------------|----------|
| 中間監査 | 2022年11月末～12月 | 銀山・大江・和光 |
| 期末監査 | 2023年5月末～6月初旬 | 銀山・大江・和光 |

### 《法人企画調整会議》 場所:法人本部事務所

|                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 2022年4月13日(水)  | 2022年5月18日(水)  | 2022年6月15日(水)  |
| 2022年7月13日(水)  | 2022年8月17日(水)  | 2022年9月14日(水)  |
| 2022年10月19日(水) | 2022年11月16日(水) | 2022年12月14日(水) |
| 2023年1月18日(水)  | 2023年2月15日(水)  | 2023年3月8日(水)   |

### 《法人運営会議》 場所:法人本部事務所

|                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 2022年4月20日(水)  | 2022年5月25日(水)  | 2022年6月22日(水)  |
| 2022年7月20日(水)  | 2022年8月24日(水)  | 2022年9月21日(水)  |
| 2022年10月26日(水) | 2022年11月22日(火) | 2022年12月21日(水) |
| 2023年1月25日(水)  | 2023年2月22日(水)  | 2023年3月15日(水)  |



## 2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 銀山学園

### 実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業 | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述べ人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|----------|-----------|------------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 施設入所     | 100 名     | 34,675 名               | 365 日               | 95 名                 | 95%               |
| 生活介護     | 130 名     | 30,200 名               | 269 日               | 112.3 名              | 86.4%             |
| 短期入所     | 4 名       | 名                      | 365 日               |                      | %                 |
|          | 名         | 名                      | 日                   |                      | %                 |

### 職員体制(2022 年 4 月 1 日)

| 職 種       | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要 |
|-----------|-----|-----|----|-----|----|-------------------|-----|
|           |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |     |
|           |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |     |
| 管理者       | 1   |     | 1  |     |    | 0.1               |     |
| サービス管理責任者 | 3   | 1   |    |     | 2  | 1.2               |     |
| 医師        | (1) |     |    |     |    |                   |     |
| 支援員       | 65  | 39  | 7  | 17  | 2  | 48.8              |     |
| 看護師       | 4   | 1   |    | 3   |    | 3.4               |     |
| 栄養士       | 1   |     |    |     |    | 1                 |     |
| 事務員等      | 6   |     | 6  |     |    | 3                 |     |
| その他       |     |     |    |     |    |                   |     |
| 合 計       | 80  | 46  | 14 | 20  | 4  | 57.5              |     |

### 重点推進目標(3 点)

#### ○支援力、質の向上を目指す

個別支援計画策定プロセスで、その人らしさを見出せる力、アセスメントする力、支援力を高める。  
支援のための連携を図り、専門性とチーム力（支援目標の明確化と共有）を高める。

#### ○業務効果の向上を目指す

人手、人材の確保を図りつつ、業務の向上を数にだけ考えるのではなく、効果、効率性の視点から検討する。（業務継続の視点、ICT の導入検討を含む）

#### ○安心と安全の環境を目指す

建物・設備も経年劣化等による修繕が多くなってきています。屋上防水、外壁工事、給排水、燃料系配管、厨房設備、洗濯・乾燥機などについて、多角的に検討を行い計画の策定と推進を図る。

## 施設整備計画

|                                          |       |           |
|------------------------------------------|-------|-----------|
| ○屋上防水工事の早期実施を検討（当初予算には含めていない 7,000 万税込み） | 【予定額】 | 70,000 千円 |
| ○正面玄関底部の修繕（改修）を検討                        | 【予定額】 | 千円        |

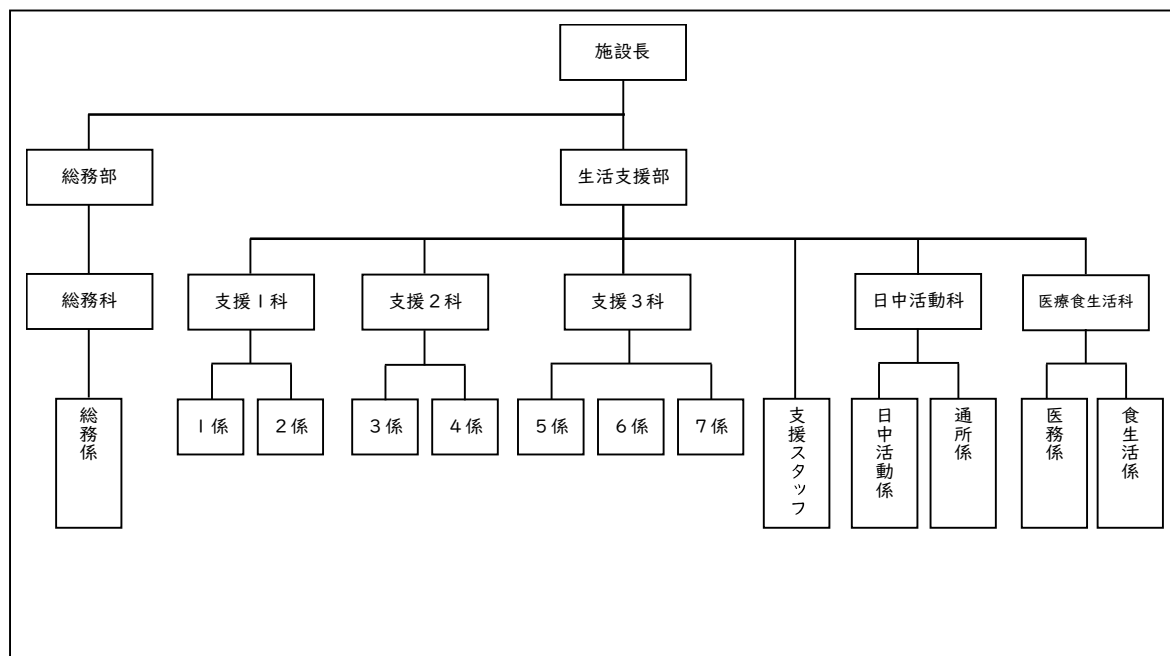
## 設備整備計画(車輛更新含む)

|                         |       |    |
|-------------------------|-------|----|
| ○車両（5人乗り）の入替            | 【予定額】 | 千円 |
| ○パソコン 10 台の入替（割賦を予定）    | 【予定額】 | 千円 |
| ○厨房機器、冷凍、冷蔵庫等の更新を検討     |       |    |
| ○非常灯、避難誘導灯の LED への交換を検討 |       |    |

## 支援計画

- ☐ 日常生活支援 基本的な生活習慣の自立を目指すための適切な支援の提供。
- ☐ 日中活動支援 その人らしさを見出す 活動の支援
- ☐ 居住環境整備 暮らしにくさを発見し、改善しその人らしい環境調整を目指す。
- ☐ 保健医療 日常的な健康維持への配慮。疾病の早期発見。感染症対策  
医療情報のデータベース化。
- ☐ 社会生活支援 地域関係者の支援により、地域と密着した社会生活の関わりを支援。  
当事者活動への継続した支援
- ☐ 地域生活支援 暮らしの場の選択。本人の意思尊重し、選択する機会をつくる。
- ☐ 就労(移行)支援 その人らしさの自立を通して、可能な就労支援をみいだしていく。

## 支援体制図



### 主な行事実施計画

| 行事名      | 実施日    | 摘 要                |
|----------|--------|--------------------|
| 山菜採り     | 5月     | 家族との交流で山菜採り        |
| 花見       | 5～6月   | 外出行事               |
| 夏レク      | 6月     | 初夏のレクリエーション活動      |
| さくらんぼ狩り  | 7月     | 外出行事               |
| ピアガーデン   | 7月     | 当事者活動主催行事。         |
| ふれあいまつり  | 9月     | 学園祭 家族交流、地域交流      |
| ぶどう・紅葉狩り | 10～11月 | 外出行事               |
| 食の祭典     | 11月    | 保護者会との合同企画。        |
| クリスマス会   | 12月    |                    |
| 春のお楽しみ会  | 2月     | 節分                 |
| 慰労会      | 3月     | 外出行事(年度末、活動の締めくくり) |

### 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会        | 実施日    | 摘 要                  |
|---------------|--------|----------------------|
| 運営会議          | 毎月     |                      |
| 職員会議          | 毎月     |                      |
| 支援部 科長・係長会議   | 毎月     |                      |
| 給食運営会議・給食月例会議 | 毎月     | 委託先との定例会議 当事者会議からも参加 |
| ユニット会議        | 毎月     | 支援者の会議・利用者さんの会議      |
| 権利擁護推進会議      | 四半期に一度 | 虐待関係セルフチェック実施        |
| リスクマネジメント委員会  | 毎月     |                      |
| 日中活動チーフ会議     | 年3～4回  | 活動グループ相互の定例会議        |
| 自閉症、介護勉強会     | 適宜     | 全職員対象                |
| 地域参加委員会       | 適宜     |                      |
| ボランティア委員会     | 適宜     |                      |
| 行事委員会         | 適宜     |                      |
| 学園だより委員会      | 適宜     |                      |

### 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名       | 実施日 | 摘 要               |
|-----------|-----|-------------------|
| 新規採用者職員研修 |     | 新卒・中途採用者の基礎研修     |
| 自閉症、介護勉強会 |     | 全職員対象・            |
| 内部研修会     |     | 外部講師による研修         |
| 中堅職員研修    |     | 中堅職員及び係長対象とした内部研修 |
|           |     |                   |
|           |     |                   |
|           |     |                   |
|           |     |                   |
|           |     |                   |

## 研修計画(外部研修)

| 研修名            | 実施日 | 摘 要     |
|----------------|-----|---------|
| 施設長研修会・セミナー    |     |         |
| 全道関係職員研究集会     |     |         |
| 全国施設関係者研究集会    |     |         |
| 全国種別部会研修会      |     |         |
| 幹部職員研修会        |     |         |
| 権利擁護・虐待防止研修会   |     |         |
| 強度行動障害支援者養成講習  |     | 基礎・実践   |
| サービス管理責任者研修    |     | 更新研修含む。 |
| 新任職員研修会        |     |         |
| 専門研修(介護・医療・発達) |     |         |
|                |     |         |

## 権利擁護の推進方針

○権利擁護推進委員会 四半期に1回開催。

虐待防止のための職員セルフチェック、業務振り返りを四半期ごとに実施。

支援場面で不適切と思われる関わりが、時々ある、たまにあるなど、の項目には具体的な事例を記載してもらい、項目の質問の意図やその項目があげられている理由を学習していけるよう、委員会からコメントしていく。

○利用者のユニット会議や、当事者活動の支援を通じて、苦情や困りごとなどを聞き取り、暮らしにくさの発見、気づき、改善に努める。

## コミュニケーション面談実施計画

日々の支援で困難さを実感する場面がある中で、支援員一人が抱えないよう、役職者と支援員等が面談。課題を共有し、働く環境の改善に努める。支援を通じて得られる「学び」を実感できる関係づくりを目指したい。生きがい、働きがいを見出せる機会としたい。

## 施設・事業所の構造

|      |      |                                                   |
|------|------|---------------------------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 鉄筋コンクリート造 1階建て                                    |
|      | 延べ面積 | 4,740.685 m <sup>2</sup><br>5,040.4m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      | 35,646.00m <sup>2</sup>                           |



## 2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 コタン

### 実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業 | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述べ人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|----------|-----------|------------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 共同生活援助事業 | 61 名      | 19545 名                | 365 日               | 53.5                 | 88%               |
|          | 名         | 名                      | 日                   |                      | %                 |
|          | 名         | 名                      | 日                   |                      | %                 |
|          | 名         | 名                      | 日                   |                      | %                 |

### 職員体制(2021 年 4 月 1 日)

| 職 種       | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換算後の職員数 | 摘 要  |
|-----------|-----|-----|----|-----|----|-----------|------|
|           |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |           |      |
|           |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |           |      |
| 管理者       | 1   |     | 1  |     |    | 0.1       |      |
| サービス管理責任者 | 3   |     | 3  |     |    | 0.3       |      |
| 医師        |     |     |    |     |    |           |      |
| 支援員       | 20  | 1   | 8  | 3   | 8  | 14.1      | 10.5 |
| 看護師       | 2   |     |    | 2   |    | 0.2       |      |
| 栄養士       |     |     |    |     |    |           |      |
| 事務員等      |     |     |    |     |    |           |      |
| その他（世話人）  | 19  | 11  |    | 8   |    | 14.3      | 12.2 |
| 合 計       | 45  | 12  | 12 | 13  | 8  |           |      |

### 重点推進目標(3 点)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○仁木地区 GH 支援拠点の整備、GH事業の統合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仁木地区GH事業の体制強化として、コタン、ふきのとう事業の統合。<br/>仁木地区GH支援拠点として、GH支援センター設立体制の強化を行う。</li> <li>・ GH建物の経年劣化に伴う破損の修繕。</li> <li>・ GHで支援区分4以上が8割になった場合のスプリンクラー設置等の対応を検討。</li> </ul>                                                              |
| <p>○障害者支援の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強度行動障害支援を PDCA の流れに沿い、支援を実施。</li> <li>・ 利用者の高齢化に伴い、通院の増、疾病の重篤化が見られてきている現状があり、健康管理・通院対応服薬支援も増加している為、関係事業所（銀山学園・大江学園医務室）と連携し適切な支援を実施。<br/>事業統合による支援体制の充実、通院体制の強化、余暇支援の充実を進める。</li> <li>・ 夜間支援体制の充実<br/>仁木地区GHに夜間支援員を配置し夜間の体制と支援を強化。</li> </ul> |
| <p>○『生活』『余暇』『仕事』の自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3つの『自立』を目指し TEACCH プログラムを活用し支援する。</li> <li>・ その人がその人らしい生活を営めるように、自立、意思決定などをできる限り、追及していく。</li> <li>・ その人にあった合理的な配慮を追求し、支援を組み立てていく。</li> <li>・ 休日における余暇支援の充実を進める。（ドライブ、外出、買物等）</li> </ul>                                               |

## 施設整備計画

|                                            |       |    |    |
|--------------------------------------------|-------|----|----|
| ○仁木地区 GH 支援拠点の整備<br>今後の継続課題として記載           | 【予定額】 | 未定 | 千円 |
| ○仁木地区 GH 老朽化等に伴う建て替え検討<br>利用者高齢重度化を見据えつつ検討 | 【予定額】 | 未定 | 千円 |

## 設備整備計画(車輛更新含む)

|                                                                     |                             |           |
|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------|
| ○パソコン機器の更新                                                          | 【予定額】                       | 500 千円    |
| ○新規車輛購入（リース）<br>・10 人乗り車両（新規）                      ・7～8 人乗り車両（現車更新） | 【予定額】 7 年リース/月 115 千円（2 台分） | 年/1380 千円 |
| ○各棟排水溝清掃点検（高圧洗浄、配管内確認）<br>及び各棟屋根排水清掃、配管点検                           | 【予定額】                       | 100 千円    |

## 支援計画

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |  |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| <p>□ 日常生活支援<br/>           基本的な生活習慣の自立を目指すための適切な支援を提供。<br/>           日常生活を安心・安全に過ごすことが出来る支援の提供。<br/>               ～リスクマネジメントの強化～<br/>           利用者の年齢や状態に合った個人プログラムを作成し支援にあたる。<br/>           ・サービス管理責任者を中心に、本人、保護者、職員の意見を聞き、関係者会議を行いながら個別支援計画を立てる。<br/>           実施状況を見ながら評価を行い、再度計画を作成する。<br/>           年2回    個別支援計画を作成し本人家族の同意を得て実施をする。<br/>           4月より各棟で個別支援プログラムタイムスケジュールをもとに計画的に作成し送付する。<br/>               （具体的な生活）<br/>               食事    本人の嗜好に配慮しながら、バランスの取れた食事の提供。世話人と月1度会議を実施し、利用者状況等情報共有しながら食事提供を行う。<br/>               排泄    利用者の心身の状態に応じた支援を提供する。<br/>               入浴・睡眠・着脱衣・整容・移動<br/>                   利用者の生活リズムを尊重し、快適清潔な生活を過ごすことが出来る支援を提供する。<br/>                   利用者状況(入浴・排便等)の記録の充実を図る<br/>               相談支援    対人上のトラブル、健康管理、地域生活での困り事に関する各種相談。<br/>                   定期的に各棟巡回を行い、日々の困りごと・希望・要望等聞き取りし、利用者がいつでも相談できる環境を提供する。</p> |  |  |  |
| <p>□ 日中活動支援（銀山学園・大江学園生活介護事業・陽だまり就労支援B型事業との連携）<br/>           利用者の状況に応じた日中の過ごし方を検討する。<br/>               ①活動する喜びを享受出来る適切な支援を提供する。<br/>               ②他者（ヒト）と共に創り出す喜びを味わうことが出来る支援を提供する。<br/>               ③自らの可能性を広げる喜びを分かち合うことが出来る支援を提供する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |  |  |
| <p>□ 居住環境整備<br/>               ① 快適な日常生活環境を支えるための個別的な支援を提供する。<br/>               ② 自立と安全が適切に確保される支援を提供する。<br/>               ③ プライバシー空間の確保のため、創意工夫し個別環境を整備する。<br/>                   （具体的な整備内容）<br/>                   清掃・洗濯・整理整頓・安全管理を本人の自立を妨げないように配慮し、且つ自立的な取り組みが促進されるよう、具体的・個別的な生活場面での支援を提供する。<br/>               ④ 経年劣化、破損等の修繕<br/>                   各GHにおいて経年劣化に伴う破損・劣化等利用者の生活に影響が及ばないよう適宜必要な修繕を行い快適な住環境を提供する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |

#### □保健医療

日常的な健康維持に配慮し、体力の維持・向上をはかるための支援を提供する。  
健康に対する知識を習得し、自らの健康を守ることの大切さを自覚出来る支援を提供する。  
予防を第一に考え職員の統一した支援により病気を持ち込まない、広げない支援をする。

- ・新型コロナウイルス感染症を含めた感染症対策を行う。
- ・各グループホームに消毒液やマスクを配置。

#### 健康管理

- ・嘱託医による往診をはじめ、日常的には看護師による診察・疾病予防、健康管理を行う。
- ・腫瘍マーカーの検査を希望者に導入し、癌の早期発見・早期治療に役立てる。
- ・服薬管理・通院治療  
常時の服薬介助及び個別疾患に応じた通院治療への支援を行う。自立対応者に関しては定期的な巡回と健康観察等、アドバイス含め支援する。
- ・入院中のサービス 安心した入院生活をするために巡回し、適宜迅速な支援を行う。  
状況に応じて付添調整・付添支援対応を行う。

#### □ 社会生活支援

個別的なコミュニケーション手段を工夫し、自己管理が出来るような支援を提供する。  
日常の社会生活が個々人の希望が尊重されたものとなるような支援を提供  
(主な取り組み)

- ・銀山、大江地域行事参加プログラム実施と、日常生活に密着した地域参加プログラム  
(自由な散歩・買い物、地域行事など)を継続
- ・旅行を企画(日帰り・宿泊・生まれ故郷プランなど)し、個別・小グループで旅行  
プログラム実施

(具体的な支援)

#### コミュニケーション・自己管理

- ・一人ひとりとの信頼関係を基本としたコミュニケーションを確保しつつ自己管理を適切に  
支援する。
- ・日常・社会生活上の支援
- ・生活に係わるさまざまな情報を提供しつつ、楽しみと潤いのある生活が選択・決定を通して  
創造出来るような支援を行う。
- ・買い物トレーニング  
月単位での買い物が困難な利用者を対象として買い物トレーニングの実施、公共交通機関を  
利用した買い物トレーニングの実施、その他必要な物品については個人または、付き添い  
支援等により随時購入。

#### □ 地域生活支援

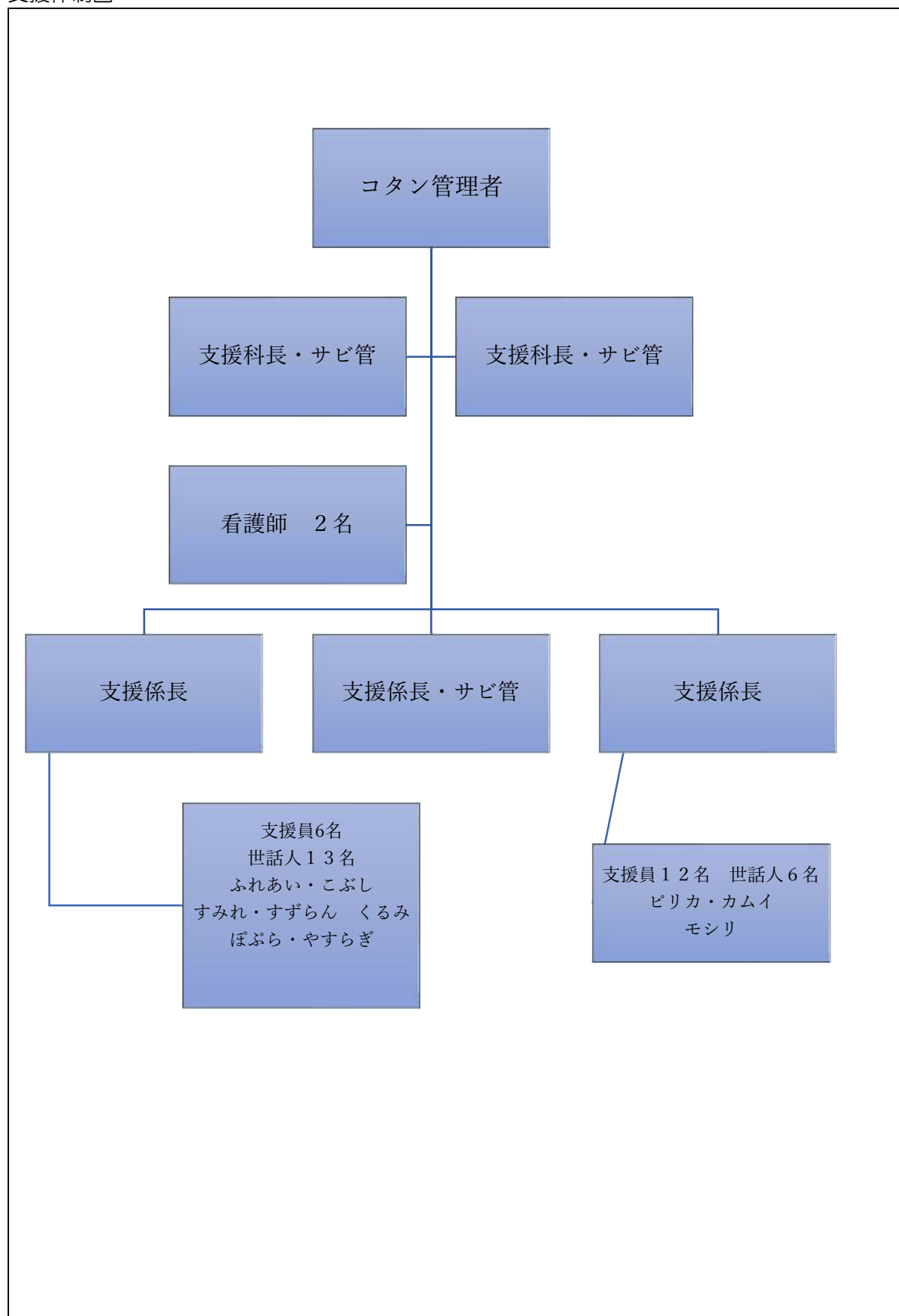
地域生活をする利用者が安定し、生き生きと毎日の生活が送ることが出来るようなサービスを  
提供する。

- ・陽だまり、銀山学園、大江学園事業所と連携し、日常生活の支援を提供する。  
金銭管理・買い物・公共交通機関及び公共機関の利用
- ・地域での支援体制の確立の為に基盤整備  
仁木地区のGH総合的な支援体制を整備し、支援センターを設置し地区全体のGH支援の強化を  
行う。
- ・相談支援  
朝、夕定期的にGHを巡回し困り事・相談等出来る支援体制を整備。  
支援会議の開催、関係機関とのケア会議の実施。必要に応じ随時開催。
- ・外出の機会の促進  
土・日のドライブや、地域のウォーキング・個別の買い物など個々人にあった外出機会の提供。
- ・夜間の支援体制を強化する為、仁木地区GHに夜間支援員を配置し高齢化に伴う夜間帯の  
身体的安全対応の強化や防犯面での対応強化を行い、安心して暮らせる生活場を提供する。

#### □ 就労(移行)支援

- ・地元農家・地元ワイナリーとの連携事業  
トマトの箱折りの収益活動・ワイナリーブドウ園等の除草作業・公園管理ボランティア  
年間通じての収益活動を模索していく。適宜必要な場面活動個所の調整を行い、活動場所の設置  
など仁木地区事業所とも協議をしながら設置等検討を進める。

支援体制図



## 主な行事実施計画

| 行事名                   | 実施日   | 摘 要                                |
|-----------------------|-------|------------------------------------|
| ゴールデンウィーク・花見外出        | 5月    | 生活介護グループは銀山学園と共催<br>それ以外は各 GH にて開催 |
| さくらんぼ狩り               | 7月    | 生活介護グループは銀山学園と共催                   |
| コタン BBQ・ふきのとう BBQ     | 7月    | 各 GH にて対応                          |
| ふれあい祭り                | 9月    | 各 GH にて対応                          |
| もみじ狩り                 | 9月    | 生活介護グループは銀山学園と共催                   |
| 食の祭典                  | 11月   | 銀山学園と共催（生活介護グループ）                  |
| クリスマス会                | 12月   | 生活介護グループは銀山学園と共催<br>それ以外は各 GH にて開催 |
| ラーメンツアー               | 2月～3月 | 生活介護グループ                           |
| 買物外出（余暇支援）<br>年末年始買物会 | 毎月実施  | 各 GH にて対応（個別対応含む）                  |
| 余暇外出（映画・ボウリング）        | 適宜    | 各 GH にて対応                          |

## 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会       | 実施日    | 摘 要                          |
|--------------|--------|------------------------------|
| 運営会議         | 毎月 1 回 | 銀山学園と共催                      |
| 部科長会議        | 毎月 1 回 | 銀山学園と共催                      |
| コタン会議        | 毎月 1 回 |                              |
| 各 GH の会議     | 毎月 1 回 |                              |
| リスクマネジメント委員会 | 毎月 1 回 | 銀山学園と共催                      |
| 権利擁護推進委員会    | 毎月 1 回 | 銀山学園と共催                      |
| 係長会議         | 毎月 1 回 | 銀山学園と共催                      |
| 給食運営委員会      | 年 3 回  | 銀山学園・親和会と共催                  |
| 世話人会議        | 毎月 1 回 | 生活介護グループ・通所グループそれぞれ<br>月／1 回 |

## 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名        | 実施日 | 摘 要 |
|------------|-----|-----|
| 虐待防止伝達研修   | 複数回 |     |
| 法人自閉症研究会   | 複数回 |     |
| 法人 GH 職員研修 |     |     |

## 研修計画(外部研修)

| 研修名                                | 実施日    | 摘 要           |
|------------------------------------|--------|---------------|
| 全道 GH スタッフ研修会                      |        |               |
| 全道施設職員研修会                          |        |               |
| 自閉症ワークショップセミナー                     | 8月     | 5日間 侑愛会 開催    |
| 権利擁護セミナー                           |        |               |
| 自閉症セミナー                            | 年 1 回  | 3日間 はるにれの里 開催 |
| 後志地区 4 法人勉強会                       | 年 1～2回 |               |
| 発達障害講座<br>(start standard advance) | 年数回    | はるにれの里 開催     |
| 感染症研修                              | 年 1 回  | 保健所 開催        |
| 虐待防止研修                             | 年 1 回  | 北海道主催         |

## 権利擁護の推進方針

- 権利擁護推進委員会 毎月開催。  
各月、テーマをもって、研鑽を積む。
- 虐待防止のための職員セルフチェックを定期的に実施。  
集計、分析の作業を通して、日々の支援の中で、利用者との関わりについて具体事例を掘り下げ、その対応については、考え方を全体で共有していく。
- 個別支援の充実を目指す。アセスメントの繰り返しで、一人ひとりの生きづらさをくみとり、個別に配慮すべきは何かを支援者が共有していくことに努める。

## コミュニケーション面談実施計画

年間1回実施。

管理者・科長と3グループに分け、年1回実施。

- ・日常コミュニケーション場面の体制づくり  
日々の困り事・相談など面談以外の場面でも、お互いに何でも言い合える関係づくりを進め  
風通しの良い職場環境づくりを進める。

## 施設・事業所の構造

|     |      |                          |
|-----|------|--------------------------|
| 建 物 | 構 造  | ピリカ・カムイ・モシリ 木造 平屋建て 3棟   |
|     | 延べ面積 | 1棟あたり 331.24㎡<br>993.72㎡ |

|     |      |                       |
|-----|------|-----------------------|
| 建 物 | 構 造  | GHくるみ 木造合金メッキ鋼板葺 平屋建て |
|     | 延べ面積 | 203.72㎡               |

|     |      |                                   |
|-----|------|-----------------------------------|
| 建 物 | 構 造  | GHこぶし 木造合金メッキ鋼板葺 2階建て             |
|     | 延べ面積 | 183.83㎡ 内訳 1階 97.71㎡<br>2階 86.12㎡ |

|     |      |                                   |
|-----|------|-----------------------------------|
| 建 物 | 構 造  | GHすずらん 木造合金メッキ鋼板葺 2階建て            |
|     | 延べ面積 | 125.03㎡ 内訳 1階 81.15㎡<br>2階 43.88㎡ |

|     |      |                                      |
|-----|------|--------------------------------------|
| 建 物 | 構 造  | GHすみれ 木造合金メッキ鋼板葺 2階建て                |
|     | 延べ面積 | 198.744㎡ 内訳 1階 99.372㎡<br>2階 99.372㎡ |

|     |      |                        |
|-----|------|------------------------|
| 建 物 | 構 造  | GHふれあい 木造合金メッキ鋼板葺 平屋建て |
|     | 延べ面積 | 190.31㎡                |

|     |      |                       |
|-----|------|-----------------------|
| 建 物 | 構 造  | GHぽぷら 木造合金メッキ鋼板葺 平屋建て |
|     | 延べ面積 | 197.08㎡               |

|     |      |                                    |
|-----|------|------------------------------------|
| 建 物 | 構 造  | GHやすらぎ 木造合金メッキ鋼板葺 2階建て             |
|     | 延べ面積 | 195.48㎡ 内訳 1階 110.16㎡<br>2階 85.32㎡ |

## 2022年度事業計画(案)

施設・事業所名 えんれいそう

### 実施する福祉サービスなど

| 介護サービス事業     | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述べ人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|--------------|-----------|------------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 地域密着型通所介護    | 14 名      | 784 名                  | 258 日               | 3.0                  | 31.4%             |
| 総合事業通所事業     | 名         | 371 名                  | 258 日               | 1.4                  | %                 |
| 生きがい活動支援通所事業 | 2 名       | 499 名                  | 258 日               | 1.9                  | 95%               |
|              | 名         | 名                      | 日                   |                      | %                 |

### 職員体制(2022 年 4 月 1 日)

職員体制(2022年1月1日)

| 職 種   | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換算後の職員数 | 摘 要 |
|-------|-----|-----|----|-----|----|-----------|-----|
|       |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |           |     |
|       |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |           |     |
| 管理者   | 1   |     | 1  |     |    | 0.2       |     |
| 生活相談員 | 1   |     | 1  |     |    | 0.8       |     |
| 医師    |     |     |    |     |    |           |     |
| 介護員   | 2   | 1   | 1  |     |    | 2.0       |     |
| 看護師   | 2   |     |    |     | 2  | 0.2       |     |
| 栄養士   |     |     |    |     |    |           |     |
| 事務員等  |     |     |    |     |    |           |     |
| その他   |     |     |    |     |    |           |     |
| 合 計   | 6   | 1   | 3  |     | 2  | 3.2       |     |

### 重点推進目標(3 点)

|                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○利用者数、利用率の向上（地域密着型通所介護・総合事業通所事業（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良質なサービスの提供に努める。</li> </ul> <p>魅力ある趣味的活動のメニューの開発及び充実した日常動作訓練の実施（継続）</p> <p>日常生活支援にふさわしいメニューを開発し楽しい雰囲気作りを図る。</p> |
| <p>○運営推進会議の開催（年2回）（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の代表者、利用者、家族、市町村職員等を委員とし提供しているサービス内容等を明らかにするとともにサービスの質の確保を図ることを目的に開催する。</li> <li>・町内の福祉ニーズ等から高齢者の生活支援面での活動、協力を実施</li> </ul>   |
| <p>○デイサービスセンター機能を活用し、就労支援などの推進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陽だまりに職員補助業務（館内清掃、食事準備、移動補助など）を委託し、就労支援の場として推進</li> </ul>                                                           |

## 施設整備計画

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
| ○ | 【予定額】 | 千円 |

## 設備整備計画(車輛更新含む)

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
| ○ | 【予定額】 | 千円 |

## 支援計画

### ☐ 日常生活支援

- ・排泄の介助～介助が必要な方に対して、排泄の介助、おむつ交換を行います。
- ・移動の介助～介助が必要な方に対して、室内の移動、車椅子移乗等の介助を行います。
- ・その他必要な身体介護～更衣、服薬等介助が必要な方に対して、介助、確認を行います。
- ・入 浴～入浴の提供及び介助が必要な方に対して、入浴の介助や清拭を行います。  
車椅子の方でも機械を使用して入浴することができます。
- ・機能訓練～機能訓練指導員により、利用者の心身等の状況に応じて、日常生活を送るのに必要な機能の回復又はその減退を防止するために、食事、入浴、排せつ、更衣等の日常生活動作を通じた訓練を行います。
- ・食事～食事の提供及び介助が必要な方に対して、ケアを行います。
- ・送迎～事業者が保有する自動車により、利用者の居宅と事業所までの間の送迎を行います。  
ただし、道路が狭いなどの事情により、自動車による送迎が困難な場合は、車椅子又は歩行介助により送迎を行うことがあります。
- ・相談・助言～相談員により、利用者及びその家族の日常生活における介護等に関する相談、助言を行います。（必要に応じて、仁木町包括ケアマネとも相談を致します）
- ・その他～利用者の心身等の状況、希望等に応じて、レクリエーションや創作活動、体操等実施します。  
また、季節感を取り入れた行事、ドライブ、散歩なども行います。

### ☐ 日中活動支援

- ・嚥下体操の実施～昼食前に必ず嚥下体操を実施
- ・体操の実施 ～午後20分程度の軽運動の実施（ふまねっと運動・介護予防体操）

### ☐ 居住環境整備

- ・安全確認 ～ケアマネより相談を受け送迎時独り暮らしの方を中心に火の元確認等の実施  
必要に応じてケアマネに報告。

### ☐ 保健医療

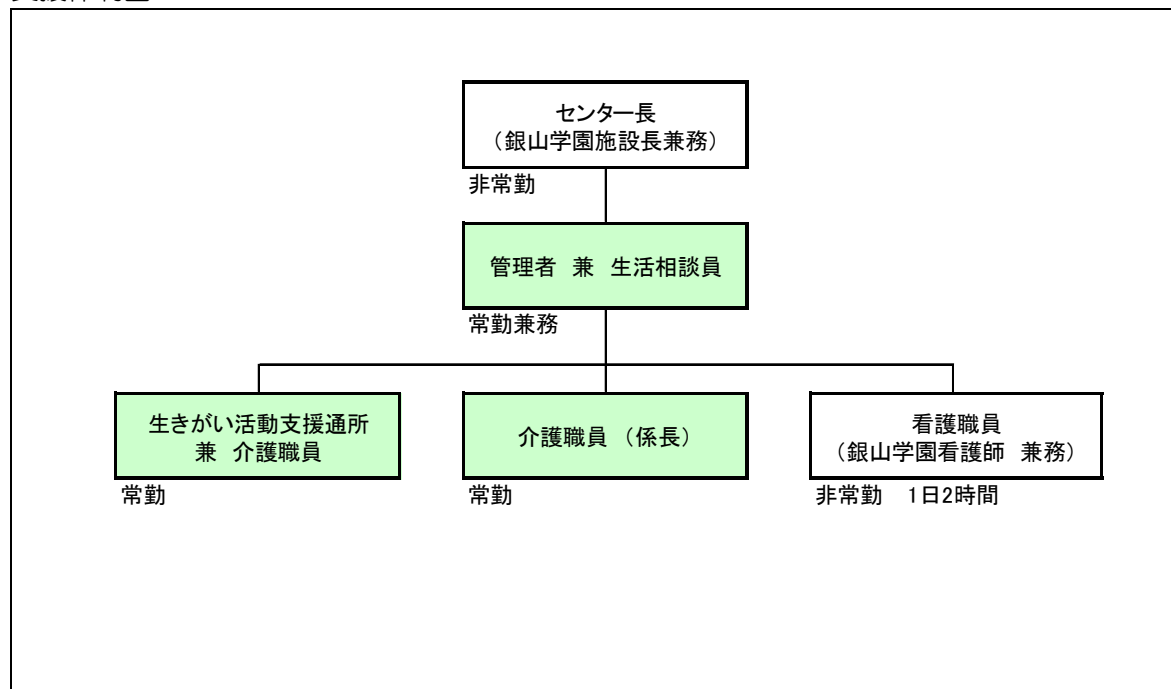
- ・検温血圧測定 ～来所時に必ず看護師による検温血圧測定の実施（必要に応じて酸素飽和度測定実施）
- ・体 重 ～月1回実施（必要に応じて医療機関提出）
- ・爪切り ～手足の爪切り実施（必要に応じて医療機関への報告）
- ・服薬管理 ～ご家族やケアマネより要望があれば昼食後の服薬の実施
- ・救急隊の要請 ～救急車に乗車し、現地で家族または、ケアマネが到着後に引き継ぐ。

### ☐ 社会生活支援

- ・敬老会 ～仁木町主催敬老会への参加
- ・日帰り旅行 ～公共施設の見学（博物館等）温泉浴
- ・茶話会の実施～休日の余暇の活動の一環として実施



## 支援体制図



## 主な行事実施計画

| 行事名  | 実施日     | 摘 要                |
|------|---------|--------------------|
| 買い物会 | 毎 月     | 曜日毎の買い物会（月～金）月 5 回 |
| ドライブ | 5 月～9 月 | 花見～紅葉              |
|      |         |                    |

## 介護保険外（余暇・地域生活支援）

|               |       |        |
|---------------|-------|--------|
| 日帰り旅行         | 5月中旬  | 土曜日    |
| 敬老会参加協力       | 9月中旬  | 町主催敬老会 |
| 茶話会（えんれいそう広場） | 9月下旬  | 土曜日    |
| 茶話会（忘年会）      | 12月初旬 | 土曜日    |
| 茶話会（新年会）      | 1月中旬  | 土曜日    |
| 茶話会（蕎麦打ちボウ）   | 2月上旬  |        |

## 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会   | 実施日   | 摘 要 |
|----------|-------|-----|
| 職員会議     | 月 1 回 |     |
| アセスメント会議 | 月 1 回 |     |
|          |       |     |

## 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名      | 実施日   | 摘 要     |
|----------|-------|---------|
| 銀山学園内部研修 | 年 3 回 | 銀山学園と合同 |
| 法人職員研修   | 年 1 回 |         |
| 避難訓練     | 年 1 回 | 銀山学園と合同 |
| 救急救命等研修  | 年 1 回 |         |

#### 研修計画(外部研修)

| 研修名       | 実施日 | 摘 要  |
|-----------|-----|------|
| 仁木町ケア会議   | 月1回 |      |
| 後志デイ施設長研修 | 年1回 |      |
| 後志デイ職員研修  | 年1回 |      |
| 担当者会議     |     | その都度 |

#### 権利擁護の推進方針

運営推進会議を主催し利用者、利用者の家族、地域住民から見たえんれいそうの運営に対し、ご意見、ご感想をいただき改めて気づくことの重要性を感じ更なる権利擁護の推進を図る。  
9月と3月に実施予定

#### コミュニケーション面談実施計画

秋に実施予定（職員数4名：センター長実施）

#### 第三者評価実施計画

法人の計画により、令和2年度実施から継続

#### 施設・事業所の構造

| 建 物  | 構 造  | RC                                                                     |
|------|------|------------------------------------------------------------------------|
|      | 延べ面積 | 299.75㎡<br>内 訳<br>食堂等 114.90㎡<br>事務室 20.25㎡<br>浴 室 24.75㎡<br>他 139.85㎡ |
| 敷地面積 |      | 35.646㎡                                                                |

## 2022年度事業計画(案)

施設・事業所名 陽だまり

### 実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業 | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|----------|-----------|-----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 就労継続支援B型 | 40名       | 10,500名               | 269日                | 39                   | 97%               |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |

### 職員体制(2022年4月1日)

| 職 種       | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要 |
|-----------|-----|-----|----|-----|----|-------------------|-----|
|           |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |     |
|           |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |     |
| 管理者       | 1   | 1   |    |     |    | 1                 |     |
| サービス管理責任者 | 1   | 1   |    |     |    | 1                 |     |
| 医師        |     |     |    |     |    |                   |     |
| 作業指導員     | 7   | 3   |    | 4   |    | 6.4               |     |
| 生活支援員     | 1   | 1   |    |     |    | 1                 |     |
| 調理員       | 1   |     |    | 1   |    | 0.2               |     |
|           |     |     |    |     |    |                   |     |
| 目標工賃達成職員  | 1   | 1   |    |     |    | 1                 |     |
| 合 計       | 12  | 5   | 1  | 4   | 1  | 10.6              |     |

### 重点推進目標(3点)

#### ○安心して働ける場の提供

- ・利用者の高齢化が進み作業量全体の低下が見られるため、作業方法・作業手順の見直しを行い作業全体の効率化を図り体力的な負担の軽減を図る。
- ・暮らしの場と連携、連絡をとり安定した授産作業を継続し通所機能の維持を図る。
- ・体力の維持を図りつつ、生きがいを持てる作業で意欲の増進を図る。

#### ○作業工賃増を目指し、計画的・効率的な作業内容に

- ・新規販路の拡大（法人内での販売網の確立）～継続
- ・にんにくの栽培及び黒にんにく加工・販売～継続
- ・銀山地区10グループホームへの食材配送事業の開始～新規

#### ○健康管理と余暇支援の充実

- ・医療機関、ふきのとう、銀山学園医務室、大江学園医務室と連携し安心して利用できるよう継続し健康管理の充実を図る。
- ・余暇支援、行事参加等の参加について自己選択、自己決定できるよう情報の提供を行い作業意欲、生活の意欲向上を目指す。

# 資金収支予算

| 事業活動収入 (千円)   |        | 事業活動支出 (千円) |        |
|---------------|--------|-------------|--------|
| 介護保険事業収入      |        | 人件費支出       | 46,100 |
| 就労支援事業収入      | 6,762  | 事業費支出       | 10,549 |
| 障害福祉サービス等事業収入 | 76,150 | 事務費支出       | 13,015 |
| 公益事業収入        |        | 就労支援事業支出    | 6,762  |
| 経常経費寄附金収入     | 1      | 支払利息支出      |        |
| 受取利息配当金収入     |        | その他の支出      | 5,000  |
| その他の収入        | 700    |             |        |
| 事業活動収入計 A     | 83,613 | 事業活動支出計 B   | 81,426 |

|                |       |
|----------------|-------|
| 事業活動収支差額 C=A-B | 2,187 |
|----------------|-------|

|               |  |
|---------------|--|
| 設備資金借入金元金償還 D |  |
|---------------|--|

|              |       |
|--------------|-------|
| 退職給付引当資産支出 E | 1,030 |
|--------------|-------|

|          |  |
|----------|--|
| 積立資産支出 F |  |
|----------|--|

|                |       |
|----------------|-------|
| 資金残高 G=C-D-E-F | 1,157 |
|----------------|-------|

## 施設整備計画

|                                 |       |         |
|---------------------------------|-------|---------|
| ○陽だまり建物(利用者玄関・食堂床張り替え・職員室床張り替え) | 【予定額】 | 1005 千円 |
| ○                               | 【予定額】 | 千円      |

## 設備整備計画(車輛更新含む)

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
| ○ | 【予定額】 | 千円 |

## 支援計画

- ☐ 日常生活支援
  - ① 基本的な生活習慣を確保し社会的に自立した生活ができる支援を提供する。
  - ② 安心した日常生活を過ごす事ができる相談支援を提供する。
  - (主な取り組み)
  - \*食 事            季節をふまえ変化に富んだ献立と栄養と利用者の身体状況に配慮したものを提供する。  
                         就労B事業者へ給食業務の委託契約。
  - \*相談支援の充実  
                         対人関係上のトラブル、健康管理、地域生活での困りごと等に関する各種相談の支援。
- ☐ 就労支援
- ☐ ① 働く喜び・活動する喜びを享受できる適切な支援を提供する。
- ☐ ② 他者（ヒト）と共に創り出す喜びを味わう事ができる支援を提供する。
- ☐ ③ 自らの可能性を広げる喜びを分かち合うことが出来る支援を提供する。
- ☐ ④ 安定した所得保障を支援する。
- ☐        利用者の生活を支える安定した収入を図るための授産事業の安定化と生産性、販売向上へ向けた
- ☐        取り組みを図る。
- ☐ (主な取り組み)
- ☐        ◆作業活動
  - \*食品配送事業(新規事業)
    - ▶銀山地区10グループホームへの食材配送を実施
    - ▶
  - \*ブルーベリー生産販売
    - ▶剪定後の挿し木によるブルーベリーの育苗
    - ▶ブルーベリー苗木の新種への植え替えを継続実施
  - \*にんにくの栽培及び黒にんにく加工・販売
    - ▶販売網を確立し安定した製品づくりを目指す
  - \*委託業務作業
    - ▶銀山学園清掃、洗濯業務委託事業の継続
    - ▶環境整備委託事業の継続
    - ▶大江学園 冬期間の建物屋根排雪作業の受託
- ☐        ◆余暇活動
  - \*主な行事            家庭訪問、ビアガーデン、忘年会、新年会、慰労会、日帰り旅行
  - \*地域行事参加       銀山女代神社祭、銀山地区盆踊り、銀山地区文化祭、町内会新年会
  - \*クラブ活動           ダンス交流会、スキー（クロスカントリー、アルペン）、パークゴルフ
  - \*各種大会参加       後志ボウリング大会、後志パークゴルフ大会、希望の会文化祭  
                                 全道冬季障がい者スポーツ大会
- ☐ 保健医療
  - ① 日常的な健康維持に配慮し、体力の維持・向上を図るための支援を提供する。
  - ② 健康に対する知識を獲得し、自らの健康を守ることの大切さを自覚できる支援を提供する。
  - (主な取り組み)
  - \*健康診断の実施、結核検診の実施、各種がん検診の実施、インフルエンザ予防接種の実施

＊健康管理

- ・嘱託医による検診をはじめ、日常的には銀山学園医務室と連携し疾病予防・健康管理を行う
- ・作業開始前にバイタルチェックの実施（要観察の利用者のみ）
- ・毎月 1 回定期的な身体測定（血圧・体重）を実施する

＊服薬管理、通院治療

- ・ふきのとう事業所と連携し服薬支援及び個別疾患に応じた通院治療への支援を行う
- ・服薬管理はふきのとう事業所の協力を得て支援する。

＊入院中の支援

- ・ふきのとう事業所と連携し安心した入院生活をするために巡回し、適宜迅速な支援を行う。

□ 社会生活支援

- ① 個別的なコミュニケーション手段を工夫し、自己管理が可能な力を確保出来るような支援を提供する
- ② 日常の社会生活が個々人の希望が尊重されたものとなるような支援を提供する。

（主な取り組み）

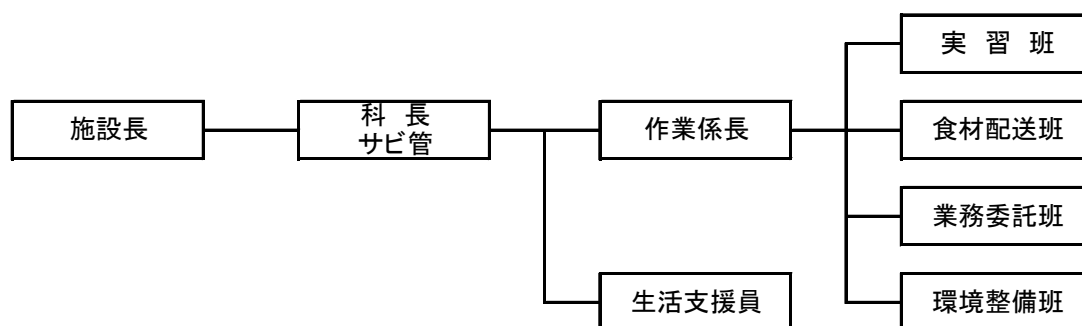
＊余暇活動に係る支援

＊利用者の会と職員合同での定例会議の実施

＊地域との連携による地域活動の推進

- ・利用者による地域活動の推進
- ・地域ボランティア活動 女代神社祭参加
- ・町内会活動への参加 総会への出席、新年会出席等
- ・地域行事への参加 女代神社祭、銀山地区文化祭、チャリティーダンスパーティー等

支援体制図



### 主な行事実施計画

| 行事名     | 実施日  | 摘 要 |
|---------|------|-----|
| 家庭訪問    | 未定   |     |
| ピアガーデン  | 7 月  |     |
| プロ野球観戦  | 未定   |     |
| ふれあい祭   | 9 月  |     |
| 体験日帰り旅行 | 未定   |     |
| 忘年会     | 12 月 |     |
| 新年会     | 1 月  |     |
| 慰労会     | 未定   |     |

### 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会      | 実施日       | 摘 要                   |
|-------------|-----------|-----------------------|
| 陽だまり会議      | 毎月第 3 土曜日 | 利用車と合同で開催             |
| 支援会議        | 毎月第 3 土曜日 | 全職員                   |
| 仁木地区会議      | 毎月第 3 金曜日 | 仁木地区事業所施設長・管理者・部長     |
| 虐待防止委員会     | 毎月第 3 土曜日 | 全職員                   |
| 利用者の会会議     | 毎月第 3 土曜日 | 陽だまり会議と合同で開催 全職員・全利用者 |
| 個別支援計画策定会議  | 9 月・3 月   | 全職員                   |
| 個別支援計画関係者会議 | 随時        | 全職員                   |
| 事故防止対策会議    | 随時        | 全職員                   |
| 作業班会議       | 随時        | 施設長・支援科長・係長・各班作業職員    |
| 防災会議        | 随時        | 全職員                   |

### 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名       | 実施日       | 摘 要          |
|-----------|-----------|--------------|
| 法人職員研修    | 未定        | 法人全職員対象      |
| 法人新任職員研修  | 未定        |              |
| 法人年代別研修   | 未定        |              |
| 法人施設長部長研修 | 未定        |              |
| 法人科長研修    | 未定        |              |
| 内部研修      | 毎月第 3 土曜日 | 陽だまり会議時に適宜開催 |

### 研修計画(外部研修)

| 研修名        | 実施日     | 摘 要 |
|------------|---------|-----|
| 権利擁護セミナー   | 未定      |     |
| 全道職員支援員研修  | 未定      |     |
| 後志福祉協会研修   | 未定      |     |
| 就労センター関係研修 | 未定      |     |
| 全道施設長研修    | 5 月・3 月 |     |
| 幹部職員研修     | 未定      |     |

## 権利擁護の推進方針

「安心と笑顔支援マニュアル」を全職員にて確認し権利擁護の意識を高める。

- \*さん付けの徹底。
- \*毎月実施の陽だまり会議終了後、虐待防止委員会を適宜開催し理解を深める。
- \*内部研修の開催。
- \*虐待防止チェックリストの実施。
- \*外部研修への参加。

## コミュニケーション面談実施計画

職員個々の就業意欲の向上を図ることを目的とし面談を実施する。

- \*実施時期 令和5年1月～2月
- \*対象職員 陽だまり全職員
- \*面談者 施設長
- \*時 間 17時～30分程度
- \*場 所 陽だまり面談室

## 施設・事業所の構造

|      |      |                                                                     |
|------|------|---------------------------------------------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺一部2階建                                                    |
|      | 延べ面積 | 479.93 m <sup>2</sup><br>築年数<br>平成元年12月（平成11年一部増築<br>平成20年、21年一部増築） |
| 敷地面積 |      |                                                                     |



## 2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 大江学園

### 実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業 | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述べ人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|----------|-----------|------------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 施設入所支援   | 40 名      | 14235 名                | 365 日               | 39                   | 98%               |
| 生活介護     | 60 名      | 11836 名                | 269 日               | 44                   | 73.3%             |
| 短期入所     | 4 名       | 名                      | 365 日               |                      | %                 |
|          | 名         | 名                      | 日                   |                      | %                 |

### 職員体制(2022 年 4 月 1 日)

| 職 種       | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要 |
|-----------|-----|-----|----|-----|----|-------------------|-----|
|           |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |     |
|           |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |     |
| 管理者       | 1   |     | 1  |     |    | 0.1               |     |
| サービス管理責任者 | 1   | 1   |    |     |    | 1.0               |     |
| 医師        | (1) |     |    | (1) |    |                   | 嘱託  |
| 支援員       | 28  | 25  | 1  | 2   |    |                   |     |
| 看護師       | 2   | 1   |    | 1   |    | 1.4               |     |
| 栄養士       | 1   | 1   |    |     |    | 1.0               |     |
| 事務員等      | 3   | 2   | 1  |     |    | 2.5               |     |
| その他       |     |     |    |     |    |                   |     |
| 合 計       | 37  | 29  | 3  | 3   |    |                   |     |

### 重点推進目標(3 点)

|                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○権利擁護意識の向上を図る<br>i 権利擁護の意識を高める *権利擁護研修への積極的な参加。<br>*職員による伝達研修の実施。<br>*一人ひとりの個性を理解しチームアプローチの実施。                                                                                                                                      |
| ○新型コロナウイルス感染症対策の継続及び余暇支援の充実<br>i 持ち込まない取り組みの徹底<br>*3 密回避 *マスクの着用 *手指消毒の徹底 環境消毒の継続<br>*換気の徹底 *出勤前の検温(職員)*基本的な感染対策の取り組みを継続し徹底する。<br>ii コロナ禍による外出自粛に伴う余暇支援の充実<br>*行事については中止とせず代替にて実施する。(令和 3 年度も実施)<br>*定期的に外部発注による昼食会 *レクを取り入れた行事の開催等 |
| ○施設整備の修繕及び修繕計画の作成<br>i キュービクルの入れ替え工事<br>ii 陶芸館屋根の塗装・修繕<br>iii 施設の老朽化に伴う修繕計画の作成                                                                                                                                                      |

- 共生型生活支援（しょうぶの丘）の継続した取り組み
- i 利用率向上に向けた取り組みを行う
  - ii 共生をテーマにお互いを支え合える生活づくりを目指す。

#### 施設整備計画

○キューピクル入れ替え工事

【予定額】 4,000 千円

○陶芸館屋根の塗装及び修繕

【予定額】 見積調整中

#### 設備整備計画(車輛更新含む)

○

【予定額】 千円

○

【予定額】 千円

#### 支援計画

□ 日常生活支援

##### 【目標】

- ① 毎日を安心して生活できる支援を提供する。
- ② 日々の生活を快適に過ごすことが出来る支援を提供する。
- ③ 介護状態に応じて適切な介護を提供する。

##### 【主な取り組み】

- \*生活 リスクマネジメントを強化し安心・安全・快適な生活の提供。
- \*食事 栄養と季節をふまえた変化に富んだ献立と利用者の身体状況に配慮したものを提供する。  
嚥下機能が低下した利用者さんへの嚥下状態にあった形態で食事を提供する。
- \*排泄 排泄状況を把握し、利用者さんの心身の状態に応じた支援を提供する。
- \*入浴・睡眠・着脱衣・整容・移動  
利用者の生活リズムを尊重し、清潔快適な生活を過ごすことが出来る支援を提供する。  
～ 入浴は、一般浴・特殊浴槽・一人浴槽
- \*買物 個人の嗜好を尊重し、健康的で充実する生活がおくれるよう、買い物の支援を提供する。

□ 日中活動支援

##### 【目標】

- ① 活動する喜びを享受できる適切な支援を提供する。
- ② 他者と共に創り出す喜びを味わうことが出来る支援を提供する。
- ③ 自らの可能性を広げる喜びを分かち合うことが出来る支援を提供する。

##### 【主な取り組み】

- ・陶芸活動への参加 専属職員2名を配置  
一般参加者と交流の陶芸活動  
展覧会への作品出展（みんなアート・余市公募展・仁木町文化祭）  
きのこ王国での陶芸作品の販売
- ・園芸作業 花菖蒲畑の管理 ひまわり栽培
- ・介護予防を目的とした余暇活動（「高齢者体力づくり支援士」による健康維持活動の実施）

個別の軽運動 ～ 歩行、ストレッチ、足こぎ車椅子の使用

レクリエーション ～ 体操、ふまネット運動、カラオケ、フライングディスク、ボウリング  
射的、輪投げ、魚釣りゲーム、シーツサッカー等  
年2回のレクリエーション大会

クラブ活動 ～ パークゴルフクラブ、歩くスキークラブ

健康運動教室 ～ 健康体操の講師による運動教室（毎月2回実施）

音楽の広場 ～ 音楽療法士による曲に合わせた軽運動や歌（毎月1回開催）

リハビリ ～ 外部柔道整復師によるリハビリの実施

作業療法士・理学療法士による個人に合わせた軽運動の指導（日程は相談）

#### □ 居住環境整備

##### 【目標】

- ① 快適な日常生活環境を整えるための個別的支援を提供する。
- ② 安全と自立が適切に確保される支援を提供する。

##### 【主な取り組み】

- ・転倒防止の取り組み ～ 手すり、センサーマット、ナースコール、センサーランプの設置
- ・怪我防止の取り組み ～ 床にジョイントマットを設置。家具等の角にサイドクッションを設置
- ・安全安心な介護を目的として ～ ギャッジベッド、ポータブルトイレの使用
- ・プライバシーの保護 ～ パーテーション、カーテンの使用
- ・事故防止の取り組み ～ 危険物の徹底した管理

#### □ 保健医療

##### 【目標】

- ① 日常的な健康維持に配慮し、体力の維持・向上をはかる為の支援を提供する。
- ② 感染症（新型コロナウイルス）への継続した対策を継続する。

##### 【主な取り組み】

- ・高齢化に伴い疾病が増加、重篤化している。各種定期検診を受診し、疾病の早期発見、早期予防に努めるとともに、定時の検温、血圧測定等日常的な健康管理を継続して実施する。
- ・コロナウイルスを持ち込まない対策を徹底する。

##### 【具体的な提供内容】

- 健康管理 ①年4回の嘱託医による往診。  
②毎日の検温、血圧測定及び白癬治療等 看護師、職員による日常的な健康管理の実施。  
③成人病に関する各種定期検診の受診  
④年1回の健康診断の実施
- 服薬管理・通院治療 常時の服薬介助及び個別疾患に応じた通院治療への支援を行う。
- 入院中のサービス 安心した入院生活をおくるために巡回し、適宜迅速な支援を行う
- コロナウイルス対策 マスクの着用、定期的な換気の実施、環境消毒、手指消毒の実施。  
職員：出勤前の検温の徹底、マスク着用、手指消毒の徹底。

#### □ 社会生活支援

##### 【目標】

- ① 地域の社会資源や社会参加の機会を知り、利用・参加の希望に副った情報を提供します。
- ② 日常の社会生活のなかで、個々人の希望が尊重されたものとなるような支援を提供する。
- ③ 自治活動による社会参加の機会を持ち、社会貢献の喜びや人権意識を高める支援を提供する。

##### 【主な取り組み】

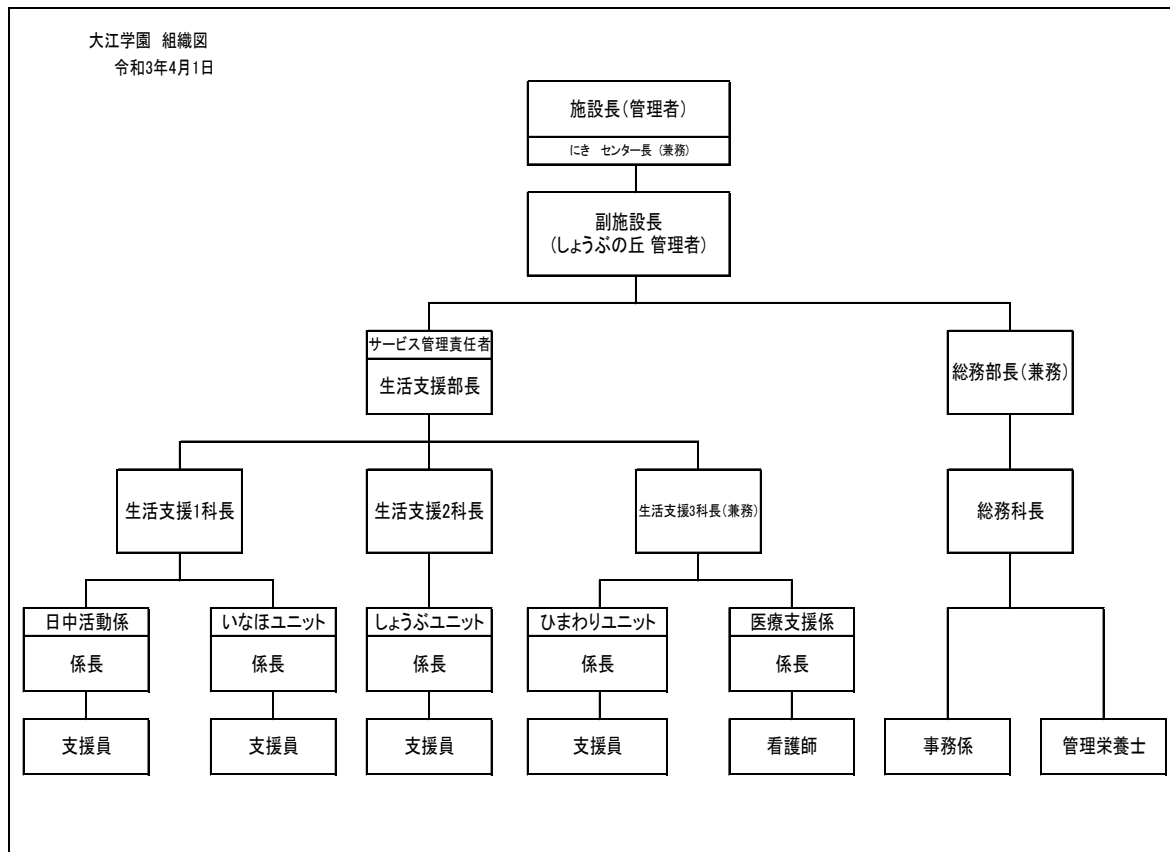
- ・地域の方々との諸活動を通じた交流と利用者本人による活動に対して積極的な支援を実施する。また、地域生活を希望する利用者に対して、個別支援計画に基づき適切な支援を実施する。
- ・自ら考え、意見や質問を協議する機会を持ち、自らの生活環境に働きかけるための支援を提供する。

- ・土、日、祝日の余暇の時間を活用して、利用者さんの事業所間の交流を深め互いの生活環境を知り、生活の場の視野を広げる支援を提供する。

【具体的な支援】

- ① 老人クラブ「大江桃の会」「仁木喜楽会」への継続参加と本人希望により新規加入の拡大  
自治会活動（「大江学園利用者の会」「銀山と大江と陽だまりの連合会」）の支援

支援体制図



主な行事実施計画

| 行事名             | 実施日    | 摘 要                    |
|-----------------|--------|------------------------|
| 大江連合運動会         | 6/19   | 大江町内会、大江保育所、大江学園       |
| 花菖蒲まつり（学園祭）     | 7/10   |                        |
| 大江地域盆踊り大会       | 8/15   | 会場：大江学園                |
| 学園一泊旅行          | 9月～11月 | 1泊旅行3コース 園内食事会1回（不参加者） |
| 大江神社例大祭         | 9/7～8  | 大江コミュニティーセンター          |
| 大江地域合同クリスマス会    | 12/10  | 会場：大江学園交流ホーム           |
| 仁木町ゆっくり歩こうスキー大会 | 2023.2 |                        |
| 誕生会             | 毎月第4木曜 |                        |
| 百歳万歳（長寿を祝う会）    | 2023.2 |                        |

会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会       | 実施日      | 摘 要                    |
|--------------|----------|------------------------|
| 管理職会議        | 毎月第 1 木曜 | 施設長・副施設長・科長            |
| 運営会議         | 毎月第 1 木曜 | 施設長・副施設長・科長・係長         |
| 虐待防止委員会      | 毎月第 1 木曜 | 施設長・副施設長・科長・係長         |
| リスクマネジメント委員会 | 毎月第 1 木曜 | 施設長・副施設長・科長・係長         |
| 生活支援科会議      | 毎月第 3 木曜 | サービス管理責任者・科長・係長        |
| サービス会議       | 毎月第 3 木曜 | 全職員                    |
| 医療・食生活会議     | 毎月第 4 木曜 | 運営会議メンバー・管理栄養士・給食委託業者  |
| ユニット会議       | 随時       | ユニット職員（サビ管・科長・看護師・栄養士） |
| 各行事担当者会議     | 随時       | 各担当職員                  |
| 各委員会会議       | 随時       | 各担当職員                  |
|              |          |                        |
|              |          |                        |
|              |          |                        |

#### 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名           | 実施日      | 摘 要               |
|---------------|----------|-------------------|
| 新任職員研修        | 年 8 回    | 新規・中途採用職員 講師＝職員   |
| 法人研修委員による内部研修 | 毎月第 3 木曜 | ケース会議時 職員ガイドブック使用 |
| 研修参加職員報告会     | //       | //                |
| 感染症対策研修       | 随時       | 防護服の着脱手順、嘔吐物の処理方法 |
|               |          |                   |
|               |          |                   |
|               |          |                   |
|               |          |                   |
|               |          |                   |
|               |          |                   |
|               |          |                   |

#### 研修計画(外部研修)

| 研修名            | 実施日     | 摘 要             |
|----------------|---------|-----------------|
| 権利擁護・虐待防止研修    | 随時      | 道福祉協会、後志地方会主催   |
| 余市栄養士会研修       | 随時      | 管理栄養士           |
| 全道施設長研修・セミナー   | 5 月・2 月 | 施設長             |
| 道知的障がい関係施設職員研修 | 年 1 回   | 生活支援員           |
| 全国知的障がい関係職員研修  | 年 1 回   | 生活支援員           |
| 専門研修（感染症予防研修）  | 随時      | 看護師・管理栄養士・生活支援員 |
| 強度行動障がい支援者養成研修 | 随時      |                 |
| 行動援護従事者研修      | 随時      |                 |
| サービス管理責任者養成研修  | 随時      |                 |
| 幹部職員研修         | 随時      |                 |
| その他研修          | 随時      |                 |

## 権利擁護の推進方針

1. 権利擁護に関する研修会の実施
  - i 定例サービス会議の中で、権利擁護、人権意識を高める研修会を開催する。
  - ii 職員チェックリストの活用をはかり、自己を再認識する場を設ける。
  - iii 毎月1回虐待防止委員会を開催し権利擁護の意識を高める。
2. 虐待防止のための体制整備の強化
  - i 倫理綱領・行動規範について職員へ周知徹底をはかる。
  - ii 緊急やむを得ない場合の身体拘束について手続き、方法を職員に徹底する。
  - iii 苦情相談について利用者の会で分かりやすく利用者へ説明をする。
3. 職員一人ひとりの「気づき」力の育成。
  - i チェックリスト等の内容を評価し、支援職員の育成に繋げる。
  - ii 育成研修のプログラムに人権意識や権利擁護に関する学習の機会を設定する。
  - iii 具体的ケースの中で検討を重ね、チームアプローチとして職員間の共有を図る。
4. 利用者さん主体とし、聞き取りを行い、想いや主張を汲み取る。
  - i 利用者の会で、直接、嫌な思いをしたことは無いか聞き取りを行う。
  - ii 法人第三者委員による聞き取りの場を設ける。

## コミュニケーション面談実施計画

管理職と職員とのコミュニケーションを図り職員の意見や要望を施設運営に反映させられるよう個別の面談を実施する。また、職員が一人で抱えないようにアドバイスストレス対策も兼ね実施する。

・実施時期 4月：新任職員 10月～12月：一般職員 1月～3月：必要に応じて2回目の面談実施

## 施設・事業所の構造(グループホームは個別の居住毎に記載下さい)

|      |      |                          |
|------|------|--------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 鉄筋コンクリート造 陸屋根地下1階付き 平屋建て |
|      | 延べ面積 | 2145.20平方メートル            |
| 敷地面積 |      | 13595.80平方メートル           |

## 2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 相談支援センターにき

実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業  |      | 給付対象<br>人数<br>A | 実利用目標<br>(年間延人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 月平均の<br>利用数<br>B/12 ヶ月 | 1 職員あたり平均<br>D/職員数<br>E |
|-----------|------|-----------------|-----------------------|---------------------|------------------------|-------------------------|
| 特定相談      | 利用支援 | 224             | 224                   | 258 日               | 18.6                   | 5.8                     |
|           | 継続支援 |                 | 448                   |                     | 37.3                   | 11.6                    |
| 児童相談      | 利用支援 | 8               | 8                     |                     | 0.6                    | 1.8                     |
|           | 継続支援 |                 | 16                    |                     | 5                      | 1.5                     |
| 地域相談      | 利用支援 | 0               | 1                     |                     | 1                      | 0.3                     |
|           | 継続支援 |                 | 1                     |                     | 4                      | 1.2                     |
| 基本相談（登録外） |      |                 | 200                   |                     | 16.6                   | 5.1                     |
| 合 計       |      | 232             | 898                   |                     | 74.8                   | 23.3                    |

### 【実施事業】

- ① 一般相談支援（地域定着支援/地域移行支援）
- ② 特定相談支援//障害児相談支援/委託相談支援（仁木町）
- ③ 広域相談支援体制整備事業（さぼーとひろば と共同）

### 【加算体制整備】

- ① 精神障がい者支援体制加算
- ② 要医療児者支援体制加算職員体制(2022 年 4 月 1 日)

| 職 種        | 員<br>数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要        |
|------------|--------|-----|----|-----|----|-------------------|------------|
|            |        | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |            |
|            |        | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |            |
| センター長/管理者  | 1      |     | 1  |     |    | 1                 | 一般/特定/障害児  |
| 係長 相談支援専門員 | 1      | 1   |    |     |    | 1                 | 一般/特定/障害児  |
| 相談支援専門員    | 1      | 1   |    |     |    | 1                 | 一般/特定/障害児  |
| 相談支援専門員    | 1      |     |    | 1   |    | 0.2               | 障害支援区分認定調査 |
| 合 計        | 4      | 2   | 1  | 1   |    | 3.2               |            |

### 重点推進目標(3 点)

○地域で安心して生活ができる相談支援、スキル向上に向けた取組

ご本人、ご家族と向き合い、1 人ひとりに寄り添いながら関係機関等との連携により、地域生活を支えていける相談支援スキル向上に向け、多様化、多問題化している課題に対する専門的スキルの向上。

- ① 主任相談支援専門員研修 受講者 1 名
- ② サービス管理責任者（更新）研修 受講者 1 名
- ③ 行動援護従事者養成研修 受講者 1 名（強度行動障害支援者養成研修含む）
- ④ 権利擁護・虐待防止研修の受講
- ⑤ 成年後見制度研修 他、関係研修への積極的参加。

○行政・関係機関との連携による地域づくり

仁木町自立支援協議会への参画による地域の課題抽出、研修企画等の立案、運営補助により、官民協働による地域生活支援拠点等整備事業、地域包括ケアシステムの構築、介護・福祉・児童・困窮など重層的支援体制に向けた総合相談窓口などに関する官民連携による仕組みづくり

- ① 仁木町自立支援協議会 委員 1 名。企画運営等 2 名。
- ② 仁木町地域ケア会議、協議体への参加 1 名。
- ③ 民生児童委員連絡協議会、特別支援教育連絡協議会等のへの参画。

北後志自立支援協議会への参加による圏域内における情報収集等

○事業運営の安定

- ① 仁木町相談支援事業の受託
- ② 後志圏域広域相談支援体制整備事業の受託（総合相談支援センターHIROBAと共同）
- ③ 障害支援区分認定調査の受託（各市町村）
- ④ 法人 相談支援事業運営に係る
  - 1) 事業運営の安定、効率化に向けた検討。

2) 相談支援専門員の育成

施設整備計画

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
| ○ | 【予定額】 | 千円 |

設備整備計画(車輛更新含む)

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
| ○ | 【予定額】 | 千円 |

支援計画

■体制 体制加算Ⅱ

- ・センター長（管理者）（兼任 1 名）を配置し、相談支援専門員を兼務  
（広域相談支援体制整備事業を受託できた場合は「地域づくりコーディネーター」を兼任）
- ・係長/相談専門員（1 名）を配置
- ・相談支援専門員（2 名うち 1 名非常勤）を配置

■1.相談支援の実施

(1)相談・支援の実施

- 障がい児・者及び家族等の他、地域の関係各所からの問い合わせに始まり、相談や支援要請に応じます。
- 本人中心支援に基づき、複雑かつ多様な問題を抱えながらも、一人ひとりの希望や思いが反映した生活が尊重され、障がいの状態等にかかわらず誰もが住み慣れた地域で安心して生活を続けるため、多様な相談ニーズに応じた地域の社会資源の活用について助言・提案及びその他の援助を行います。
- 相談内容に応じ、特定相談支援・一般相談支援・障がい児相談支援を実施します。

(2)基本相談支援の強化

- 新規相談を含め要請された相談は断ることなく受け付け樹林太はつなぐなど適切な支援を行う。
- 丁寧なアセスメントを基に相談支援を受けサービスの活用を通して希望に沿った支援に勤めていきます。
- 丁寧なアセスメントを行うために、日常生活や社会生活全般における困難さの背後にある人生（生き方）にも視点を置き、相談支援を展開することを心がける。



○行政、地域の相談支援センターからの要請の他、圏域の内外の関係諸機関からの要請にも可能な限り答えていくよう務める（地域包括支援センター、仁木町住民課、医療機関、民生委員等）。

○伴走型支援を意識したアプローチを持ち、地域や社会とのつながりが希薄な個人をつなぎ戻していくことに留意し、基本相談支援を行います。

○障がい児者の自立促進と共生社会の実現に向け、ソーシャルワークの担い手としてスキル・知識を高めつつ、インフォーマルサービスを含めた社会資源の改善や活用、地域のつながりや支援者・関係者との関係構築・多職種連携、生きがいや希望を見出す等の支援を行うことを心がけます。

### (3)計画相談支援の強化

○サービス等利用計画作成スキルの向上

○専門性と実用性のバランス感覚を研ぎ澄まして作成。

○外部研修のみならず所内研修でも事例を通した学びを日々深めていく。

### (4)スキル向上に向けた取り組み

○法廷研修受講による専門資格の持続

○専門研修によるスキル向上と体制の充実

・強度行動障害支援者研修

・精神障害者地域移行支援研修

○研修機会の充実

・権利擁護関連研修

・制度活用

成年後見/生活困窮/退院促進/就労促進/児童発達

## ■2.地域全体の支援体制の充実強化に寄与する働き

### (1)地域の支援協議会関連

○仁木町支援協議会事業への運営協力

・積極的な協力

○仁木町が取り組む地域生活支援拠点等整備事業への協力

### (2)専門分野における居X卯木

○医療的ケア児検討会への協力

○精神科医療と福祉の連携・協力体制構築への推進（退院促進事業・地域移行）

## ■3.業務継続に向けた対応力強化

### (1)感染症や災害対策の強化

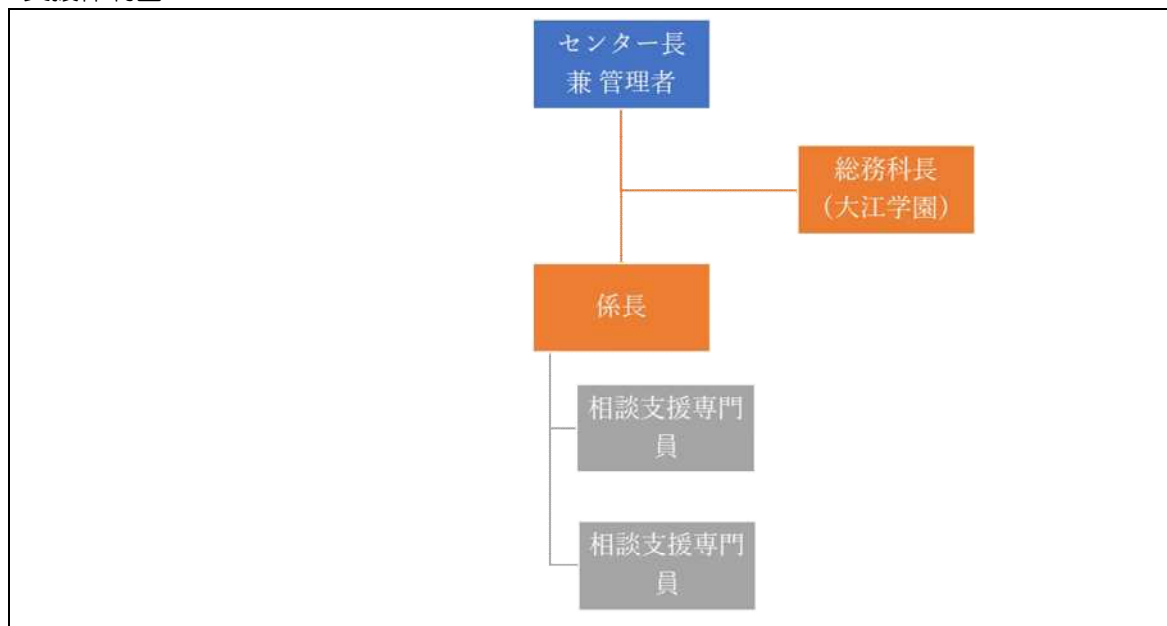
### (2)業務継続に向けた取組の強化

### (3)地域や関係機関と連携した災害対応の強化

## ■4.業務の自己点検

感染症(covid-19 など)の影響が相談支援で極力少なく平常時に近い持続性のある相談支援体制の維持が可能な準備を重ねていく。

## 支援体制図



## 主な地域連携機会における行動計画

| 行事名           | 担当者     | 摘 要                    |
|---------------|---------|------------------------|
| 仁木町自立支援協議会    | 相談支援専門員 |                        |
| 北後志自立支援協議会    | センター長   | 広域相談支援体制整備事業（地域づくり CO） |
| 研修会           | 全職員対象   |                        |
| 後志圏域相談支援連絡協議会 | センター長   | 広域相談支援体制整備事業（地域づくり CO） |

## 会議・委員会等の開催計画

| ■所内会議           | 実施日        | 摘 要   |
|-----------------|------------|-------|
| 相談支援センターにき事業所会議 | 毎月第 4 週木曜日 | 全職員対象 |

| ■地域連携会議・委員会    | 実施日   | 摘 要（担当者ほか）      |
|----------------|-------|-----------------|
| 北後志自立支援協議会全体会  | 年 1 回 | センター長           |
| 各種部会           |       | センター長（地域づくり CO） |
| 後志圏域相談支援連絡協議会  | 毎月    | センター長（地域づくり CO） |
| 後志圏域地域移行支援協議会  | 年 2 回 | センター長（地域づくり CO） |
| 後志圏域地域移行エリア別会議 | 年 6 回 | センター長（地域づくり CO） |

## 研修計画

| ■事業所内研修      | 実施日   | 摘 要                 |
|--------------|-------|---------------------|
| さぼーとひろば会議内研修 | 年 6 回 | 2022.5～2023.03 主に事例 |
| 法人職員研修       | 年 1 回 |                     |

| ■法定研修        | 実施日 | 摘 要 |
|--------------|-----|-----|
| 相談支援専門員現任研修  | 未定  | 2 名 |
| 相談支援専門員初任者研修 | 未定  | 1 名 |

| ■外部研修                                               | 実施日               | 摘 要                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 障害児者全国相談支援連絡協議会                                     | Web 参加<br>6 月/2 月 | 年 2 回、千葉県、東海、近畿、中国地方で介されますがコロナ感染予防として参集型には応じない方針                                                        |
| 北海道知的障がい福祉協会<br>施設長セミナー<br>中堅職セミナー                  | Web 参加            | 管理者・係長<br>係長・相談支援専門員                                                                                    |
| 日本知的障がい福祉協会<br>相談支援・就労支援セミナー                        | Web 参加            | 管理者・係長・相談支援専門員                                                                                          |
| 権利擁護研修                                              | Web 参加            | 各団体が主催する研修で権利擁護に関する研修機会を確保し受講                                                                           |
| 相談支援従事者専門別研修                                        | Web 参加            | 相談支援専門員                                                                                                 |
| その他<br>行政・教育・保健・医療等各団体<br>により開催される日帰り・web 研<br>修に参加 | 適宜                | 相談支援スキルに関する研修会<br>相談支援業務に関連した、医療・難病・療育・高齢介<br>護との連携、理解促進のための研修<br>地域共生社会の理解促進のための研修<br>障害種別毎の理解促進に関する研修 |

#### 権利擁護の推進方針

○自己決定支援と意思決定支援

広域相談支援体制整備事業における活動テーマと重ねて研修

○地域全体の安心拠点（基地）の一端を担える資質を目指して

- ・スーパービジョン：主任相談支援専門員が所属している強みを生かした研修機会を活用
- ・2021 年「障害者差別解消法の改正」を受けて事業者にも義務化された「合理的配慮」の理解を一層深め、事業者に対し提供義務の履行について理解促進を図るなど啓発に寄与する。

#### コミュニケーション面談実施計画

実施時期 令和 4 年 月頃

実施体制 管理者とスタッフ

#### 施設・事業所の構造(グループホームは個別の居住毎に記載下さい)

|      |      |                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建                                                                                                                                                                                                                                                       |
|      | 延べ面積 | ティールーム陶芸館本体 212.72 m <sup>2</sup><br>内 訳<br>事 務 所                   29.14 m <sup>2</sup><br>相談室兼休憩室       30.01 m <sup>2</sup><br>厨 房                   14.90 m <sup>2</sup><br>陶芸工房               64.01 m <sup>2</sup><br>成 土 室               29.09 m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      | 1,246.00 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                                                                             |

## 2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 和光学園

### 実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業      | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|---------------|-----------|-----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 施設入所事業        | 50 名      | 17,500 名              | 365 日               | 48 名                 | 96%               |
| 生活介護事業        | 70 名      | 16,500 名              | 291 日               | 57 名                 | 82%               |
| 短期入所・日中一時支援事業 | 5 名       | 200 名                 | 365 日               | 1 名                  | 20%               |
|               | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |

### 職員体制(2021 年 4 月 1 日)

| 職 種       | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要 |
|-----------|-----|-----|----|-----|----|-------------------|-----|
|           |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |     |
|           |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |     |
| 管理者       | 1   |     | 1  |     |    | 0.1               |     |
| サービス管理責任者 | 2   | 1   | 1  |     |    | 1.1               |     |
| 医師        | 1   |     |    | 1   |    | 0.1               |     |
| 支援員       | 37  | 26  | 3  | 8   |    | 31.9              |     |
| 看護師       | 2   | 1   | 1  |     |    | 1.7               |     |
| 栄養士       | 1   | 1   |    |     |    | 1.0               |     |
| 事務員等      | 7   | 3   | 2  | 2   |    | 5.8               |     |
| その他       | 2   |     |    | 2   |    | 1.0               |     |
| 合 計       | 53  | 32  | 8  | 13  |    | 42.7              |     |

### 重点推進目標(3 点)

|                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○第三者評価の実施結果を受けての公表と課題の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期となっていた第三者評価がほぼ終了し、評価結果が発出され次第、公表する。</li> <li>・評価結果を受け、利用者支援・権利擁護・組織等、のあり方について課題を整理し、今後の施設運営に活かすべく、職員間で共有する。</li> </ul>                           |
| <p>○日中活動（生活介護）の見直し・再編について検討を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイリング和光と連携し、利用者の年齢、介護度、障がい特性に応じた日中活動（作業・生活・余暇）支援への見直しを開始し、活動グループのあり方、再編について検討を開始する。</li> </ul>                                               |
| <p>○職員の人材確保と資質の向上を図り、より良い支援を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働きやすく、風通しの良い、環境や職員集団の形成を目指す。</li> <li>・個々の支援の質の向上を目指し、Z o o mでの外部研修の積極的活用を図る。</li> </ul> <p>アセスメントの多角的視点による見直し、意思決定支援への具体化に向けて、様々な場面で考える。</p> |

## 施設整備計画

○

【予定額】

千円

## 設備整備計画(車輛更新含む)

○非常用発電設備の更新（大規模修繕） 令和3年度施設整備国庫補助金（全額）決定済み

【予定額】事業費 31,020 千円 自己資金 7,755 千円

## 支援計画

### □ 日常生活支援

食事 季節をふまえた変化に富んだ献立と栄養と利用者の身体状況に配慮したものを委託業者とも連携し提供する。

入浴・排泄等

利用者の心身の状態、生活リズムを尊重し、快適清潔な生活を過ごすことが出来る支援を提供する。

### □ 日中活動支援

#### ○作業活動

- ・木 工 ： オンコの枝を使用した画鋸作り・光合金下請け作業等
- ・クラフト：牛乳パックを利用した各種再生紙製品、塗り絵
- ・園 芸 ： 畑・花・ブルーベリー栽培、下請け作業等
- ・わかば ： 自立課題ペーパーログ作り他
- ・のどか ： 医療機関との連携を基本に、歩行練習や散歩等、身体諸機能の退行防止及び機能回復のためのメニューを中心に活動。

#### ○余暇活動

- ・ダンス教室 基本毎週土曜日 午前中実施
- ・ティーボールクラブ 毎月2回実施。
- ・バドミントンクラブ 毎月2回実施。
- ・バスケットボールクラブ 毎月2回実施。
- ・習字（習い事） 毎月4回実施
- ・ガイドヘルパーによる個別外出実施。

#### ○運動系行事

後志福祉協会パークゴルフ大会、北海道フライングディスク大会、後志利用者ボーリング大会、仁木町ゆっくり歩こうスキー大会、全道ティーボール大会、

#### ○文化系行事

みんなアート展への作品参加、見学、後志福祉協会本人部会への参加等

### □ 居住環境整備（主な取り組み）

- ・居室における清掃の充実を図る。
- ・1年をとおして適切な室温管理と喚起等に注意を払い快適な生活環境を保持する。
- ・安全安心な生活環境を整備するため、必要に応じ修繕等を随時実施する。
- ・調理・清掃・洗濯・整理整頓・社会資源の活用・安全管理が本人の自立を妨げないように配慮し、且つ自立的な取り組みが促進されることをふまえつつ具体的・個別的な生活場面での支援を提供する。

### □ 保健医療・食生活

#### ○栄養面

- ・栄養ケアマネジメントの継続実施
- ・行事食年間計画に基づいた季節感のある食事の提供(生寿司、新そば、鍋物等)

- ・食事の個別化～嗜好調査の実施、検診結果の内容に基づき、個人に合った食事提供を行う。また食器形態の変更も視野に入れながら食生活の見直しに努める。
- ・セレクト献立の充実～季節感を取り入れ、主食・主菜のみならずデザートなどのセレクトを提案。

#### ○医療面

- ・看護師2名体制による医療業務の充実
- ・保健指導のあり方について、作業班、生活棟職員との連携を強化し、生活習慣の見直しを図る。
- ・各種ガン検診の継続した実施。実施困難者への個別対応検討。婦人科検診の体制整備を行う。
- ・嘱託医の桜台クリニック山田医師による定期巡回診察年2回実施  
(具体的な提供内容)

#### 健康管理

- ・嘱託医による往診をはじめ、日常的には看護師による診察・疾病予防 健康管理を行う。
- ・肥満やそれに起因する高脂血症や高血圧等の生活習慣病が増えてきており、適宜保健指導、栄養指導を行い生活習慣、食習慣の見直しを図る。

#### 服薬管理・通院治療

- ・常時の服薬介助及び個別疾患に応じた通院治療への支援を行う。

#### 入院中の支援

- ・安心した入院生活をするために巡回し、適宜迅速な支援を行う

#### □ 社会生活支援

##### コミュニケーション・自己管理

- ・一人ひとりとの信頼関係を基本としたコミュニケーションを確保しつつ、自己管理を基本に適切な支援を行う

##### 日常・社会生活上の支援

- ・生活に係わるさまざまな情報を提供しつつ、楽しみと潤いのある生活が選択・決定を通して創造出来るような支援を行う。

#### □ 地域生活支援

##### (1) 通所による生活介護事業

- ① 日中活動（生産的活動）・生活（余暇的活動）の支援を通して、安定の内に充実した社会生活を送ることが出来るように支援する。
- ② 健康管理・体力向上や栄養のバランスがとれた食事提供を通して健康で自立的な日常生活を送ることが出来るように支援する。
- ③ 仲間との生活を楽しみつつ、地域社会での社会生活能力を経験・学習することが出来るように支援する。
- ④ 送迎バス利用者の安全な登園、帰宅について介護、見守り支援する。

##### (2) 短期入所・日中一時支援事業【者・児童】

##### ① 日常生活・日中活動の援助

基本的生活習慣に基づき快適な日常生活・日中活動を提供する。

##### ② 食事の提供

利用者の特性や嗜好及び季節的变化に配慮したバランスのとれた食事を提供する。

##### ③ 入浴の実施

健康管理に配慮し清潔快適な生活のために入浴の機会を提供する。

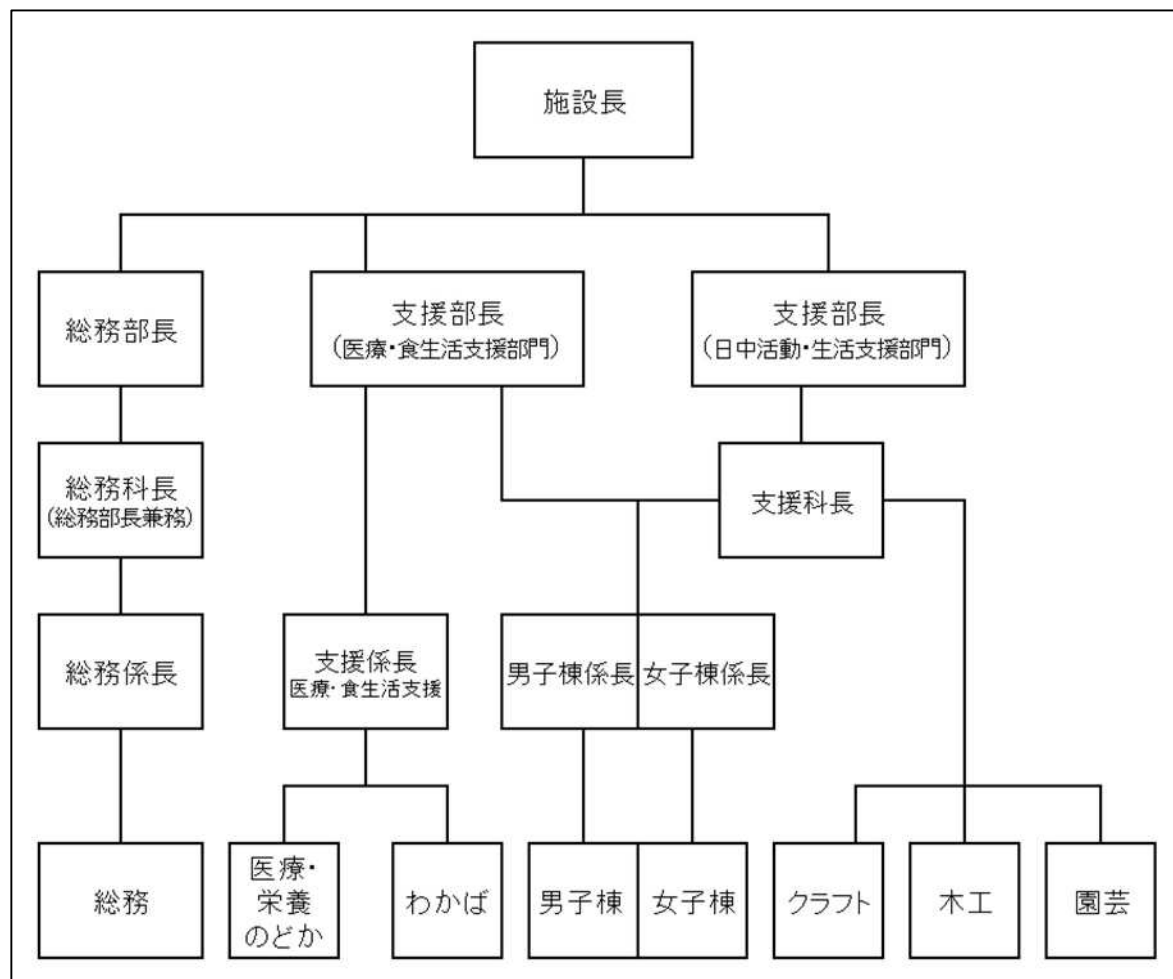
##### ④ 健康管理

日常的な健康維持に配慮し、身体的な安全を確保する。

##### ⑤ 相談援助

利用者の心身の状況に配慮し、必要に応じた相談援助を行うことが出来るようにする。

支援体制図



主な行事実施計画

| 行事名          | 実施日      | 摘 要       |
|--------------|----------|-----------|
| 春のレクリエーション大会 | 6 月      | 内容について見直す |
| 和光フェスティバル    | 9 月      | 内容について見直す |
| 各日中活動班旅行     | 6 月～10 月 |           |
| 秋の行事(ぶどう狩り他) | 10 月     |           |
| 利用者ポーリング     | 2 月      |           |

会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会            | 実施日                    | 摘 要                                                               |
|-------------------|------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 和光学園職員会議          | 毎月1回 第3火曜日 16:00～      | 全職員参加対象                                                           |
| 和光連絡会議            | 毎月1回、第3火曜日<br>10:00～   | 和光学園係長職以上参加対象。必要に応じ作業班主任参加。虐待防止会議、リスクマネジメント会議、地域生活移行会議、予算関係会議同時開催 |
| 和光グループ経営会議        | 毎月2回<br>第2・4月曜日 10:00～ | 和光グループ各施設長、部長職参加対象。感染症対策会議を必要に応じ同時開催                              |
| 和光グループ運営会議        | 毎月1回第1水曜日<br>16:00～    | 和光グループ各事業所科長職、部長職参加対象                                             |
| 食生活会議(給食委託業者定例会議) | 毎月1回定例 16:00～          | 施設長、医療食生活科長、管理栄養士、給食委託業者との会議                                      |
| 日中活動各班会議          | 毎月1回程度                 | 各日中活動各班職員対象                                                       |
| 棟会議               | 毎月1回程度                 | 男女棟各職員参加対象                                                        |
| 個別支援計画策定会議        | 3月、10月                 | 和光会議と同時開催                                                         |
| 個別支援計画関係者会議       | 随時                     | サービス管理責任者を中心に開催                                                   |
| 施設長部長会議           | 随時                     | 施設長、副施設長、部長職                                                      |
| ケース会議             | 随時                     | サービス管理責任者を中心に開催                                                   |
| 防災会議              | 随時                     | 施設長、副施設長、部長、科長、防災担当職員                                             |
| 事故防止対策会議          | 随時                     | 科長職以上対象必要に応じ他職員参加                                                 |
| 医療食生活会議           | 随時                     | 医療食生活科職員                                                          |
| 総務会議              | 随時                     | 総務部職員                                                             |

研修計画(施設・事業所内研修)

| 研 修 名         | 実 施 日     | 摘 要         |
|---------------|-----------|-------------|
| 内部研修会         | 毎月1回第3火曜日 | 和光会議時に開催    |
| 新任職員研修        | 5月        |             |
| 新任職員フォローアップ研修 | 3月        |             |
| 和光グループ新春研修    | 2月        |             |
| 法人新任職員研修      | 採用時及び5月   | 採用時は本部主導で開催 |
| 法人年代別研修会      | 未定        |             |
| 法人施設長部長研修会    | 未定        |             |
| 法人科長職研修       | 未定        |             |
| 法人自閉症研修会      | 未定        |             |
| 法人全体体研修       | 未定        |             |



## 研修計画(外部研修)

| 研修名            | 実施日 | 摘 要         |
|----------------|-----|-------------|
| 触法関係研修         | 未定  | 国立のぞみの園主催   |
| 全国知的障害者施設職員研修会 | 未定  |             |
| 全国知的障害者施設長研修会  | 未定  |             |
| 権利擁護セミナー       | 未定  |             |
| 権利擁護指導者養成講座    | 未定  |             |
| 後志福祉協会研修会      | 未定  |             |
| 全道施設職員研修会      | 未定  |             |
| 全道施設長研修会       | 未定  |             |
| 全道幹部職員研修会      | 未定  |             |
| 医療栄養関係研修       | 未定  | 看護師、管理栄養士対象 |

## 権利擁護の推進方針

法人共通の安心と笑顔支援マニュアルに基づき、虐待防止への継続した取組及び権利擁護の推進を図る。

主な取組内容

呼称（さんづけ）の徹底への取組継続実施

毎月定例での虐待防止委員会の開催

毎月定例での緊急避難的一時的に行う身体拘束事例の検証と対応に係る会議の実施

内部研修会の開催

虐待防止チェックリストの実施

虐待防止に関する外部研修会への参加

毎年定例での法人第三者委員による聞き取り調査の実施

## コミュニケーション面談実施計画

風通しの良い職場風土を醸成するとともに職員個々の就業意欲を向上させ、職場定着の促進を図ることを目的に以下の要領でコミュニケーション面談を実施する。

- 1、実施時期 令和4年 11月～12月
- 2、面談対象職員 和光学園全職員
- 3、面談者 和光学園施設長、部長、科長
- 4、時間 目処として1人30分～1時間程度予定

## 施設・事業所の構造

|      |                        |                                                                                                                                                                                                                                               |
|------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建 物  | 構 造<br>述 べ 面 積         | <p>① 和光学園本体<br/>鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 （2,609.91㎡）<br/>1階 1353.79㎡ 2階 1256.12㎡</p> <p>② 和光学園 木工作業棟<br/>木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 作業所（119.24㎡）</p> <p>③ 和光学園 園芸作業棟<br/>鉄骨造合金メッキ鋼板葺平家建 作業所（134.41㎡）</p> <p>④ 和光学園 クラフト班作業棟<br/>軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 作業所（132.49㎡）</p> |
| 敷地面積 | 24,220.77㎡ （北海道より無償貸付） |                                                                                                                                                                                                                                               |

2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 グループホーム支援センターにじ

実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業 | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|----------|-----------|-----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 共同生活援助   | 64 名      | 22,300 名              | 365 日               | 61                   | 95%               |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |

職員体制(2022 年 4 月 1 日)

| 職 種       | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要 |
|-----------|-----|-----|----|-----|----|-------------------|-----|
|           |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |     |
|           |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |     |
| 管理者       | 1   |     | 1  |     |    | 0.1               |     |
| サービス管理責任者 | 3   |     | 3  |     |    | 0.3               |     |
| 世話人       | 22  |     | 14 | 8   |    | 12.8              |     |
| 支援員       | 24  |     | 18 | 5   | 1  | 14.0              |     |
| 看護師       | 1   |     |    | 1   | 1  | 0.2               |     |
| 栄養士       |     |     |    |     |    |                   |     |
| 事務員等      |     |     |    |     |    |                   |     |
| その他       |     |     |    |     |    |                   |     |
| 合 計       | 51  |     | 36 | 14  | 2  |                   |     |

重点推進目標(3 点)

○利用者の希望も考慮したサービス体系の整備。

- ・単身生活を希望する利用者に対しサテライト住居を 3 ヶ所整備している、3 年の期限付き事業だが 3 ヶ所とも延長の支給決定を受ける。
- ・GH ほーぷ・きららを主に状態の変化に応じた介護支援を行っているが支援者のスキルアップを図っていく。又、介護保険適用となった利用者はケアマネージャーと連携のもと支援を組み立てる。
- ・法人内の連携により、仁木地区ふきのとう事業所より利用者 1 名定員増をして受け入れる。
- ・財産の有効活用、及び、成年後見制度の活用。

○地域生活者の生活環境の整備

- ・課題となっている GH らいと（昭和 58 年築）のスプリンクラー設置に対応するため、近隣の GH やよい（昭和 54 年築（賃貸物件））も含め新たな GH を建設し解決を図る。

北海道建築設計管理株式会社と建築設計の契約を結び準備を進めている。

※令和 2 年度 GH らいとの立地する敷地（解体予定の建物も含む）を取得、

令和 3 年度は現存する建物を解体、建築設計業者と契約実施

ウッドショック等に木材が確保できない状況があり

令和 4 年 入札 A 棟基礎工事

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>令和5年 工事 B棟工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ホームの住環境を維持するため、備品の老朽化や修繕を速やかに行う。</li> <li>※ボイラー・家電製品等、交換が必要な備品が各ホーム見られる。</li> </ul>                                                                                                                                                         |
| <p>○重度・高齢化に伴う健康管理の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の重度・高齢化に伴い、生活習慣病関係の通院が増加傾向にあり、健康管理・通院対応、服薬支援を適切に実施する。各種検診についても本人の意向を確認しながら実施する。</li> <li>・シェアリング和光と連携し食材配送事業を全グループホームに導入する。(R3年10月よりGHまりんで試行実施)</li> <li>・新型コロナ対応、基本的な感染防止策を指導する。外出等については、北海道・小樽市の感染状況を見ながら適切なアナウンスを行う</li> </ul> |

#### 施設整備計画

|                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| ○グループホーム2棟新築工事費 (令和4年・5年) |                 |
| 令和4年 入札 A棟基礎工事            |                 |
| 令和5年 工事 B棟工事              |                 |
|                           | 【予定額】 120,000千円 |

#### 設備整備計画(車輛更新含む)

|                    |              |
|--------------------|--------------|
| ○パソコン更新 2台         |              |
|                    | 【予定額】 300千円  |
| ○各ホームの修繕・老朽化した備品購入 |              |
|                    | 【予定額】 1000千円 |

#### 支援計画

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>□ 日常生活支援</p> <p>新型コロナウイルス対応については令和4年度も引き続き、基本的な感染症対策と生活の自粛を基本とする。活動については北海道及び小樽市内の発生状況に合わせて利用者にアナウンスを行い自粛要請を行う。尚、感染が拡大している際には通院・買物等の同行や代行を行いリスクを減らす。</p> <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①感染症予防の徹底を促していく。</li> <li>②基本的な生活習慣を確保し社会的に自立した生活ができる支援を提供する。</li> <li>③安心した日常生活を過ごすことが出来るよう相談支援を提供する。</li> <li>④家事・介護等については、心身の状況に応じた自立の支援と日常生活の充実に資するよう適切に行うものとする。</li> </ul> <p>(主な取り組み)</p> <p>利用者の状態・特性に応じた支援</p> <p>身体介助 買い物引率 外出引率 ガイドヘルパー手配 買い物代行</p> <p>金銭取扱のアドバイス・ 金銭使用状況のチェック 生活経費の情報提供。</p> <p>(具体的な生活)</p> <p>食事</p> <p>個別の利用者支援では看護師・栄養士も参加した定例のケース会議を実施</p> <p>生活習慣病対策にも力を入れた食事の提供</p> <p>相談業務</p> <p>対人関係上のトラブル、健康管理、地域生活での困り事等に関する各種相談には迅速に対応</p> <p>特に、困り事は早期解決にポイントを置く</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### 余暇支援

全体行事として、交流会を年1回実施。

余暇活動の機会を広げるためガイドヘルパーを申請・手配し個別の要望に対応

旅行・コンサート・スポーツ観戦。買い物・帰省時の引率など

一般就労者対象の一泊旅行を継続実施。

#### □ 居住環境整備

（目標） 重点推進項目の通り

#### □ 保健医療

（目標）

日常的な健康維持に配慮し、体力の維持・向上をはかるための支援を提供する。

健康に対する知識を獲得し、自らの健康を守ることの大切さを自覚出来る支援を提供する。

（主な取り組み）

看護師については、事業所で1名の正看護師を確保、和光学園との連携は継続。

健康診断・各種検診（胃がん・大腸がん・婦人科）・バイタルチェック・体重測定を習慣化し

データー化、看護師が健康チェックを実施。

新型コロナウイルスを含めた感染症対策を行う。

（具体的な提供内容）

健康管理、服薬管理、通院治療、個別疾患に応じた対応を支援者が連携を取り実施。

入院時には安心した入院生活を送ってもらうため巡回し、適宜迅速な支援を行う。

感染症対策 各グループホームに消毒液やマスクを配置。

#### □ 社会生活支援

（目標）

コミュニケーション手段を工夫し、本人の能力に応じ自分の意思が反映出来る様支援を行う。

日常の生活において個々の希望を尊重した支援を提供する。

（主な取り組み）

本人の希望を尊重した支援計画に基づく地域生活支援を提供する。

本人の所持金に応じた金銭使用のアドバイスを行う。

利用者・家族との連携を深める為、交流の機会を大切にする。

一般就労者の生活面の状況について、事業所訪問を行い、協力依頼を行う。

各種社会サービスの利用が円滑に行われるよう申請書類作成の補助・代行・申請時の同行を行う

#### □ 地域生活支援

（目標）

地域生活をする利用者が安心して生き生きと毎日の生活を送ることができるサービスを提供する。

（主な取り組み）

夜間緊急時の連絡体制を整備、職員が交代で携帯電話を所持し利用者からのSOSに備える。

グループホーム行事、町内会行事の参加、利用者研修会への参加。

（支援の内容）

バックアップ施設(和光学園)と連携し日常生活のサービスを提供する

ガイドヘルパー等を手配し外出の機会を増やす。

金銭管理・買い物・公共機関及び公共交通機関の利用等、個人の能力を伸ばす支援を行う。

□ 就労者支援

(目標)

地域生活をする利用者が安心して働ける生活場面の設定

(主な取り組み)

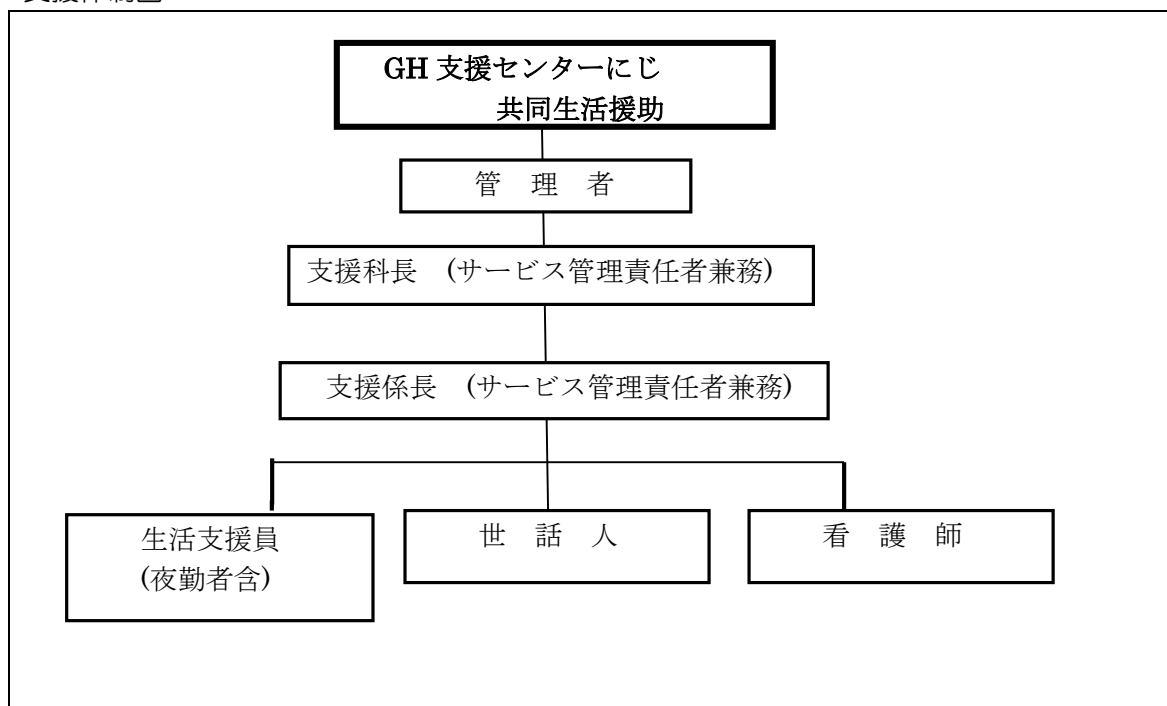
ウエルサポート和光と連携し、側面から支援を実施（就労移行・就労定着支援等）

就労期間が長い利用者については、安定して仕事が継続できる様「にじ」が主体となりアドバイスや環境整備を行う。

(支援の内容)

社会手続き・金銭管理・健康管理・通院・買い物・メンタルケア等に関する相談支援、買い物・通院同行支援、職場との調整等のサポート

支援体制図



主な行事実施計画

| 行事名        | 実施日  | 摘 要        |
|------------|------|------------|
| 一泊旅行       | 夏～秋頃 | 一般就労者対象で実施 |
| 全体交流会      |      | にじ行事       |
| 各グループホーム行事 |      | 年 2 回      |
|            |      |            |

#### 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会       | 実施日      | 摘 要                |
|--------------|----------|--------------------|
| 和光グループ経営会議   | 毎月第2、4月曜 | 和光グループ各施設長、部長職参加対象 |
| 和光グループ運営会議   | 毎月2回     | 和光グループ各事業所科長職      |
| にじ会議         | 毎月1回     | 全職員（寮支援員は除く）       |
| グループカウンセリング  | 毎月1回     | 全職員                |
| 個別支援計画策定会議   | 9月 3月    | 全職員（寮支援員は除く）       |
| 個別支援計画関係者会議  | 随時       | 全職員（寮支援員は除く）       |
| 虐待防止委員会      |          | にじ会議の中で実施          |
| リスクマネジメント委員会 | 毎月第4水曜日  | にじ会議の中で実施          |
| ケース会議        | 毎月第4水曜日  | にじ会議の中で実施          |
|              |          |                    |

#### 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名          | 実施日  | 摘 要        |
|--------------|------|------------|
| 法人職員研修会      |      | 全職員対象      |
| 内部研修（月間重点目標） | 毎月1回 | にじ定例会議にて実施 |
| 法人新任職員研修     |      | 未定         |
| 法人3年目職員研修    |      | 未定         |
| 和光G新春研修      |      | 全職員対象      |
| 和光G新任職員研修    |      | 未定         |
| 和光Gフォローアップ研修 |      | 未定         |

#### 研修計画(外部研修)

| 研修名              | 実施日 | 摘 要 |
|------------------|-----|-----|
| 全国知的障害者施設長研修     |     |     |
| 全道施設長セミナー        |     |     |
| 全道グループホームスタッフ研修会 |     |     |
| 虐待防止・権利擁護セミナー    |     |     |
| 全国グループホームスタッフ研修会 |     |     |
| 全道グループホーム新任職員研修  |     |     |
| 幹部職員研修           |     |     |
| グループホーム学会研修      |     |     |

#### 権利擁護の推進方針

法人共通の「安心と笑顔支援マニュアル」に基づき、虐待防止への継続した取組及び権利擁護の推進を図る。

呼称（さんづけ）の徹底への取組継続実施。

内部研修会の開催。

虐待防止チェックリストの実施。

外部研修会への参加等

## コミュニケーション面談実施計画

全職員と個別に面談を実施し仕事への思い、提案、要望等確認を行い働く意欲の向上、円滑なコミュニケーションが行える職場を目指し実施する。

実施時期 令和4年11月

対象職員 グループホーム支援センターにじ 全職員

施設・事業所の構造(グループホームは個別の居住毎に記載下さい)

にじ事務所

|      |      |                     |
|------|------|---------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・網板葺 地上2階建て |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 152.88㎡       |
| 敷地面積 |      | 24,238.65㎡          |

GH ぽーぷ

|      |      |                     |
|------|------|---------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・網板葺 地上2階建て |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 157.54㎡       |
| 敷地面積 |      | 24,238.65㎡          |

GH ぽーぷ (サテライト)

|      |      |                      |
|------|------|----------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・網板葺地下1階付2階建 |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 46.58㎡         |
| 敷地面積 |      | ㎡                    |

GH えーる

|      |      |                     |
|------|------|---------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・網板葺 地上2階建て |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 159.40㎡       |
| 敷地面積 |      | 24,238.65㎡          |

GH えーる (サテライト)

|      |      |                |
|------|------|----------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造合金メッキ鋼板葺2階建て |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 36.43㎡   |
| 敷地面積 |      | ㎡              |

GH きらら

|      |      |                     |
|------|------|---------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・網板葺 地上2階建て |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 157.54㎡       |
| 敷地面積 |      | 24,238.65㎡          |

GH きらら (サテライト)

|      |      |             |
|------|------|-------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造 地上2階建て   |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 22.0㎡ |
| 敷地面積 |      | ㎡           |

GH つづみ

|      |      |                     |
|------|------|---------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・網板葺 地上2階建て |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 159.40㎡       |
| 敷地面積 |      | 24,238.65㎡          |

GH あーす

|      |      |                     |
|------|------|---------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・網板葺 地上2階建て |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 171.43㎡       |
| 敷地面積 |      | 24,238.65㎡          |

## GH あーち

|      |      |                             |
|------|------|-----------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・綱板葺 地上 2 階建て       |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 169.56 m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      | 24,238.65 m <sup>2</sup>    |

## GH やよい

|      |      |                             |
|------|------|-----------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・綱板葺地下 1 階付 2 階建て   |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 140.55 m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      | m <sup>2</sup>              |

## GH らいと

|      |      |                                 |
|------|------|---------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木・鉄骨コンクリート造亜鉛メッキ綱板葺地下 1 階付 2 階建 |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 208.67 m <sup>2</sup>     |
| 敷地面積 |      | 342.51 m <sup>2</sup>           |

## GH ひーす

|      |      |                            |
|------|------|----------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・綱板葺 地上 2 階建て      |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 269.2 m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      | 264.75 m <sup>2</sup>      |

## GH みずき

|      |      |                           |
|------|------|---------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造・亜鉛メッキ・綱板葺 地上 2 階建て     |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 50.5 m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      | m <sup>2</sup>            |

## GH すばる

|      |      |                             |
|------|------|-----------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 鉄骨造亜鉛メッキ綱板葺                 |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 194.54 m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      | m <sup>2</sup>              |

## GH まりん

|      |      |                             |
|------|------|-----------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 鉄筋コンクリート造り                  |
|      | 延べ面積 | 延べ床面積 267.55 m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      | m <sup>2</sup>              |



2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 シェアリング和光

実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業 | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|----------|-----------|-----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 就労継続支援B型 | 40名       | 10,491名               | 269日                | 39名                  | 97%               |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |

職員体制(2022 年 4 月 1 日)

| 職 種       | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要   |
|-----------|-----|-----|----|-----|----|-------------------|-------|
|           |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |       |
|           |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |       |
| 管理者       | 1   |     | 1  |     |    | 0.1               |       |
| サービス管理責任者 | 1   | 1   |    |     |    | 1.0               |       |
| 医師        |     |     |    |     |    |                   |       |
| 支援員       | 10  |     |    |     |    | 10.6              |       |
| 看護師       | 1   |     | 1  |     |    | 0.1               |       |
| 栄養士       |     |     |    |     |    |                   |       |
| 事務員等      |     |     |    |     |    |                   |       |
| その他       | 2   |     |    |     | 2  | 1.0               | 0.5×2 |
| 合 計       |     |     |    |     |    | 12.8              |       |

重点推進目標(3点)

- 工賃向上に繋がる様、実効性のある取り組みを行っていく。
- ・PDCAサイクルが回る様、所内に「工賃向上委員会」を新たに設置し、その中で商品の開発に繋がる事や、営業戦略、作業改善など事業所全体の取り組みになる様進める。
  - ・個人の想いや考えが形になる様「業務改善提案（報告）制度」を導入し、職員全体で業務改善に繋がる事を考える仕組みを設ける。
- 利用者さん本人とそのご家族が安心して利用できる取り組みを行っていく。
- ・生産活動だけでなく、個々の希望に応じて余暇の活動も、出来る限り提供できる様、年間の計画と情報の発信を行っていく。
  - ・事業所内の活動状況などをまとめた「シェアリング便り」情報発信を、年2回、家庭へ向けて発送する。
- 職場コミュニケーションの活性化に繋がる取り組みを行っていく。
- ・休憩場所や環境を出来る限り整備し、少ない人数でも確実に休憩が取れる取り組みを行っていく。
  - ・管理者が職員とのコミュニケーション面談の回数を増やし、意思疎通や情報共有を行い、問題の早期発見に繋げていく。

## 施設整備計画

|                          |       |          |
|--------------------------|-------|----------|
| ○事業所 2 階屋根部分の雪庇止め（正面玄関側） | 【予定額】 | 1,500 千円 |
| ○                        | 【予定額】 | 千円       |

## 設備整備計画(車輛更新含む)

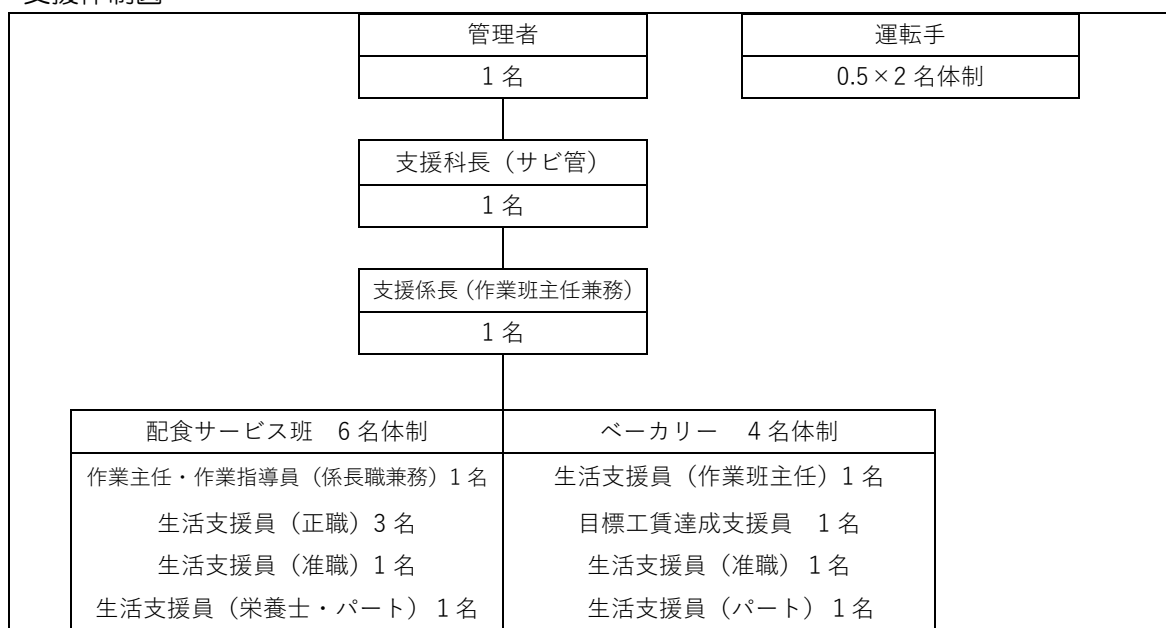
|                  |       |          |
|------------------|-------|----------|
| ○2 階食堂部分のエアコンの設置 | 【予定額】 | 1,200 千円 |
| ○顧客管理、請求ソフト      | 【予定額】 | 200 千円   |

## 支援計画

### 項目例

- ☐ 日常生活支援  
ご本人像の把握と、家庭状況の把握に努め、職員間でも共有し個別面談の際などにも活かしていく。
- ☐ 日中活動支援  
利用者さん個々の状況を把握し、ご本人のやりがいに繋げられる支援を行っていく。
- ☐ 居住環境整備  
ご本人の状況や、家族のニーズの把握に努め、各部署と連携しながら支援を行っていく。
- ☐ 保健医療  
ご本人の状況や、家族のニーズの把握に努め、各部署と連携しながら支援を行っていく。
- ☐ 社会生活支援  
ご本人の状況や、家族のニーズの把握に努め、各部署と連携しながら支援を行っていく。
- ☐ 地域生活支援  
ご本人の状況や、家族のニーズの把握に努め、各部署と連携しながら支援を行っていく。
- ☐ 就労(移行)支援  
ご本人の状況や、家族のニーズの把握に努め、各部署と連携しながら支援を行っていく。

## 支援体制図



## 主な行事実施計画

| 行事名         | 実施日 | 摘 要                  |
|-------------|-----|----------------------|
| 春のレクレーション大会 |     | コロナの感染状況により中止になる場合あり |
| 和光フェスティバル   |     | コロナの感染状況により中止になる場合あり |
| 作業班旅行       |     | 感染症の状況により実施時期は未定     |
| 作業班行事       |     | 感染症の状況により実施時期は未定     |
| 各種スポーツ行事    |     | 感染症の状況により実施時期は未定     |
|             |     |                      |
|             |     |                      |
|             |     |                      |
|             |     |                      |
|             |     |                      |

#### 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会     | 実施日       | 摘 要                  |
|------------|-----------|----------------------|
| シェアリング会議   | 第 4 水曜日   | 毎月 1 回               |
| シェアリング連絡会議 | 第 4 月曜日   | 毎月 1 回               |
| 事故防止委員会    | 不定期       | 必要に応じてシェアリング連絡会議にて実施 |
| 虐待防止委員会    | 第 4 月曜日   | 毎月 1 回シェアリング連絡会議にて実施 |
| ケース会議      |           | シェアリング会議にて必要に応じて開催   |
| 工賃向上委員会    | 毎月開催      | 定例開催日第 3 水曜日 16:00～  |
| 作業班会議      | 不定期       | 必要に応じて開催             |
| 個別支援計画策定会議 | 3 月・9 月   |                      |
| 寄り合い       | 毎月第 2 水曜日 | 利用者さんの生活に関する事柄       |
| スタッフ会議     | 毎月第 3 水曜日 | 利用者さんの日中活動に関する事柄     |
|            |           |                      |
|            |           |                      |
|            |           |                      |

#### 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名      | 実施日 | 摘 要                 |
|----------|-----|---------------------|
| 法人新任研修   |     | 当該職員の有無により          |
| 法人※年目研修  |     | 当該職員の有無により          |
| 法人職員全体研修 |     | コロナの感染状況により中止の可能性あり |
| 事業所内部研修  |     | 事業所会議の中で実施          |
| 小樽地区新春研修 |     | 2 月頃に実施             |
|          |     |                     |
|          |     |                     |
|          |     |                     |
|          |     |                     |
|          |     |                     |
|          |     |                     |

#### 研修計画(外部研修)

| 研修名            | 実施日 | 摘 要     |
|----------------|-----|---------|
| 全道施設長セミナー      |     |         |
| キャリアアップ研修      |     |         |
| 全国社会就労センター全国大会 |     |         |
| 権利擁護セミナー       |     |         |
| 全国施設長等研修       |     |         |
| キャリアアップ研修      |     |         |
| サービス管理責任者研修    |     | (基礎研修)  |
| 相談支援従事者研修      |     | (サビ管向け) |
|                |     |         |
|                |     |         |

#### 権利擁護の推進方針

- ・虐待防止チェックリストの実施。
- ・権利擁護セミナーの受講と事業所内部での伝達研修。
- ・事業所会議での内部研修の実施。
- ・利用者さんへの「さん付け」の徹底した取り組み。
- ・毎月の「寄り合い」活動での聞き取り。

#### コミュニケーション面談実施計画

年末又は年始にかけて、管理者にて実施予定。ひとり 1 時間程度を予定。  
※その他、必要に応じて適宜行う。

#### 施設・事業所の構造(グループホームは個別の居住毎に記載下さい)

|      |      |                                 |
|------|------|---------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造地上 2 階建て                      |
|      | 延べ面積 | 745.13m                         |
| 敷地面積 |      | 2143.76 m <sup>2</sup> 648.48 坪 |

2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 ウイリング和光

実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業 | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|----------|-----------|-----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 生活介護     | 40 名      | 8092 名                | 289 日               | 28                   | 70%               |
|          | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |

職員体制(2022 年 4 月 1 日)

| 職 種       | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要 |
|-----------|-----|-----|----|-----|----|-------------------|-----|
|           |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |     |
|           |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |     |
| 管理者       | 1   |     | 1  |     |    | 0.1               |     |
| サービス管理責任者 | 1   | 1   |    |     |    | 1.0               |     |
| 医師        |     |     |    |     |    |                   |     |
| 支援員       | 11  | 1   | 1  | 9   |    | 8.8               |     |
| 看護師       | 1   |     |    |     | 1  | 0.1               |     |
| 栄養士       |     |     |    |     |    |                   |     |
| 事務員等      |     |     |    |     |    |                   |     |
| その他       | 2   |     |    |     |    | 1.0               |     |
| 合 計       |     |     |    |     |    | 12                |     |

重点推進目標(3 点)

○日中活動の充実・安定化

日中活動の再編から 2 年を経過し、新型コロナウイルスの流行による活動内容の変更などを余儀なくされてきた中、工夫をしながら充実した活動の提供に努めてきた。今後は更なる活動の充実・安定化を目指し、現在取り組んでいる様々な活動アイディアを利用者さんの活動としてプログラム化を進め安定的に活動を提供する。

○サービス内容の見直し・検討

ウイリング和光では、高齢になりゆったりとした活動を少しづつ取り入れている利用者さんや活動的な作業を必要とされる利用者さんが混在しニーズが多様化している状況がある。その為、幅広い利用者さんのニーズに対応できる事業所を目指しサービス内容の見直しや検討を行っていく。

①日中活動の充実・安定化 2022 年度実施予定。

②活動環境の整理

③ニーズに沿った活動内容の検討

④日中活動の共有化

○和光学園における日中活動（生活介護）再編との連携

和光学園の日中活動再編にむけて、利用者さんが必要なサービスを利用できる体制づくりを和光学園と連携しながら準備を進めていく。

## 施設整備計画

○

【予定額】

千円

## 設備整備計画(車輛更新含む)

○

【予定額】

千円

## 支援計画

### ☐ 日常生活支援

- ・本人像の把握と職員間の情報共有に努め、個々人に合った、無理なく満足度の高いサービス提供ができるよう、活動内容、プログラムの見直しを検討し、利用者さんがより主体的に活動に取り組めるよう支援していく。

### ☐ 日中活動支援

- ・日中活動の充実を図りつつ、より利用者さん個々のニーズに沿った活動を展開できるよう活動の振り返りと新たな利用者さんに関しては無理なく活動内容の定着が図られるように支援を行っていく。

### ☐ 居住環境整備

- ・ご家庭、相談支援事業所と連携しながら、適切な支援を行っていく。

### ☐ 保健医療

- ・ご家庭、相談支援事業所と連携しながら、適切な支援を行っていく。

### ☐ 社会生活支援

- ・ご家庭、相談支援事業所と連携しながら、適切な支援を行っていく。

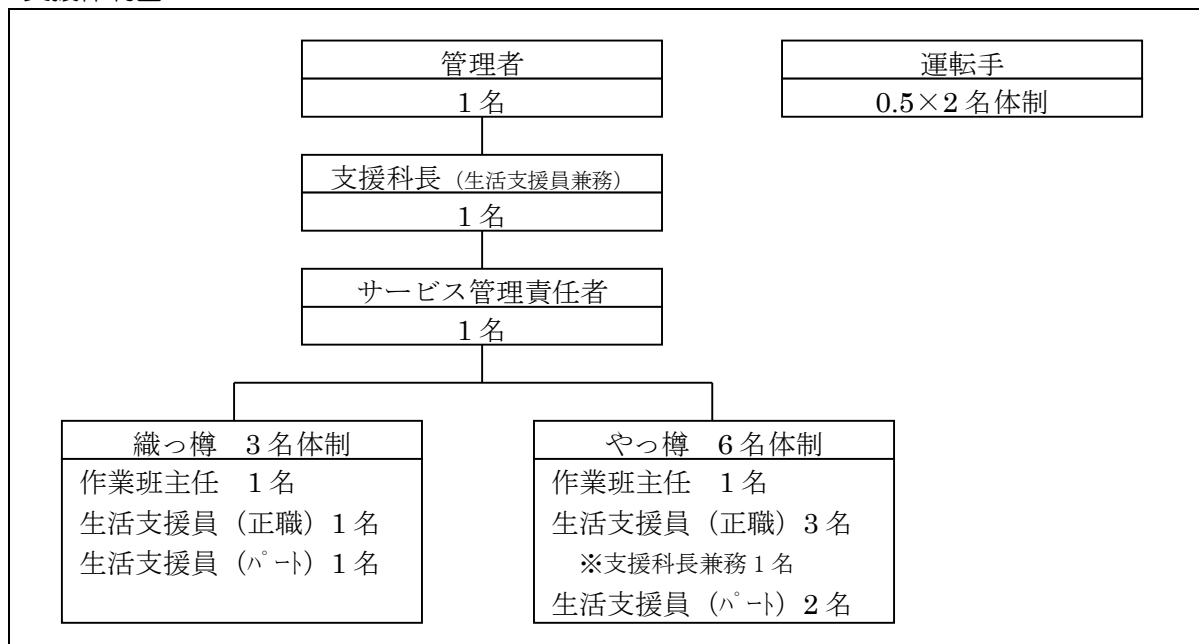
### ☐ 地域生活支援

- ・ご家庭、相談支援事業所と連携しながら、適切な支援を行っていく。

### ☐ 就労(移行)支援

- ・ご家庭、相談支援事業所と連携しながら、適切な支援を行っていく。

## 支援体制図



### 主な行事実施計画

| 行事名          | 実施日     | 摘 要         |
|--------------|---------|-------------|
| 春のレクリエーション大会 | 未定      | 和光グループ全体で実施 |
| 和光フェスティバル    | 未定      | 和光グループ全体で実施 |
| 作業班行事        | 年 2 回程度 | 各作業班で実施     |
| 作業班旅行        | 年 1 回実施 | 各作業班で実施     |
| お楽しみ会        | 年 1 回程度 | 各作業班にて実施    |
| あそびん祭        | 未定      | ウイリング和光で実施  |
| 新春かくし芸大会     | 1 月     | ウイリング和光で実施  |

### 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会                   | 実施日               | 摘 要                       |
|--------------------------|-------------------|---------------------------|
| ウイリング和光会議                | 毎月 1 回            |                           |
| ウイリング和光連絡会議              | 適時                |                           |
| 虐待防止委員会                  | 毎月 1 回            | ウイリング和光会議にて実施             |
| リスクマネジメント委員会             | 毎月 1 回            | ウイリング和光会議にて実施             |
| 給食会議                     | 毎月 1 回            | ウイリング和光会議にて実施             |
| 衛生会議                     | 毎月 1 回            | ウイリング和光会議にて実施             |
| ケース会議                    | 毎月 1 回と<br>適時     | ウイリング和光会議にて実施<br>必要に応じて実施 |
| 個別支援計画策定会議<br>モニタリング策定会議 | 定期変更は<br>3 月と 9 月 | 定期会議及び適時開催                |
| 作業班会議                    | 適時                |                           |

### 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名           | 実施日   | 摘 要           |
|---------------|-------|---------------|
| 法人職員研修会       | 未定    |               |
| 内部研修(月間重点目標)  | 月 1 回 | ウイリング和光会議にて実施 |
| 法人※年目職員研修     |       | 該当職員の有無による    |
| 和光グループ新春研修    | 未定    |               |
| 和光グループ新任職員研修会 |       | 該当職員の有無による    |
| 法人新任職員研修会     |       | 該当職員の有無による    |

### 研修計画(外部研修)

| 研修名              | 実施日 | 摘 要 |
|------------------|-----|-----|
| 全道施設長セミナー        |     |     |
| 全道施設長研修会         |     |     |
| 全国職員研究大会         |     |     |
| 北海道知的障がい関係支援員研修Ⅰ |     |     |
| 北海道知的障がい関係支援員研修Ⅱ |     |     |
| 全道知的障がい関係職員研究大会  |     |     |
| 後志知的障がい福祉協会職員研修会 |     |     |
| 権利擁護セミナー         |     |     |
| 全道専門部会研修会        |     |     |
| 全道幹部職員研修会        |     |     |

### 権利擁護の推進方針

- ・引き続き「さん付け」の維持・定着に努める
- ・虐待防止委員会の開催（毎月）
- ・内部研修会の開催
- ・虐待防止チェックリストの実施
- ・虐待防止に関する外部研修会への参加

### コミュニケーション面談実施計画

令和 5 年 1 月～3 月に実施予定

### 施設・事業所の構造(グループホームは個別の居住毎に記載下さい)

|      |      |                                                                                          |
|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | やっ樫 鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階部分<br>織っ樫 木造垂鉛メッキ鋼板葺 2 階建<br>鉄筋構造 平屋建て（一部 2 階あり）                   |
|      | 延べ面積 | 697.411 m <sup>2</sup><br>内 訳<br>やっ樫 322.771 m <sup>2</sup><br>織っ樫 374.64 m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      |                                                                                          |



2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 ウエルサポート和光

実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業   | 利用定員<br>A | 実利用目標<br>(年間述人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 一日平均の<br>利用 B/C<br>D | 利用率目標<br>D/A<br>E |
|------------|-----------|-----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 就労継続 B 型支援 | 20名       | 5,649名                | 269日                | 21                   | 105%              |
| 就労移行支援     | 15名       | 1,614名                | 269日                | 6                    | 40%               |
| 就労定着支援     | 名         | 名                     | 269日                |                      | %                 |
|            | 名         | 名                     | 日                   |                      | %                 |

職員体制(2022 年 4 月 1 日)

| 職 種       | 員 数  | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要 |
|-----------|------|-----|----|-----|----|-------------------|-----|
|           |      | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |     |
|           |      | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |     |
| 管理者       | 0.5  |     | 1  |     |    | 0.5               |     |
| サービス管理責任者 | 1    | 1   |    |     |    | 1                 |     |
| 医師        |      |     |    |     |    |                   |     |
| 支援員       | 10.5 | 6   | 1  | 4   |    | 8.9               |     |
| 看護師       |      |     |    |     |    |                   |     |
| 栄養士       |      |     |    |     |    |                   |     |
| 事務員等      |      |     |    |     |    |                   |     |
| その他       | 1    | 1   |    |     |    | 1                 |     |
| 合 計       | 13   | 8   | 2  | 4   |    | 11.4              |     |

重点推進目標(3 点)

|                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○定員の見直し(35名→40名) : 就労支援 B 型20名→25名に</p> <p>昨年度の重点目標にあげておりましたが、コロナの影響もあるのか新規利用希望者も無く、他 B 型 A 型事業所へ移動したい等の利用者もあり、今年度も引き続き定員増を視野に、就労系の事業所として利用ニーズに応える在り方を図っていく。</p> <p>(R4年4月現在、就労継続B型の定員20名に対し実契約者23名です)</p> |
| <p>○就労移行支援(HANAZONO PLACE) 新規利用者確保</p> <p>R3年4月、15名の利用者と契約しておりましたが、R4年4月現在は7名です。2年間有期限の利用の中でそれぞれが次のステージへ進んでおりますが、新規の利用希望が少ない現状です。今年度は障がい者就業・生活支援センターや市内各相談支援事業所、行政等との連携を図り、新規利用の掘り起こしを積極的に行っていく。</p>          |
| <p>○作業工賃の向上</p> <p>就労継続 B 型を利用される方々の多様なニーズを把握し、個々の特性を活かした作業内容の充実を図っていく。利用者さんに合った下請け作業の選定や新たな施設外就労の場を確保し、コロナ禍以前の安定した工賃を目指していく。</p>                                                                             |

## 施設整備計画

|                                      |       |         |
|--------------------------------------|-------|---------|
| OHANAZONO PLACE・さぼーとひろば建物 外部補修工事（折半） | 【予定額】 | 5,000千円 |
| ○ウエルサポート和光・ウイリング和光建物 屋上防水工事（折半）      | 【予定額】 | 5,300千円 |

## 設備整備計画(車輛更新含む)

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
| ○ | 【予定額】 | 千円 |

## 支援計画

### ☐ 日中活動支援

#### 【就労移行】

様々な障がいや、生きづらさを抱える方々に支援を提案提供し、次のステージへ繋げていく。  
就労支援が目的ではあるが、様々な課題と一緒に乗り越え、暮らす・働くを実現していく。  
コロナ禍での仕事探しが難しい状況であるが、雇用情報を逃さず早期対応を実施していく。

#### 【就労定着】

利用者と企業の良い関係を構築する。  
3年（契約期間）を目途に、支援者がフェードアウトできる環境を目指し調整を図っていく。

#### 【就労継続B型】

工賃安定を目指しながら、提供している作業内容（下請け・施設外就労）を常に検証していく。  
利用者さん個々の目標を大切に、きめ細やかな支援の充実を図っていく。  
年4回の個別面談を実施していく。

### ☐ 日常生活支援

ご家庭、相談支援事業所等と連携しながら、適切な支援を行っていく。

### ☐ 居住環境整備

ご家庭、相談支援事業所等と連携しながら、適切な支援を行っていく。

### ☐ 保健医療

ご家庭、相談支援事業所等と連携しながら、適切な支援を行っていく。

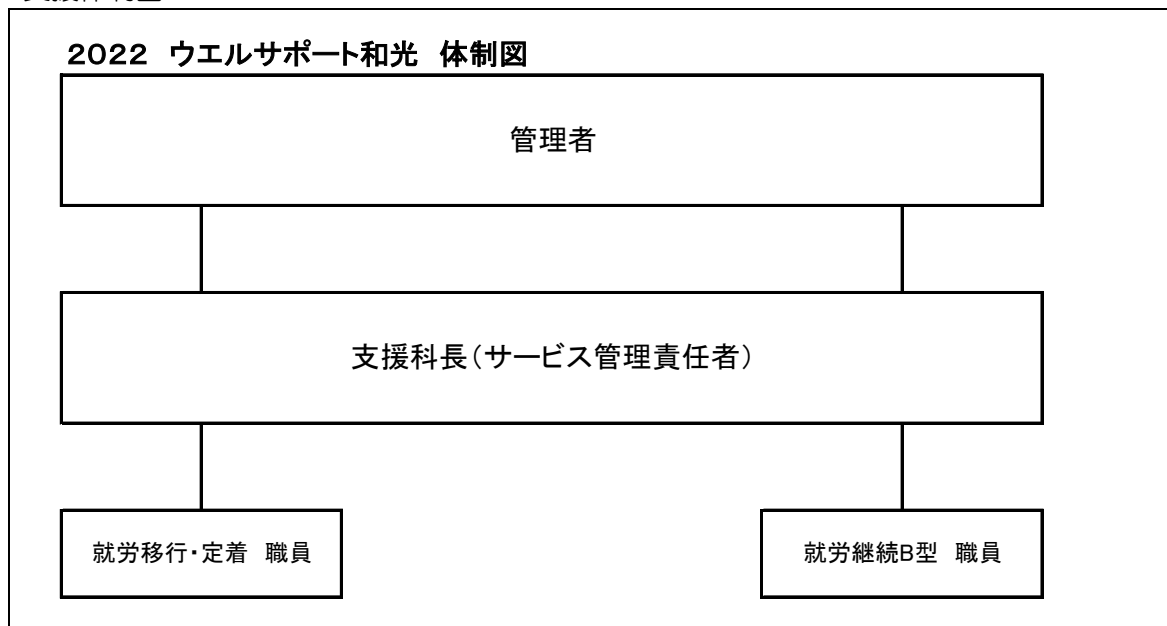
### ☐ 社会生活支援

ご家庭、相談支援事業所等と連携しながら、適切な支援を行っていく。

### ☐ 地域生活支援

ご家庭、相談支援事業所等と連携しながら、適切な支援を行っていく。

## 支援体制図



## 主な行事実施計画

| 行事名          | 実施日  | 摘 要         |
|--------------|------|-------------|
| 春のレクリエーション大会 | 6月初旬 | 和光グループ全体で実施 |
| 和光フェスティバル    | 9月中旬 | 和光グループ全体で実施 |
| 日帰り旅行 ※要検討   | 夏～秋頃 | 事業所利用者と実施   |

## 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会       | 実施日                                                 | 摘 要                   |
|--------------|-----------------------------------------------------|-----------------------|
| 就労移行・就労定着会議  | 月 1 回以上                                             | 移行配属職員                |
| 就労継続 B 型会議   | 月 1 回以上                                             | 継続配属職員                |
| ウェル会議        | 毎月 1 回定例                                            |                       |
| 虐待防止委員会      | 毎月 1 回定例                                            | ウェル会議にて実施             |
| リスクマネジメント委員会 | 毎月 1 回定例                                            | ウェル会議にて実施             |
| ケース会議        | 適時                                                  |                       |
| 個別支援計画策定会議   | 変更の都度。<br>継続 B 型は 3 月・9 月。<br>移行定着は 3・6・9・<br>12 月。 | ※3 カ月に 1 度全利用者と個別面談実施 |

## 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名            | 実施日    | 摘 要       |
|----------------|--------|-----------|
| 法人職員研修会        |        | 全職員対象     |
| 内部研修(月間重点目標)   | 毎月 1 回 | ウェル会議にて実施 |
| 法人新任職員研修       |        | 未定        |
| 法人 3 年目職員研修    |        | 未定        |
| 和光 G 全体研修      | 新春～春   | 全職員対象     |
| 和光 G 新任職員研修    |        | 未定        |
| 和光 G フォローアップ研修 |        | 未定        |

## 研修計画(外部研修)

| 研修名              | 実施日 | 摘 要 |
|------------------|-----|-----|
| 全道施設長セミナー        |     |     |
| 全道施設長研修会         |     |     |
| 全国職員研究大会         |     |     |
| 北海道知的障がい関係支援員研修Ⅰ |     |     |
| 北海道知的障がい関係支援員研修Ⅱ |     |     |
| 全道知的障がい関係職員研究大会  |     |     |
| 後志知的障がい福祉協会職員研修会 |     |     |
| 権利擁護セミナー         |     |     |
| 就業支援研修(各種)       |     |     |
| SW 協会研修会         |     |     |

## 権利擁護の推進方針

- 安心と笑顔支援マニュアルを確認し権利擁護の意識を高める。
- 利用者さんへの「さん付け」の徹底を図る。
- 権利擁護研修会に積極的に参加。
- 虐待防止セルフチェック実施。

## コミュニケーション面談実施計画

令和4年夏頃～秋頃実施予定

## 施設・事業所の構造(グループホームは個別の居住毎に記載下さい)

|      |      |                                                                                                                |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | ウエルサポート和光本体施設<br>鉄筋コンクリート造2階建 2階部分<br>○作業棟(ウエル就労)<br>軽量鉄鋼造合金メッキ鋼板ぶき2階建<br>○サテライト(花園事業所)<br>木造構造(2階建)※1階のみ使用    |
|      | 延べ面積 | ○ウエルサポート和光本体施設<br>延べ床面積 400.449㎡<br>○作業棟(ウエル就労)<br>延べ床面積 158.98㎡<br>事務室 23.60㎡<br>○サテライト(花園事業所)<br>延べ床面積 67.9㎡ |
| 敷地面積 |      | 24,238.65㎡ (本体)                                                                                                |

2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 小樽市さくら学園

実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業           | 利用定員<br>A | 一日平均の<br>利用者数<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 実利用目標<br>(年間述人<br>数)<br>D | 利用率目標<br>(D/A×C)<br>E |
|--------------------|-----------|--------------------|---------------------|---------------------------|-----------------------|
| 児童発達支援センター<br>(通園) | 28名       | 20名                | 241日                | 4820名                     | 71.4%                 |
| // (保育所等訪問支援)      | 名         | 0.8名               | 180日                | 180名                      | %                     |
| 障害児相談支援            | 上限60名     | 名                  | 242日                | 300名                      |                       |

職員体制(2022 年 4 月 1 日)

| 職 種       | 員 数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要 |
|-----------|-----|-----|----|-----|----|-------------------|-----|
|           |     | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |     |
|           |     | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |     |
| 管理者       | 1   |     | 1  |     |    | 0.8               |     |
| サービス管理責任者 | 1   | 1   |    |     |    | 1.0               |     |
| 児童指導員     | 2   | 2   |    |     |    | 2.0               |     |
| 保育士       | 7   | 6   |    | 3   |    | 7.5               |     |
| 訪問支援員     | 2   | 1   | 1  |     |    | 1.2               |     |
| 相談支援専門員   | 1   | 1   |    |     | 1  | 1                 |     |
| 事務員等      | 1   |     |    | 1   |    | 1                 |     |
| その他       | 4   |     |    | 4   |    | 2.8               | その他 |
| 合 計       | 20  |     |    |     |    | 16.6              |     |

重点推進目標(3 点)

○療育支援（児童発達支援）の機能を強化充実させる

- 1 「障害児」ではなく、一人の子ども（人間）としての存在であるということを基本に、一人一人の子どもがいる場所（家庭・保育所その他の地域）を中心に、その状況にあった質の高い支援の提供に努める。
- 2 一人一人の子どもが見通しを持って意欲的・自立的に期待感を持って「遊び」や「活動」や「生活」に取り組む療育とそれをサポートする構造化（物理的構造化・視覚的構造化）をベースに、個々の特性や個性に応じた柔軟な支援を行う。
- 3 令和3年度から通園されている医療的ケアが必要な児童の支援を行うために、令和3年度保育士1名が認定特定行為業務従事者の資格を取得、3名の職員（保育士2＋園長）で胃瘻による食事の提供を行う。安全に十分配慮して適切な支援を提供し、医療的ケアが必要なお子様安心して発達支援が受けられる環境を整備するとともに、看護師がい医療ケアを行っていないことで報酬に全く反映されていない現状を改善するべく、小樽市とも相談しながら北海道や国に現状を伝え、制度に反映されるよう努めていく。

○療育支援の充実のために職員の資質の向上を図る

- 1 児童発達支援センターの機能として求められる「障がい種別」を問わず、地域に暮らす様々な障がいや困り感のある子どもとその家族に適切な支援が提供できるよう、多様な障がいについての学習・研鑽を重

|                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ね、療育及び支援技術の向上に努める。医療的ケアを必要とする児童には、安全と衛生面に十分配慮し、適切な支援を提供する。</p> <p>2 障害当事者や家族の心理等、学習や実際の支援、親の会などを通じて学び、子どもや家族の気持ちに共感できる支援者の育成を図る。</p> <p>3 障害児とその家族を思いやり大切にするように、職員同士も互いが尊敬し、高め会える人間関係と職場環境を整備していく</p> |
| <p>○地域支援機能の強化</p> <p>1 地域の中核的な役割を期待されている児童発達支援センターとしての機能を向上させるため、障害児相談支援事業・保育所等訪問支援事業の充実を図る。</p> <p>2 小樽市こども発達支援センターとの連携強化と役割分担などの検討や、小樽市障がい児・者支援協議会への参加を通じて、小樽市の児童発達支援のネットワークを強化する一翼を担う</p>             |

#### 施設整備計画

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
|---|-------|----|

#### 設備整備計画(車輛更新含む)

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
|---|-------|----|

#### 支援計画

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(運営の基本方針)</p> <p>① 児童発達支援センター小樽市さくら学園の運営にあたっては、児童福祉法、障害者総合支援法、小樽市さくら学園条例その他の関係法令、小樽市さくら学園業務協定書の各条項を遵守します。</p> <p>② 当法人の基本理念にあるノーマライゼーション社会の実現を目指し、児童福祉の向上に努めます。</p> <p>③ 児童発達支援センターの機能として求められる、「障害種別を問わず、地域に暮らす様々な障がいや困り感のある子どもとその家族に適切な支援が提供できるよう、多様な障がいについての学習・研鑽を重ね、療育及び支援技術の向上に努めていきます。</p> <p>④ 他の関係機関との連携を強化しながら、地域の障がい児や様々な困り感を抱える子どもとその家庭を支えるために、小樽市における中核的な役割を果たせるよう機能の強化に努めます。</p> <p>⑤ 児童福祉施設である小樽市さくら学園の運営により幼児期から成人期までの一貫・継続した障がい児・者福祉に取り組み、利用する一人一人の地域住民としての選択と決定に基づく人生設計を支援し、生涯に渡る安心感と安定感のある豊かな生活を提供するために、法人の機能を有機的に且つ発展的に活用した事業展開を目指します。</p> <p>⑥ さくら学園の事業の中心となる週5日の通園による「児童発達支援事業」(障害児通所支援)の充実を図ります。</p> <p>同時に、地域の保育所・幼稚園等に通う障害児や困り感のある子どもについての専門的な視点からの指導・助言等を行う「保育所等訪問支援事業」(障害児通所支援)と、障害や困り感を持つお子さんの相談全般から、障害児通所支援利用のための障害児支援利用計画案及び計画の作成他を担う「障害児相談支援事業」の2つの事業(地域支援部門)の充実を図り、地域における児童発達支援及び子どもと家族を中心とした家族支援・地域支援の機能を高めていきます。</p> <p>(療育及び支援の方針)</p> <p>① 「障害児」ではなく、一人の子ども(人間)としての存在であるということを基本に、一人一人の子どもがいる場所(家庭・保育所その他の地域)を中心に、その状況にあった質の高い支援(通園による療</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

育支援・児童相談支援・保育所等訪問支援）の提供に努めます。

- ② 一人一人の子どもが見通しを持って意欲的・自立的に期待感を持って「遊び」や「活動」や「生活」に取り組む療育とそれをサポートする構造化（物理的構造化・視覚的構造化）に努めます。
- ③ 障害のある子を産み育てる悲しみや苦しみは若い保護者にとって生やさしいものではなく、若い保護者の丁寧で温かな心のケアに努めます。
- ④ 子どもの持っている「障がい」は、一生涯の発達障害であり、親子関係も一生涯ですので保護者の成長を支援します。
- ⑤ 子どもを真ん中に、家庭と園との信頼・協力・補完関係を大切に、子どもの療育を通して家族支援に努めます。
- ⑥ 小樽圏域や後志圏域の関係機関と連携し、子どもの療育と保護者の支援に努めます。

#### <児童発達支援（通園）>

療育・支援にあたっては保護者と一緒に、子ども一人一人の障害特性や発達段階や個性に合わせた「児童発達支援計画」を作成し、保護者と連携して一緒に取り組みます。

- ① 単身通園2クラスと、母子通園と単身通園の混合クラス1、計3クラスを編成します。
- ② 母子通園児童は、おおむね3歳以下の子どもを対象に、母子一緒に療育を受けることで、母親が子育ての手応えをつかみ、安心して具体的に子育てが出来るように支援します。
- ③ 母子通園クラスの療育時間は、9:30～13:30とします。
- ④ 単身通園クラスは、おおむね4歳以上の子どもを対象に、子ども一人で通園し個別・集団療育を通して生活能力やコミュニケーション能力、社会性、運動発達を育て、次のステップ(保育園・幼稚園・学校)への移行を促します。
- ⑤ 単身通園の療育時間は、原則 9:30～14:30 とします。
- ⑥ その他、保護者との利用契約に基づき、所定のサービスを提供します。

通園療育支援の1日の流れ

|                        |                                                                   |                                                  |                |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------|
| 8：00～8：10              | 朝の打合せ（園児の出欠確認、行事や各クラス活動内容の確認・連絡事項伝達など                             |                                                  |                |
| 8：10～9：45<br>（1便・2便あり） | 送迎用車両（2台）出発<br>添乗職員は基本1名であるが、園児の状態等により対応する<br>残りの職員は療育準備や記録などにあたる |                                                  |                |
|                        | 1便で園に着いた子達から持ち物の整理、着替え、排泄など<br>自由遊びをしながら2便の子たちを待つ（ホールで対応）         |                                                  |                |
|                        | さくらんぼ・もも（母子・単身）                                                   | ちゅうりっぷ（単身）                                       | ひまわり（単身）       |
| 10：00～                 | 朝の会                                                               | 朝の会                                              | 朝の会            |
|                        | 水分補給                                                              | 水分補給                                             | 水分補給           |
| 10：30～                 | 園内外での遊び（活動内容により、クラス別、合同など）                                        |                                                  |                |
| 11：20～                 | 給食準備<br>手洗い、排泄                                                    | 給食準備<br>手洗い、排泄                                   | 給食準備<br>手洗い、排泄 |
| 11：30                  | 給食<br>はみがき<br>自由遊び                                                | 給食<br>はみがき                                       | 給食<br>はみがき     |
| 13：00                  | 後片づけ                                                              | 自由あそび<br><br>（職員は保護者への連絡ノート記入）<br>おやつ<br>自由あそびなど |                |
| 13：00                  | 着替え、帰りの準備<br>帰りの会                                                 |                                                  |                |
| 13：30                  | 1便降園                                                              |                                                  |                |
|                        | 送迎車1    添乗<br>送迎車2    添乗<br>片づけ                                   | 着替え、帰りの準備<br>帰りの会<br>2便降園                        |                |
| 14：30                  |                                                                   |                                                  |                |
|                        | 送迎車1    添乗<br>送迎車2    添乗<br>後片づけ                                  |                                                  |                |
| 15：30                  | 記録、打合せなど                                                          |                                                  |                |
| 16：30<br>～17：00        | 1日の各クラスの振り返り、連絡事項                                                 |                                                  |                |

※ 預かり対応      母子クラス      13:30~17:00  
                         単身クラス      14:30~17:00

＜地域支援＞

1 児童相談支援（障害児相談支援）

事業の方針

- ① 心身の発達において特別な配慮が必要と思われる児童とその保護者等に対し、児童の成長に関する相談を通し、適切な対応や必要な支援につなげることで、心配や不安の軽減を図り、児童と家族等の良好な関係性や子育てへの自信等を促します。
- ② お子さん一人一人のその人らしい生活と、その質の向上にむけてお子さんの思いを代弁し、成長しようとする力を支えるよう、相談を通して支援を行います。
- ③ 専門職としての倫理観を持ち、お子さんを取り巻く社会環境の改善に貢献します。



## 事業内容

- ① 障害や困り感を持つお子さんの生活相談（食事・排泄・コミュニケーション・遊び等）
- ② 障害児通所支援利用のための障害児支援利用計画案及び計画の作成
- ③ 福祉サービス利用開始後のモニタリング  
＊福祉サービス・・・児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・日中一時支援事業他の利用に関する相談
- ④ その他福祉サービス利用に関する相談（児童の相談だけでなく、保護者自身の悩み、家族支援等も含めた相談体制を構築します）

## 2 保育所等訪問支援

### 事業の方針

- ① 心身の発達において特別な配慮が必要な児童やその保護者等が、集団生活になれることができ、また自発的な生活を送ることができるよう支援します。
- ② 障害や困り感を持つお子さん達の集団における生活で、本人がもつ力を引き出せるよう、保護者・施設職員と共にお子さんの状況を確認しながら支援します。
- ③ 幼児期、学童期に身につけておくべき生活力、社会性を、集団の中で獲得できるようお手伝いし、将来に亘り可能性豊かな生活の礎となるような支援をめざします。

### 事業の内容

集団生活におけるお子さんの様子について、保護者等からの要望に応じて訪問支援員が要望された施設へ行き、対象児童の集団生活での状況を確認し、担任の先生等も交えて指導・助言等を行い、集団生活に適應できるよう支援します。

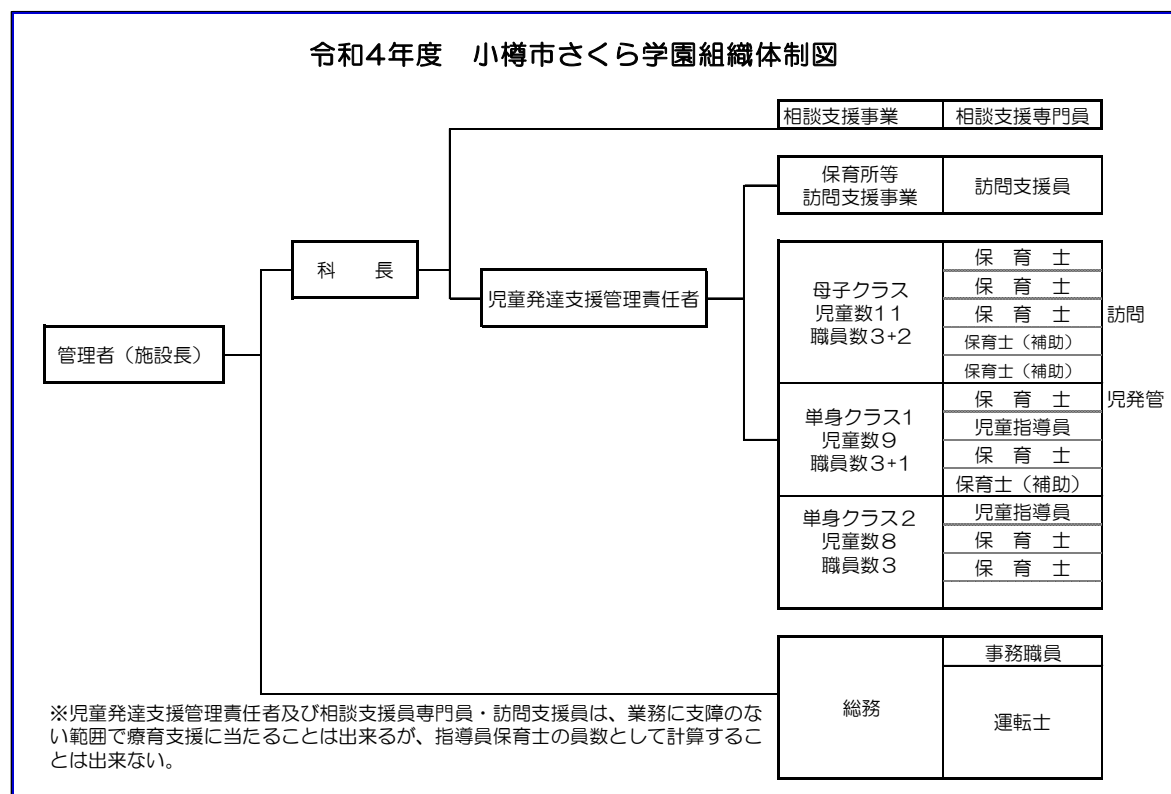
#### ① 事業の流れ

障害児通所支援受給者証（保育所等訪問支援）の支給決定を受けた児童の保護者等からの要望に応じて、保護者等及び訪問先の施設との調整ができた後、訪問支援員が対象施設へ訪問します。

対象施設では、対象児童の集団での状況、友達との関係、保護者等の気になること、施設での日常の様子等を観察し、施設の職員に対して児童が集団生活に適應するための相談・専門的な支援を行います。

集団生活内での児童の状況、友達の交流の状況等を確認し、保護者、施設内での児童の担任等と話をし、今後の療育内容、指導方法等について話し合いを行います。

## 支援体制図



## 主な行事実施計画

|       |        |        |        |       |        |
|-------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 4月7日  | 始業日    | 10月7日  | 水族館遠足  | 3月10日 | 卒園を祝う会 |
| 5月27日 | バス遠足   | 11月6日  | お祭り会   | 3月19日 | 卒園式    |
| 7月8日  | モエレ沼遠足 | 12月17日 | クリスマス会 | 3月24日 | 修了式    |
| 9月25日 | 運動会    | 2月3日   | 節分     |       |        |

これらの他に内科健診、歯科検診を実施します。

## 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会       | 実施日             | 摘 要                     |
|--------------|-----------------|-------------------------|
| 職員会議         | 毎月第2・第4木曜日      | 全職員参加対象                 |
| 責任者会議        | 毎月第2・第4火曜日      | 施設長・科長・児童発達支援管理責任者、各責任者 |
| 給食会議         | 毎月第4木曜日職員会議     | 全職員                     |
| 衛生会議         | 毎月第4木曜日職員会議     | 全職員                     |
| リスクマネジメント会議  | 毎月第4木曜日職員会議     | 全職員                     |
| ケース会議        | 毎月第2・第4木曜日職員会議時 | 全職員                     |
| 児童発達支援計画作成会議 | 随時              | 各クラス職員、児童発達支援管理責任者      |
| 防災会議         | 随時              | 施設長、科長、児童発達支援管理責任者      |

研修計画(施設・事業所内研修)

| 開催時期  | 対象職員       | 研修内容                                           |
|-------|------------|------------------------------------------------|
| 4月    | 全職員        | 家族と私たち職員の信頼・協力関係について                           |
| 5月    | 新任職員       | 法人全体の新任職員研修                                    |
| 7月    | 経験年数6年目の職員 | 法人内6年目職員研修～中堅職員としての資質の向上を目指し、先進的な取り組みの視察研修等の実施 |
| 10月   | 経験年数3年目の職員 | 法人内3年目職員研修～新任職員研修チャレンジシートを用いての振り返り、先輩職員からの学び   |
| 毎月1回  | 全職員        | 療育の羅針盤（さくら学園療育の指針となるもの）の読み合わせと学習               |
| 4～9月  | 保育士（1名）    | 法人内自閉症研究会                                      |
| 10～3月 | 保育士（1名）    | 法人内自閉症研究会                                      |
| 11月   | 法人職員研修     | 事例発表（検討）と権利擁護について                              |
| 随時    | 全職員        | 管理者による全職員のコミュニケーション面談（年2回）                     |
| 随時    | 児童指導員・保育士  | 児童の発達検査（PEP）の学習と実践研修                           |
| 随時    | 全職員        | 派遣研修の伝達研修の実施                                   |
| 月2回   | 全職員        | ケース会議による通園児童の情報交換と療育支援についての検討など                |

研修計画(外部研修)

| 月日    | 研修名                    | 主催             | 開催地 | 出席者   |
|-------|------------------------|----------------|-----|-------|
| 4月    | 後志知的障がい福祉協会定期総会及び施設長研修 | 後志知的障がい福祉協会    | 小樽市 | 臼屋    |
| 5月    | 全道施設長セミナー              | 北海道的障がい福祉協会    | 札幌市 | 臼屋    |
| 5～9月  | 法人内自閉症研究会              | 社会福祉法人 後志報恩会   | 法人  | 児童指導員 |
| 未定    | 普通救命法研修                | 小樽市消防署         | 小樽  | 11名   |
| 随時    | ふくしいどばたかいぎ             | 小樽市障がい児・者支援協議会 | 小樽  | 山本    |
| 未定    | 虐待防止研修会                | 北海道社会福祉士会      | 札幌市 | 保育士   |
| 未定    | 児童発達支援部会研修会            | 北海道知的障がい福祉協会   | 未定  | 保育士   |
| 10～3月 | 法人内自閉症研究会              | 社会福祉法人 後志報恩会   | 法人  | 保育士   |
| 10月頃  | 言語障がい児関係職員研修           | 北海道社会福祉協議会     | 札幌市 | 保育士   |
| 未定    | 相談支援関係研修               |                | 未定  | 山本    |
| 未定    | 全道知的障がい関係職員研究大会        | 北海道知的障がい福祉協会   | 札幌市 | 保育士   |
| 未定    | 児童発達支援基礎研修             | 北海道通園センター連絡協議会 | 未定  | 保育士   |
| 未定    | 虐待防止関係研修               | たねっとフォーラム開催事務局 |     | 保育士   |
| 未定    | 法人新任職員フォローアップ研修        | 後志報恩会          | 未定  | 新任職員  |
| 未定    | 小樽市発達支援関係職員学習会         | 小樽市発達支援関係職員学習会 | 小樽  | 全職員対象 |

## 権利擁護の推進方針

|                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>安心と笑顔支援マニュアルに基づき、虐待防止への継続した取組及び権利擁護の推進を図る。</p> <p>主な取組内容</p> <p>年齢にふさわしい呼称（くん・ちゃん・さんづけ）の徹底への取組継続実施。</p> <p>毎月定例での虐待防止委員会の開催。 内部研修会の開催。</p> <p>虐待防止チェックリストの実施。外部研修会への参加等</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## コミュニケーション面談実施計画

|                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>職員一人一人の思いをしっかりと受け止め、運営に活かすと共に、風通しの良い快適な職場環境を作ること等为目标として、年間2回の全職員へのコミュニケーション面談の実施を行う</p> <p>実施時期 1回目：5～6月 2回目：11～12月</p> <p>対 象 全職員</p> <p>実施方法 1回30分～1時間程度で設定する</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 施設・事業所の構造

|      |      |                       |
|------|------|-----------------------|
| 建 物  | 構 造  | 鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建       |
|      | 延べ面積 | 649.97 m <sup>2</sup> |
| 敷地面積 |      | 2,886 m <sup>2</sup>  |

## 2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 小樽地域障がい者相談支援センターさぽーとひろば

実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業  |      | 給付対象<br>人数<br>A | 実利用目標<br>(年間延人数)<br>B | 年間の事業<br>実施予定日<br>C | 月平均の<br>利用数<br>B/12 か月 | 1 職員あたり平均<br>D/職員数<br>E |
|-----------|------|-----------------|-----------------------|---------------------|------------------------|-------------------------|
| 特定相談      | 利用支援 | 331 人           | 235 人                 | 294 日               | 19.6 人                 | 3.3 人                   |
|           | 継続支援 |                 | 780 人                 |                     | 65 人                   | 10.8 人                  |
| 児童相談      | 利用支援 | 17 人            | 14 人                  |                     | 1.2 人                  | 0.2 人                   |
|           | 継続支援 |                 | 17 人                  |                     | 1.4 人                  | 0.2 人                   |
| 地域相談      | 利用支援 | 0 人             | 0 人                   |                     | 0 人                    | 0.0                     |
|           | 継続支援 |                 | 0 人                   |                     | 0 人                    | 0.0                     |
| 基本相談（登録外） |      |                 | 864 人                 |                     | 72 人                   | 12.0 人                  |
| 合計        |      | 348 人           | 1910 人                | 294 日               | 159.2 人                | 26.5 人                  |

### 【実施事業】

- 一般相談支援（地域定着支援/地域移行支援）～北海道委託
- 特定相談支援/障害児相談支援/委託相談支援～小樽市委託
- 小樽市虐待防止センター時間外受付～小樽市委託
- 小樽市地域生活支援等拠点整備事業 時間外受付～小樽市委託
- 広域相談支援体制整備事業～相談支援センターにきと共同

### 【加算体制整備】

- 行動障害支援体制加算○精神障害者支援体制加算○要医療児者支援体制加算
- 主任相談支援専門員配置加算

職員体制(2021 年 4 月 1 日)

| 職 種        | 員<br>数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要       |
|------------|--------|-----|----|-----|----|-------------------|-----------|
|            |        | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |           |
|            |        | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |           |
| 管理者        | 1      |     | 1  |     |    | 1                 |           |
| 係長 相談支援専門員 | 1      | 1   |    |     |    | 1                 | 一般/特定/障害児 |
| 相談支援専門員    | 4      | 3   |    | 1   |    | 4                 | 一般/特定/障害児 |
| 合 計        | 6      | 4   | 1  | 1   |    | 6                 |           |

### 重点推進目標(3 点)

|                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------|
| ○支援姿勢<br>・相談者の個人史を受容し丁寧なアセスメントを基に未来に希望が感じられる取り組みの提案に努めます。                     |
| ○支援スキルの向上<br>・研修機会等を通して新たな情報を積極的に収集し相談支援の専門性に反映して個別の支援を展開します。                 |
| ○地域連携「地域が一体となって支える体制の充実強化への貢献」<br>・地域連携の機会に積極的に参画し地域全体の福祉力向上(支援力向上)に貢献していきます。 |

## 施設整備計画

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
| ○ | 【予定額】 | 千円 |

## 設備整備計画(車輛更新含む)

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
| ○ | 【予定額】 | 千円 |

## 支援計画

### ■体制 体制加算Ⅱ

- ・管理者（兼任１名）を配置し相談支援専門員を兼務  
（広域相談支援体制整備事業を受託できた場合は「地域づくりコーディネーター」を兼任）
- ・係長/相談専門員（１名）を配置
- ・相談支援専門員（４名）を配置  
（広域相談支援体制整備事業を受託できた場合は、うち１名が地域づくりコーディネーターを兼任）

### ■1.相談支援の実施

#### (1)相談・支援の実施

○障がい児・者及び家族等の他、地域の関係各所からの問い合わせに始まり、相談や支援要請に応じます。

○本人中心支援に基づき、複雑かつ多様な問題を抱えながらも、一人ひとりの希望や思いが反映した生活が尊重され、障がいの状態等にかかわらず誰もが住み慣れた地域で安心して生活を続けるため、多様な相談ニーズに応じた地域の社会資源の活用について助言・提案及びその他の援助を行います。

相談内容に応じ、特定相談支援・一般相談支援・障がい児相談支援を実施します。

#### (2)基本相談支援の強化

○新規相談を含め要請された相談は断ることなく受け入れ、樹林太はつなぐなど適切な支援を行う。

○丁寧なアセスメントを基に相談支援を受けサービスの活用を通して希望に沿った支援に勤めていきます。

○丁寧なアセスメントを行うために、日常生活や社会生活全般における困難さの背後にある人生（生き方）にも視点を置き、相談支援を展開することを心がける。

○地域の基幹相談支援センター、同居する就業・生活支援センタースタッフからの要請の他、圏域の内外の関係諸機関からの要請にも可能な限り答えていくよう務める（地域包括支援センター、小樽市生活支援課、医療機関、ハローワーク等）。

○伴走型支援を意識したアプローチを持ち、地域や社会とのつながりが希薄な個人をつなぎ戻していくことに留意し、基本相談支援を行います。

○障がい児者の自立促進と共生社会の実現に向け、ソーシャルワークの担い手としてスキル・知識を高めつつ、インフォーマルサービスを含めた社会資源の改善や活用、地域のつながりや支援者・関係者との関係構築・多職種連携、生きがいや希望を見出す等の支援を行うことを心がけます。

#### (3)計画相談支援の強化

○サービス等利用計画作成スキルの向上

○専門性と実用性のバランス感覚を研ぎ澄まして作成。

○外部研修のみならず所内研修でも事例を通じた学びを日々深めていく。

#### (4)スキル向上に向けた取り組み

- 法廷研修受講による専門資格の持続
- 専門研修によるスキル向上と体制の充実
  - ・強度行動障害支援者研修
  - ・精神障害者地域移行支援研修
- 研修機会の充実
  - ・権利擁護関連研修
  - ・制度活用
- 成年後見/生活困窮/退院促進/就労促進/児童発達

## ■2.地域全体の支援体制の充実強化に寄与する働き

### (1)地域の支援協議会関連

- 小樽市障がい児者支援協議会事業への運営協力
  - ・全体会・幹事会・事務局会議・担当する専門部会に積極的な協力
- 小樽市が取り組む地域生活支援拠点等整備事業への協力
  - ・拠点事業が行う相談受付機能の時間外対応について受託

### (2)専門分野における居区卯木

- 小樽市医療的ケア児検討会への協力
- 精神科医療と福祉の連携・協力体制構築への推進（退院促進事業・地域移行）

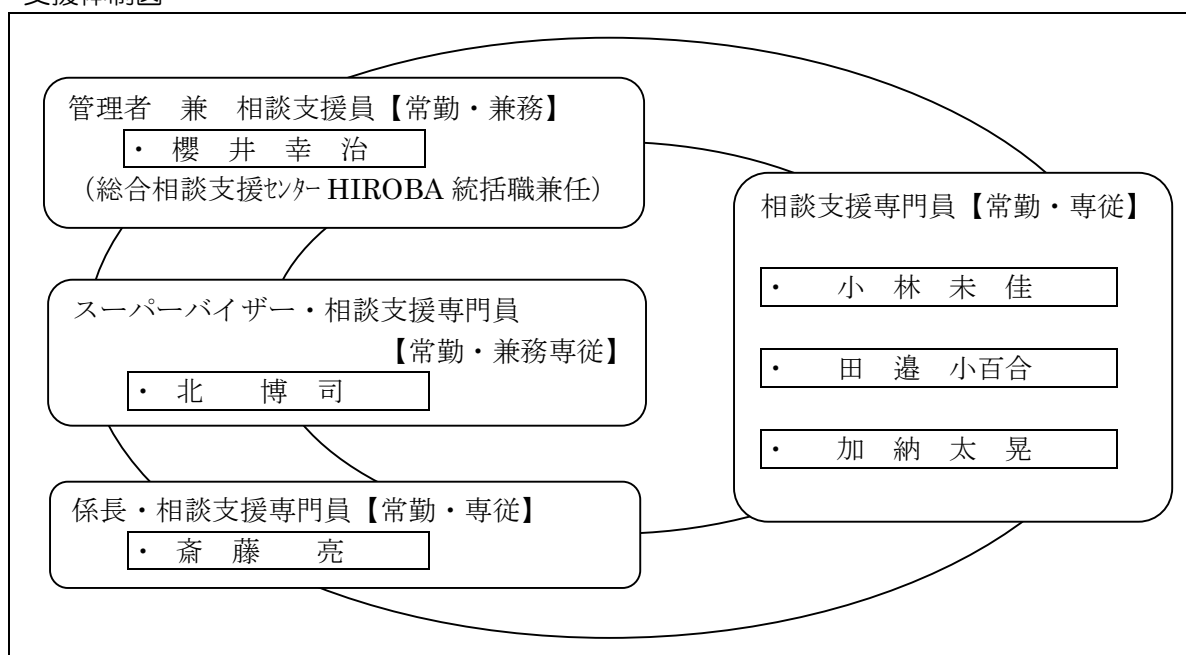
## ■3.業務継続に向けた対応力強化

- (1)感染症や災害対策の強化
- (2)業務継続に向けた取組の強化
- (3)地域や関係機関と連携した災害対応の強化

## ■4.業務の自己点検

感染症(covid-19 など)の影響が相談支援で極力少なく平常時に近い持続性のある相談支援体制の維持が可能な準備を重ねていく。

## 支援体制図



### 主な地域連携機会における行動計画

| 行事名                                | 担当者                   | 摘 要                               |
|------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------|
| 小樽市障害児者支援協議会                       |                       |                                   |
| 全体会                                | 管理者・係長                |                                   |
| 幹事会                                | 相談支援専門員               |                                   |
| 事務局会議                              | 相談支援専門員               | 部会代表者を担当する月に対応                    |
| 福祉井戸端部会                            | 相談支援専門員               | 部会構成機関として実施                       |
| 地域生活サポート部会                         | 相談支援専門員               | 部会構成員として実施                        |
| 研修会                                | 全職対象                  | 基幹 C、各部会主催の研修会に参加（企画・運営）          |
|                                    |                       |                                   |
| 小樽市要医療ケア児支援協議会                     | 係長                    | 医療ケア児 CO の係長が構成員                  |
| 小樽市虐待防止・差別解消連携協議会                  | 管理者                   | 時間外受付担当事業所として出席                   |
| 社会福祉法人懇話会                          | 窓口担当職                 |                                   |
| 消費者被害防止ネットワーク協議会                   | 相談支援専門員               |                                   |
| 北海道知的障がい福祉協会                       | 中村科長                  | カパツと総括した立場で参画（HIROBA）             |
| 後志圏域相談支援連絡協議会                      | 相談支援専門員<br>地域づくり CO 職 | 参加者を月例で                           |
| 後志圏域地域生活移行支援協議会<br>及び地域移行エリア別 F 会議 | 斎藤係長                  | 研修受講者による構成のため<br>精神障がい者退院促進事業への対応 |
|                                    |                       |                                   |
|                                    |                       |                                   |
|                                    |                       |                                   |
|                                    |                       |                                   |

### 会議・委員会等の開催計画

| ■所内会議       | 実施日        | 摘 要                                                                                            |
|-------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| HIROBA 運営会議 | 月例<br>翌月初め | 管理者、科長、係長<br>統括職・雇用安定生活支援事業職・相談支援事業<br>職により報告・連絡・企画立案提案など                                      |
| HIROBA 全体会議 | 月例<br>翌月初め | ひろば・さぼーと全職員対象<br>ひろば・さぼーと両会議内容の報告<br>事業の傾向包括的に整理<br>「事例検討委員会」「権利擁護委員会」「虐待防止<br>委員会」報告<br>職員研修会 |
| さぼーとひろば会議   | 月例<br>翌月初め | さぼーとひろば職員対象<br>支援状況の確認<br>「事例検討委員会」「権利擁護委員会」「虐待防止<br>委員会」も同時開催                                 |



| ■地域連携会議・委員会              | 実施日    | 摘 要（担当者ほか）                        |
|--------------------------|--------|-----------------------------------|
| 小樽市障がい児者支援協議会全体会         | 年 1 回  | 管理者・係長                            |
| 幹事会                      | 隔月     | 係長、他スタッフ四半期ごと交代                   |
| 事務局会議                    | 毎月     | 福祉いどばた部会代表任務として<br>係長もしくは担当部会スタッフ |
| 就労支援部会                   | 概ね四半期毎 | 幹事会にて確認                           |
| 子ども支援部会                  | 隔月     | 幹事会にて確認                           |
| 地域生活サポート部会               | 隔月     | 担当部会 年 1 回研修企画 係長、スタッフ 2 名        |
| 福祉いどばた部会                 | 毎月     | 担当部会 年 2 回研修企画 係長、スタッフ 2 名        |
| 地域生活拠点整備協議会              | 年開催の場合 | 管理者(CO)・係長                        |
| 要医療ケア児支援協議会              | 適宜     | 係長                                |
| 小樽市障害者虐待防止・差別解消<br>連携協議会 | 年 1 回  | 管理者・係長                            |
| 消費者被害防止ネットワーク協議会         | 年 1 回  | そうで案支援専門員                         |
| 小樽市社会福祉法人連携懇話会           | 隔月     | 隔月⇒委員会・年 2 回公開事業                  |
| 後志圏域相談支援連絡協議会            | 毎月     | Co：毎月、各スタッフ：四半期毎交代                |
| 後志圏域地域移行支援協議会            | 年 2 回  | 係長 小樽市地域生活サポート部会担当 1 名            |
| 後志圏域地域移行エリア別 F 会議        | 年 6 回  | 地域移行エリア別研修参加者                     |
| 障害児者全国相談支援連絡協議会          | 年 2 回  | 6 月・翌年 1 月 管理者 （1 月は係長）           |
| 小樽市医療的ケア児検討会             | 年 2 回  | 係 長                               |
| 北海道知的障がい者福祉施設協会          | 随時     | 相談支援部会副部会長～管理者                    |
|                          |        |                                   |

#### 研修計画

| ■事業所内研修      | 実施日    | 摘 要                 |
|--------------|--------|---------------------|
| さぼーとひろば会議内研修 | 年 6 回  | 2022.5～2023.03 主に事例 |
| HIROBA 会議内研修 | 年 12 回 | 就業・生活支援センターと共有企画    |
| 法人職員研修       | 年 1 回  |                     |
| 和光 G 職員研修    | 年 1 回  |                     |

| ■法定研修        | 実施日 | 摘 要 |
|--------------|-----|-----|
| 相談支援専門員現任研修  | 未定  | 2 名 |
| 相談支援専門員初任者研修 | 未定  | 1 名 |

| ■外部研修                              | 実施日               | 摘 要                                                  |
|------------------------------------|-------------------|------------------------------------------------------|
| 障害児者全国相談支援連絡協議会                    | Web 参加<br>6 月/2 月 | 年 2 回、千葉県、東海、近畿、中国地方で介されます<br>がコロナ感染予防として参集型には応じない方針 |
| 北海道知的障がい福祉協会<br>施設長セミナー<br>中堅職セミナー | Web 参加            | 管理者・係長<br>係長・相談支援専門員                                 |
| 日本知的障がい福祉協会<br>相談支援・就労支援セミナー       | Web 参加            | 管理者・係長・相談支援専門員                                       |
| 権利擁護研修                             | Web 参加            | 各団体が主催する研修で権利擁護に関する研修機会<br>を確保し受講                    |

|                                                     |        |                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 相談支援従事者専門別研修                                        | Web 参加 | 相談支援専門員                                                                                                 |
| 小樽市社会福祉法人連携懇話会<br>福祉講演会                             |        | 研修受講と運営協力<br>相談支援専門員                                                                                    |
| 小樽市相談援助技術専門研修                                       | 年 1 回  | 小樽市保健所 管理者・係長・相談支援専門員                                                                                   |
| その他<br>行政・教育・保健・医療等各団体<br>により開催される日帰り・web 研<br>修に参加 | 適宜     | 相談支援スキルに関する研修会<br>相談支援業務に関連した、医療・難病・療育・高齢介<br>護との連携、理解促進のための研修<br>地域共生社会の理解促進のための研修<br>障害種別毎の理解促進に関する研修 |

#### 権利擁護の推進方針

##### ○自己決定支援と意思決定支援

広域相談支援体制整備事業における活動テーマと重ねて研修

##### ○地域全体の安心拠点（基地）の一端を担える資質を目指して

- ・スーパービジョン：主任相談支援専門員が所属している強みを生かした研修機会を活用
- ・2021 年「障害者差別解消法の改正」を受けて事業者にも義務化された「合理的配慮」の理解を一層深め、事業者に対し提供義務の履行について理解促進を図るなど啓発に寄与する。

#### コミュニケーション面談実施計画

実施時期 令和 4 年 月頃

実施体制 案 1.管理者とスタッフ

案 2.就業・生活支援センター(同居事業)所長とスタッフ

管理者と就業・生活支援センター(同居事業)スタッフ

#### 施設・事業所の構造

##### ■事業所拠点

小樽市花園 2 丁目 6 番 7 号プラムビル 3 階（就業・生活支援センターひろばと共有）

|      |      |                                                            |
|------|------|------------------------------------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 鉄筋コンクリート造/陸屋根/地下 1 階付 5 階建                                 |
|      | 延べ面積 | ○賃貸部分：3 階<br>事務所 80.00 m <sup>2</sup><br>駐車場 地下 2 台 近隣 4 台 |
| 敷地面積 |      | 440.00 m <sup>2</sup>                                      |

##### ■Hanazono place 2F（仮称）

小樽市花園 4 丁目 14 番 1 号（就業・生活支援センターひろばと共有）

|      |      |                                                                      |
|------|------|----------------------------------------------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 木造垂鉛メッキ鋼板葺 2 階建                                                      |
|      | 延べ面積 | ○賃貸部分：2 階<br>84.56 m <sup>2</sup><br>・多目的ホール 1 ・相談室 2 ・会議室 1 駐車場 1 台 |
| 敷地面積 |      | m <sup>2</sup>                                                       |

## 2022 年度事業計画(案)

施設・事業所名 小樽後志地域障がい者就業・生活支援センターひろば

実施する福祉サービスなど

| 福祉サービス事業<br>〔雇用安定事業/生活支援事業〕 | 登録者<br>見込み | 相談件数<br>(年計) | 職場実習/準<br>備支援件数 | 就職支援<br>件数 | 定着支援<br>件数 |
|-----------------------------|------------|--------------|-----------------|------------|------------|
| 身体障がい                       | 30 名       | 150 件        | 1 件             | 2 件        | 10 件       |
| 知的障がい                       | 160 名      | 1600 件       | 10 件            | 15 件       | 250 件      |
| 精神障がい                       | 140 名      | 1500 件       | 8 件             | 10 件       | 200 件      |
| 発達障がい                       | 20 名       | 200 件        | 2 件             | 2 件        | 20 件       |
| 高次脳機能障がい                    | 5 名        | 60 件         | 1 件             | 1 件        | 10 件       |
| 難病                          | 5 名        | 40 件         | 1 件             | 1 件        | 10 件       |
| その他                         | 30 名       | 150 件        | 2 件             | 5 件        | 10 件       |

職員体制(2022 年 4 月 1 日)

| 職 種              |           | 員<br>数 | 区 分 |    |     |    | 常勤換<br>算後の<br>職員数 | 摘 要 |
|------------------|-----------|--------|-----|----|-----|----|-------------------|-----|
|                  |           |        | 常 勤 |    | 非常勤 |    |                   |     |
|                  |           |        | 専従  | 兼任 | 専従  | 兼任 |                   |     |
| 雇<br>用<br>安<br>定 | 所長        | 1      | 1   |    |     |    | 1                 |     |
|                  | 主任就業支援担当者 |        |     |    |     |    |                   |     |
|                  | 就業支援担当者   | 1      | 1   |    |     |    | 1                 |     |
|                  | 就業定着支援担当者 | 2      | 1   |    | 1   |    | 2                 |     |
| 生<br>活           | 生活支援担当者   | 1      | 1   |    |     |    | 1                 |     |
|                  | 生活支援担当者   | 1      |     |    | 1   |    | 0.5               |     |
| その他              |           | 0      |     |    |     |    |                   |     |
| 合 計              |           | 6      | 4   |    | 2   |    | 5.5               |     |

重点推進目標(3 点)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○地域で安心して就労・生活ができるよう「未来志向の応援(支援)」をさせて頂く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者の個人史をあるがままに受容、共感します。</li> <li>・丁寧なアセスメントを基に未来に希望が感じられる取り組みの提案に努めます。</li> <li>・就業・生活支援の専門性とネットワークを活用した情報収集力を活かして個別の支援を展開します。</li> </ul>                                                   |
| <p>○職員の支援スキルと資質向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修へ積極的に参加し、就業支援担当者としての知識、スキルの向上に努める。</li> <li>・事例検討やケース会議等の内部研修及び OJT の充実を図り、就業支援に必要な知識、スキルの習得に努める。</li> <li>・働きやすく、風通しの良い、環境や職員集団の形成を目指す。</li> </ul>                                                          |
| <p>○地域全体で支える体制の充実、強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別な支援を通して把握される地域課題を抽出し、各地域の自立支援協議会等を通して発信や提言を行い、働くを通して住みやすい地域づくりに寄与する。</li> <li>・地域の就労支援の基幹及びハブ的機能の役割として、支援機関との連携、ノウハウの共有など暮らしやすい地域づくりに貢献する。</li> <li>・ニーズが多い定着支援の効果的な運用や実施、また、職場実習の受入れ先の開拓など、企業アプローチ</li> </ul> |

や連携強化を図る取り組みを行う。

#### 施設整備計画

|   |       |    |
|---|-------|----|
| ○ | 【予定額】 | 千円 |
| ○ | 【予定額】 | 千円 |

#### 設備整備計画(車輛更新含む)

|        |         |
|--------|---------|
| ○【予定額】 | 千円      |
| ○      | 【予定額】千円 |

#### 支援計画

1. 就業・生活支援の実施
  - (1) 相談・支援の実施
 

○障がい者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行う。

○事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。

○障がい者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。
  - (2) 職場定着及び就労促進に係る効果的な支援の実施
 

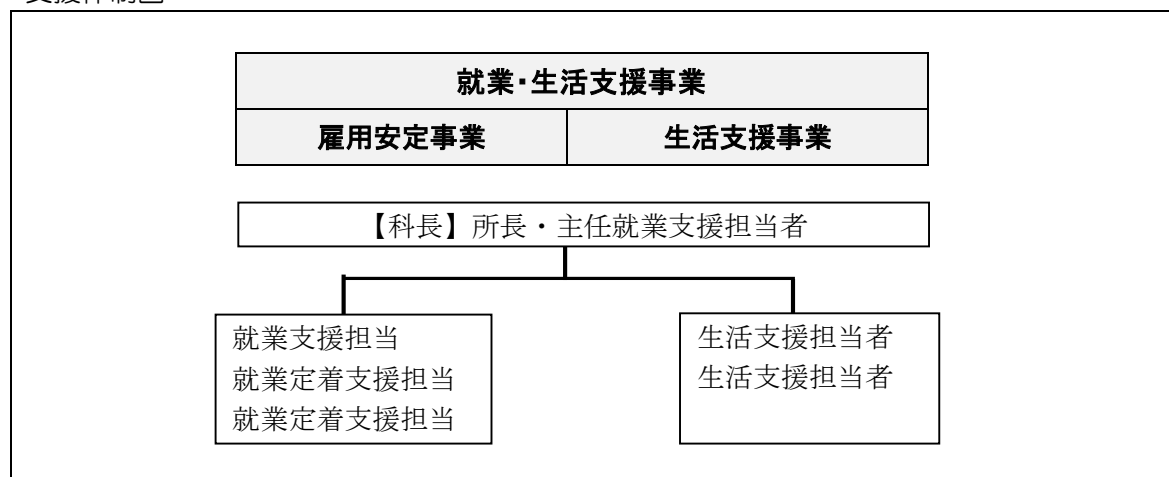
○在職中及び就労を目指す方を対象に、交流や学習の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着や就労の促進を目指す。また、この取り組みにより対象障がい者が働くコンディションを保ち、より豊かな就業生活が送られるよう自助、共助を促進する。
  - (3) 就業・生活支援担当者の研修等の計画
 

地域で開催される就労支援等に係る研修に出席し、就業支援担当者としての知識、スキルの向上に努める。
2. 関係機関との連絡会議の開催
 

○業務の円滑かつ有効な実施に資する為、圏域内 5 地域ごとの労働行政機関、福祉事業所、相談支援機関、教育・医療機関、企業、生活困窮者支援機関等との各種会議を開催、連携強化を図る。また、圏域内のネットワーク（地域自立支援協議会就労支援部会等）と共同で研修会を開催する。

○その他、各団体が主催する地域連絡（連携）会議に参画し、地域課題の共有を図り就業生活支援の展開に反映させる。

## 支援体制図



## 主な行事実施計画

| 行事名                                               | 実施日                   | 摘 要            |
|---------------------------------------------------|-----------------------|----------------|
| 在職者交流等事業 交流会等                                     | 年 4 回                 |                |
| 後志圏域就労支援ネットワーク経験交流会議（@ワークしりべし）                    | 年 2 回                 |                |
| ジョブフェス&面接練習会                                      | 年 2 回                 | 小樽地区、羊蹄山麓地区を想定 |
| 後志圏域就業連絡会議（ワークしりべし）                               | 年 2 回                 |                |
| 北海道中小企業家同友会しりべし・おたる支部「障害者生き生きフォーラムしごとぶらす」（障害者委員会） | 役員会 年 6 回<br>例会 年 1 回 | 事務局構成員         |
| 北海道就業・就労支援部会連絡協議会                                 | 年 1 回                 |                |

## 会議・委員会等の開催計画（事業所内会議）

| 会議・委員会      | 実施日    | 摘 要                 |
|-------------|--------|---------------------|
| HIROBA 運営会議 | 毎月 1 回 | 管理者、科長、係長対象         |
| HIROBA 全体会議 | 毎月 1 回 | ひろば・さぼーと全職員         |
| 就業・生活支援会議   | 毎月 1 回 | ひろば職員対象、職場定着・開拓会議含む |
| 虐待防止委員会     | 毎月 1 回 | 就業・生活支援会議にて実施       |

## 会議・委員会等の開催計画（事業所外会議、協議会）

| 地域連携会議・委員会      | 実施日   | 摘 要                       |
|-----------------|-------|---------------------------|
| 協議会 小樽          | 不定期   | 協議会・就労支援部会・アセスメント部会       |
| 北後志             | 隔月    | 協議会・NW 会議・就労支援部会・アセスメント部会 |
| 岩宇              | 隔月    | 協議会・就労支援部会・アセスメント部会       |
| 羊蹄              | 毎月    | 協議会・連携支援チーム・アセスメント部会      |
| 南後志             | 未定    | 協議会・南後志相談支援センターと連携        |
| 後志圏域地域移行支援連絡協議会 | 年 2 回 | 倶知安町他 所長                  |

|                        |     |                       |
|------------------------|-----|-----------------------|
| 障害者雇用支援連絡協議会           | 年2回 | 札幌市 職業センター 所長         |
| 後志管内特別支援教育連携協議会・専門家チーム | 年2回 | 倶知安町 後志教育委員会 所長       |
| 全道就業・生活支援センター連絡会議      | 年2回 | 札幌市他 北海道労働局 所長/就業支援担当 |
| 北海道就業・就労部会連絡協議会        | 年2回 | 札幌市 所長/就業・生活支援担当      |
| 日本職業リハビリテーション学会北海道     | 年2回 | 札幌市 職リハ学会北海道 他スタッフ    |
| 北海道知的障がい施設協会<br>相談支援部会 | 適時  | 札幌市 運営研究委員会 所長        |

#### 研修計画(施設・事業所内研修)

| 研修名             | 実施日        | 摘 要                       |
|-----------------|------------|---------------------------|
| H I R O B A内部研修 | 22.5～23.3月 | H I R O B A全体会議の中で実施（年4回） |
| 法人職員研修          | 2022       | 法人研修委員会計画に沿って参加           |
| 和光G職員研修         | 2022       | 和光G研修計画に沿って参加             |
| 法人年代別研修会        | 2022       | 法人研修計画に沿って参加              |

#### 研修計画(外部研修)

| 研修名                                          | 実施日        | 摘 要                                                                          |
|----------------------------------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 全国就業支援ネットワーク<br>定例研究・研修会                     | 2022.6     | 千葉県 1名（主任就業支援担当者）                                                            |
| 全道就業・生活支援センター<br>職員研修会                       | 2022.7or12 | 場所未定（連絡会議も開催される場合は主任必須）<br>各2名                                               |
| 就業支援基礎研修                                     | 2022       | 札幌市 1名（就業支援担当者）                                                              |
| 就業支援スキル向上研修                                  | 2023.1     | 千葉県 1名（就業支援担当者）                                                              |
| 障がい者就業・生活支援センター<br>東北北海道ブロック連絡会議及び<br>経験交流会議 | 2022.11    | 山形県 1名（就業支援担当者）                                                              |
| 相談支援従事者現任研修                                  | 2022       | 札幌市 1名（就業支援担当者）                                                              |
| 全国就業支援ネットワーク<br>より深く考えるフォーラム                 | 2023.2     | 東京都 1名（主任就業支援担当者）                                                            |
| その他 各団体により開催される<br>日帰り研修に参加                  | 適宜         | 就労支援技術に関する研修会<br>医療・教育との連携、理解促進の為に研修<br>障害種別毎の理解促進に関する研修<br>（発達・精神・難病・高次脳 他） |

#### 地域就業支援人材育成・養成活動

| 機 会                          | 実施日           | 摘 要                                                            |
|------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------------|
| 北海道サービス管理責任者・児童<br>発達管理責任者研修 | 2022.4～<br>適宜 | 基礎研修、更新研修、実践研修<br>（NPO）きなはれ/（一般）北海道 SN 協議会<br>ファシリテーターとして協力：所長 |

## 権利擁護の推進方針

「法人共通の安心と笑顔支援マニュアルに基づき、権利擁護の推進を図る。」

### ■一人ひとりの気づきで組織を育てる。

- ・ ひやりはっと等、スタッフ自身と仲間への気づきをチームで共有
- ・ 良い事例、困った事例、気になる事例から学ぶ  
(月例会議等で話題提供し、スタッフ全員で考察する。)

### ■一人ひとりが調べて学ぶ

- ・ H I R O B A 内部研修  
(権利擁護をテーマに話題提供者が調べて発信、意見交換、情報交換を行う。)

### ■合理的配慮について

合理的配慮の義務化に伴い、知識や理解を深め、情報発信やノウハウ等を民間事業者に提供する。

## コミュニケーション面談実施計画

- ・ 実施時期：2023.1～2（必要に応じて適宜）
- ・ 対象職員：HIROBA 全スタッフ
- ・ 面談者：管理者、所長
- ・ 内容：円滑なコミュニケーションが行える職場を目指し、スタッフ個々のニーズを把握し、業務への反映を図る。

## 施設・事業所の構造(グループホームは個別の居住毎に記載下さい)

|      |      |                                                       |
|------|------|-------------------------------------------------------|
| 建 物  | 構 造  | 鉄筋コンクリート造/陸屋根/地下1階付5階建                                |
|      | 延べ面積 | ○賃貸部分：3階<br>事務所 80.00 m <sup>2</sup><br>駐車場 地下2台 近隣4台 |
| 敷地面積 |      | 440.00 m <sup>2</sup>                                 |

## 2022 年度事業計画(案)

委員会名 研修委員会

### 重点推進目標(3 点)

#### ○法人全体研修+安心と笑顔の支援実践報告会

- ・法人全体研修⇒法人の理念、経営・運営の視点を職員全体に周知・再確認して職員間で共有し、法人職員としての意識・意欲を高め、利用者の権利擁護とサービスの向上を図る。
- ・実践報告会⇒法人各事業所の事業・実践について発表し、法人全体の支援の質の向上に繋げることを目的とした実践報告会を行う。

新型コロナ発生後、参加者参集型の研修は難しい状況が続いており、人数規模の大きい法人全体研修は実施できない状況が続いている。

今年度は法人全体研修で実践報告をしていた内容に戻し Zoom によるハイブリッド（リモート+参集）方式にてより多くの職員が参加できる研修企画を目標とする。

#### ○新任職員研修

- ・新任研修では法人の理念、法令順守と権利擁護及び対人援助の基礎を学び実践のための必要な知識と人間性を養成することをねらいとする。

職員採用時に法人にて新任研修が実施されており、内容が重複しない様各事業所の特色や取り組みの紹介など例年と違った研修企画を立案していく。

#### ○年数別研修（3年目）

年数別研修（3年目）では、3年目の職員を対象に利用者から求められるニーズを把握し、サービス提供のあり方を考えると共に人材育成を図る。

※上記については、新型コロナの状況に応じて実施方法を検討する。

### 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会       | 実施日     | 摘 要                         |
|--------------|---------|-----------------------------|
| 研修委員会        | 毎月第1月曜日 | 直近の研修会の準備、実施後の振り返り          |
| 新任職員研修Ⅰ      | 6月      | Zoom 若しくは参集 新型コロナの状況に合わせて実施 |
| 年数別研修（3年目）   | 8月      | 同上                          |
| 新任職員研修Ⅱ      | 10月     | 同上                          |
| 法人全体研修+実践報告会 | 11月     | ハイブリッド（リモート+参集）方式           |
|              |         |                             |



## 2022 年度事業計画(案)

委員会名 法人医療・食生活支援委員会

### 重点推進目標(3 点)

|                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| <p>○各サービス事業所の利用者さんに関わる医療的ケアの充実</p> <p>＊各事業所の現状・情報の共有</p>          |
| <p>○各サービス事業所の利用者さんに関わる食生活支援の充実</p> <p>＊各事業所の取り組み・情報の共有</p>        |
| <p>○感染症対策の徹底</p> <p>＊新型コロナウイルス感染症対策・情報交換</p> <p>＊その他感染症の情報の共有</p> |

### 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会        | 実施日         | 摘 要  |
|---------------|-------------|------|
| 法人医療・食生活支援委員会 | 6 月 7 日（火）  | 定例会議 |
|               |             |      |
| 法人医療・食生活支援委員会 | 11 月 8 日（火） | 定例会議 |
|               |             |      |
| 法人医療・食生活支援委員会 | 2 月 7 日（火）  | 定例会議 |
|               |             |      |
|               |             |      |
|               |             |      |
|               |             |      |
|               |             |      |
|               |             |      |
|               |             |      |

## 2022 年度事業計画(案)

委員会名 法人リスクマネジメント委員会

### 重点推進目標(3 点)

|                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○法人内事業所の事故・ひやりハットの集計、検証、再発防止に向けた取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、委員会による意見交換等を実施し各事業所へ情報の共有化を図る。</li> <li>・月間重点項目を全職員へ周知しリスクの意識向上を図る。</li> <li>・月間重点項目の啓蒙に加え、各事業所月例会議での危険予知マニュアルから1事例ずつ紹介。危険予知の視点の強化につなげてもらう。</li> </ul> |
| <p>○リスクマネジメントに係る視点の強化を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほっとする事例集の作成・配布（今年度は主任・係長職の職員）</li> <li>・法人リスク委員のリスクマネジメントの認識・理解を深める為、リスクマネージャー養成研修を受講し、ひやりはっと・事故報告のデータ集積に活かす。</li> </ul>                                                      |
| <p>○苦情解決第三者委員（権利擁護委員）研修の実施。（新型コロナウイルスの感染状況に応じて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員による、利用者さん、職員への聞き取りを行い、生活の質・働きやすい環境の向上に繋げる。</li> <li>・各施設の聞き取りについて情報交換を行い、法人全体で情報の共有化を図る。</li> </ul>                                               |

### 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会 | 実施日   | 摘 要                                   |
|--------|-------|---------------------------------------|
| 4月会議   | 4/6   | 各事業所事故ヒヤリはっと検証<br>前年度ヒヤリはっと事故集計       |
| 5月会議   | 5/11  | 各事業所事故ヒヤリはっと検証                        |
| 6月会議   | 6/8   | 各事業所事故ヒヤリはっと検証<br>リスクマネジメント養成者研修各委員受講 |
| 7月会議   | 7/6   | 各事業所事故ヒヤリはっと検証                        |
| 8月会議   | 8/10  | 各事業所事故ヒヤリはっと検証                        |
| 9月会議   | 9/7   | 各事業所事故ヒヤリはっと検証<br><b>ほっとする事例作成開始</b>  |
| 10月会議  | 10/12 | 各事業所事故ヒヤリはっと検証                        |
| 11月会議  | 11/9  | 各事業所事故ヒヤリはっと検証<br>苦情解決第三者委員研修（予定）     |
| 12月会議  | 12/7  | 各事業所事故ヒヤリはっと検証<br>ほっとする事例集（配布）        |
| 1月     | 1/11  | 各事業所事故ヒヤリはっと検証                        |
| 2月     | 2/8   | 各事業所事故ヒヤリはっと検証                        |
| 3月     | 3/8   | 各事業所事故ヒヤリはっと検証                        |
|        |       |                                       |

## 2022年度事業計画（案）

委員会名 人材確保・企画委員会

### 重点推進目標(3点)

|                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○新規学卒者の採用</p> <p>2021年度はコロナ禍の影響を引続き受けつつも、法人内各方面の協力を得て、新規学卒者4名の内定にこぎつけた（事情により、正規の入職は3名であった）。</p> <p>2022年度もコロナ禍の影響は残るだろうが、新規学卒者へのアプローチはできる範囲で従来どおり行うこととしたい。</p>                                       |
| <p>○転職者の中途採用</p> <p>2021年度も仁木地区では、中途採用広告の一斉ポスティングを行ったが、流石に3年連続だったせいか事実上、不発に終わったと評価せざるを得ず、2022年度はこの方法について一考の余地がある。</p> <p>2021年度はまた、小樽地区において人材紹介会社経由で職員を採用したこともあり、2022年度は一定程度、このルートを拡充せざるを得ないと考えられる。</p> |
| <p>○外国人材の採用</p> <p>2021年度もコロナ禍の影響により、この分野の活動はほぼ皆無であった。</p> <p>2022年度も相変わらず、コロナ禍の先行きが見通せない状況だが、法人内の機運醸成や受入態勢の整備については、何らかの形で一歩踏み出す必要はあり、具体的なミッション遂行に当たっては、別枠のプロジェクトが望ましいと思われる。</p>                        |

### 会議・委員会等の開催計画

| 会議・委員会     | 実施日    | 摘 要                                   |
|------------|--------|---------------------------------------|
| 人材確保・企画委員会 | 原則 月1回 | コロナ禍の状況により月1回に拘泥せず、適時開催やオンライン開催もあり得る。 |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |
|            |        |                                       |